

平成 24 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業分)

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供の
あり方に関する調査研究事業
報 告 書

平成 2 5 (2 0 1 3) 年 3 月

目 次

第 1 章 研究の概要.....	1
1. 研究の目的	1
2. 研究実施フロー	2
3. 研究の内容	3
3－1. 介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査.....	3
3－2. 介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関するヒアリング調査	6
第 2 章 研究結果.....	7
第 1 節 全国実態調査.....	7
1. 回収状況.....	7
2. 施設票の調査結果	7
2－1. 基本情報.....	7
2－2. 退所等の状況.....	20
2－3. 職員体制	23
2－4. 加算等の算定状況（平成 24 年 11 月中）	26
2－5. 医療職の勤務状況	37
2－6. 入所者のケアの状況.....	43
2－7. 入所者の救急搬送・入院人数	53
2－8. 医療提供状況（平成 24 年 11 月中）	55
2－9. 在宅復帰に向けた取り組み等	60
3. 入所者・退所者票の調査結果	72
3－1. 入所者票.....	72
3－2. 退所者票.....	80
第 2 節 ヒアリング調査.....	91
1. ヒアリング実施施設.....	91
2. ヒアリング結果.....	92
第 3 章 まとめ.....	101
1. 施設票について	101
2. 所定疾患施設療養費について（入所者票）	105
3. 在宅復帰状況について（退所者票）	106
参考資料	109

第 1 章 研究の概要

1. 研究の目的

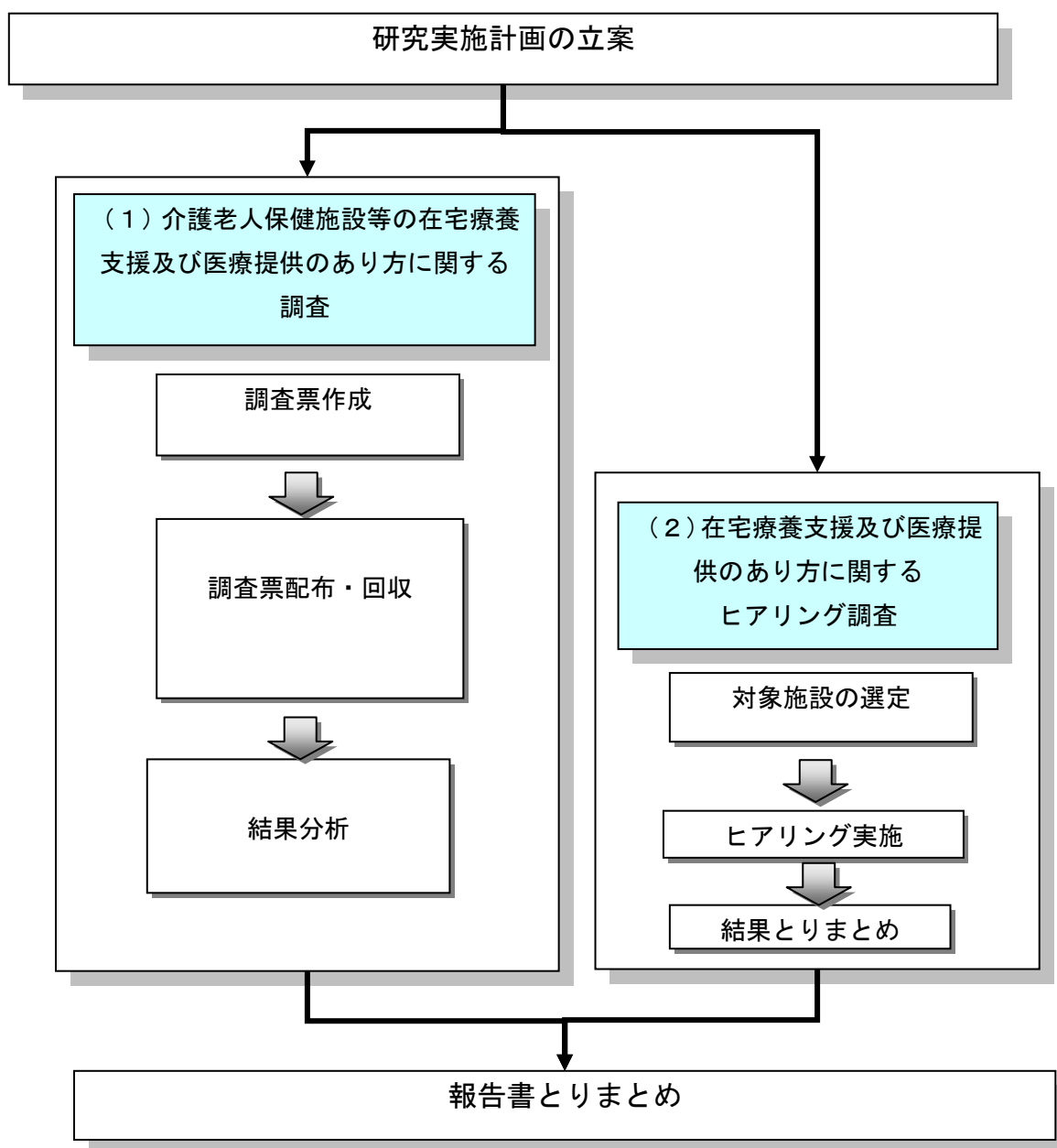
平成 24 年度介護報酬改定において、介護老人保健施設は在宅復帰を支援する施設としての機能強化の観点が重視され、在宅復帰の状況及びベッドの回転率を指標とした報酬体系へと見直された。その結果、在宅復帰支援機能の高い基本サービス費や、在宅復帰・在宅療養支援機能加算が新設されることとなった。また、入所者の医療ニーズに適切に対応する観点から、肺炎や尿路感染症などの疾病を発症した場合における施設内での対応について評価するための所定疾患施設療養費が新設されている。

このため、本研究事業では、介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能加算や所定疾患施設療養費等の各種新規加算の算定状況の実態を把握して施設における具体的な在宅復帰の取り組みや医療提供状況との関連を検討し、今回の報酬改定結果の検証に資する基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 研究実施フロー

本研究の実施フローは以下のとおり。(1) 介護老人保健施設における医療提供に関する実態調査、及び(2) 在宅療養支援及び医療提供状況に関するヒアリング調査を行い、結果を取りまとめた。

図表 1-1 研究実施フロー



また、研究を実施するにあたり、公益社団法人全国老人保健施設協会の大河内二郎氏にアドバイザーを依頼した。

3. 研究の内容

3-1. 介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査

(1) 調査目的

介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能加算や所定疾患施設療養費等の各種新規加算の算定状況、具体的な取り組み等の実態を把握し、今回の報酬改定結果の検証に資する基礎資料を得ることを目的として実施した。

(2) 調査対象

本調査は悉皆調査で実施し、全国の介護老人保健施設3,953施設を対象とした。

(調査対象名簿は厚生労働省老健局老人保健課より入手した。)

(3) 調査方法

郵送配布、郵送回収により実施した。

調査時期は、2012年12月～2013年1月とした。

(4) 回収結果

図表 1-2 回収結果

	対象施設数	回収数	回収率
事業所数	3,953 施設	1,066 施設	27.0%

(5) 調査内容

調査票は、「施設票」および「入所者・退所者票」の2種類を使用した。

図表 1-3 施設票：施設に関する調査項目

大項目	具体的な項目
基本情報	所在地、開設年、開設主体、入所定員数、入所者数、要介護度別入所者数（ショートステイ利用者は除く）、入所期間別入所者数（ショートステイ利用者は除く）、平均入所期間、施設の構造（ショートステイ用は除く）、医療機関又は入所施設の併設有無、協力医療機関の箇所数、入所者延べ人数（平成24年9月～11月、平成23年9月～11月）
入退所の状況	入所者数、昨年の入所者数、退所者数、昨年の退所者数
職員体制	職種別実人数（常勤／非常勤・実人数／常勤換算数）
加算等の算定状況	施設サービス費、緊急時施設療養費、夜勤職員配置加算、在宅復帰・在宅療養支援機能加算、ターミナルケア加算、短期集中リハビリテーション実施加算、認知症短期集中リハビリテーション実施加算、若年性認知症入所者受入加算、認知症ケア加算、入所前後訪問指導加算、退所時指導等加算、口腔機能維持管理体制加算、口腔機能維持管理加算、在宅復帰支援機能加算、所定疾患施設療養費、認知症行動・心理症状緊急対応加算、認知症情報提供加算、地域連携診療計画情報提供加算、サービス提供体制強化加算、介護職員処遇改善加算（算定の有無、件数）
医療職の勤務状況	医師が勤務している時間帯、施設の医師の診療科目、施設の医師の業務内容、常勤医師不在時入所者に医療的な問題が生じた場合の対応方法、看護職員の夜勤体制、看護職員の業務内容
入所者のケアの状況	入所者の医療的ケアの状況、在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況、入所者の主な疾患、診断を受けた人数
入所者の救急搬送・入院人数	他の医療機関（併設含む）に入院した入所者の状況、病院へ救急搬送した延べ人数、他の医療機関（併設含む）に入院した入所者の状況、病院へ救急搬送した延べ人数、
医療提供状況	施設内の管理医師による診察の状況、施設外の医師による往診の状況、入所者の医療機関への通院状況、施設内の医療提供における課題
在宅復帰に向けた取り組み等	地域連携のために実施している取組、入所時に入手している書類・情報、在宅復帰のために実施している取組、在宅復帰のために実施している具体的な工夫、サービス担当者会議（ケアカンファレンス）への職種別の主な参加状況、在宅復帰における課題

○入所者・退所者票：入所者の医療提供状況および退所者の在宅復帰状況に関する調査項目

※入所者票については、以下に該当する入所者について記入を依頼した。

- ・平成 24 年 11 月の 1 ヶ月間に入所していた人のうち、肺炎、尿路感染症、带状疱疹のいずれかに感染した入所者
- ・平成 24 年 11 月の 1 ヶ月間の間に入所していたが、現在は退所している人や入院中の人を含む
- ・ただし、ショートステイの利用者、又は肺炎、尿路感染症、带状疱疹の疑いがあったが、医師による診断がおりていない人は対象外とした。

図表 1-4 入所者・退所者票：入所者に関する項目

大項目	具体的な項目
基本情報	性別、生年月日、入所日、入所前の居所、要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度、障害高齢者の日常生活自立度、有している傷病、施設内で実施している医療的ケア、算定する加算
肺炎、尿路感染症、带状疱疹を感染時の状況	感染した疾患、所定疾患施設療養費の算定有無、算定日数、診断方法、検査方法、治療内容、治療期間、治療後の転帰、入院後の転帰

※退所者票については、以下に該当する退所者について記入を依頼した。

- ・平成 24 年 9～11 月に施設を退所した退所者（死亡退所も含む）
- ・該当する退所者が 10 名以上いる場合は直近の 10 名について記入
- ・ただし、ショートステイの利用者は対象外とした。

図表 1-5 入所者・退所者票：退所者に関する項目

大項目	具体的な項目
基本情報	性別、生年月日、入所日、入所前の居所、要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度、障害高齢者の日常生活自立度、有している傷病、施設内で実施している医療的ケア、算定する加算
退所時の状況	最も介入が必要となった疾患、その疾患の診断者、治療者、治療期間、治療の転帰、退所時必要だった医療的ケア、退所直後の居所、使用予定だった居宅系のサービス、退所後訪問の実施有無、請求した加算、退所後 1 か月後の居所変化、その場合の居所

3-2. 介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関するヒアリング調査

(1) 調査目的

入所者の在宅復帰支援や施設内での医療提供について先進的に取り組む施設を対象に、在宅復帰支援や施設内での医療提供における具体的な取り組み内容や工夫点、課題等を明らかにし、今後の介護老人保健施設における医療提供のあり方や在宅復帰支援策を検討するための基礎資料を得ることを目的とした。

(2) 調査対象

介護老人保健施設 3 施設

(3) 調査方法

現地訪問調査を実施。

(4) 調査内容

調査項目は以下のとおりである。

1. 施設の概要
 - ・施設属性
 - ・介護・看護体制
2. 在宅復帰支援について
 - ・在宅復帰についての具体的な取り組み
 - ・在宅復帰支援の際の問題点、課題
 - ・在宅復帰のための工夫点
3. 施設における医療提供状況
 - ・施設内の医療提供体制について
 - ・入所者の医療ニーズの状況
 - ・施設内の医療提供における問題点、課題
 - ・施設内の医療提供のための工夫点
4. 地域その他機関との連携状況
 - ・介護サービス事業所、他の医療機関との連携状況
 - ・連携の際の課題、工夫等
5. その他
 - ・介護報酬改定への意見・要望 など

第 2 章 研究結果

第 1 節 全国実態調査

1. 回収状況

1,066 施設から有効回答を得た（回収率 27.0%）。入所者票（11 月中に肺炎等に罹患した人：全数）の有効データ数は 3,394 件、退所者票（9 月～11 月に退所した入所者：上限 10 人）の有効データ数は 7,728 件であった。

2. 施設票の調査結果

2-1. 基本情報

（1）所在地

○ 施設の所在地は、「北海道」が4.7%と最も多く、次いで「大阪府」が4.2%、「福岡県」が 4.0% となっている。

図表 2-1 所在地

	調査数	北海道	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	福井県	石川県	富山県	静岡県
全体	1066	50 (4.7%)	13 (1.2%)	27 (2.5%)	22 (2.1%)	20 (1.9%)	17 (1.6%)	28 (2.6%)	27 (2.5%)	18 (1.7%)	24 (2.3%)	39 (3.7%)	33 (3.1%)	41 (3.8%)	35 (3.3%)	38 (3.6%)	7 (0.7%)	13 (1.2%)	12 (1.1%)	20 (1.9%)
	山梨県	長野県	愛知県	岐阜県	三重県	和歌山県	滋賀県	奈良県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	鳥取県	島根県	山口県	香川県	徳島県	愛媛県	高知県
全体	11 (1.0%)	40 (3.8%)	39 (3.7%)	20 (1.9%)	21 (2.0%)	7 (0.7%)	14 (1.3%)	8 (0.8%)	24 (2.3%)	45 (4.2%)	43 (4.0%)	17 (1.6%)	23 (2.2%)	10 (0.9%)	18 (1.7%)	23 (2.2%)	15 (1.4%)	7 (0.7%)	23 (2.2%)	7 (0.7%)
	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	熊本県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答											
全体	43 (4.0%)	7 (0.7%)	11 (1.0%)	21 (2.0%)	34 (3.2%)	10 (0.9%)	24 (2.3%)	14 (1.3%)	3 (0.3%)											

(2) 開設年

- 開設年は、「1995年～1999年」が34.1%と最も多く、次いで「1990年～1994年」が18.2%、「2000年～2004年」が17.3%となっている。

図表 2-2 開設年

	調査数	1989年以前	1990～1994年	1995～1999年	2000～2004年	2005～2009年	2010～2014年以降	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	77 (7.2%)	194 (18.2%)	363 (34.1%)	184 (17.3%)	134 (12.6%)	99 (9.3%)	15 (1.4%)	1998.71	7.03

(3) 開設主体

- 開設主体は、「医療法人」が68.7%と最も多く、次いで「社会福祉法人」が17.4%となっている。

図表 2-3 開設主体

	調査数	地方公共団体	社会福祉法人	医療法人	その他	無回答
全体	1066	46 (4.3%)	185 (17.4%)	732 (68.7%)	97 (9.1%)	6 (0.6%)

(4) 施設類型

- 本調査では、在宅復帰率・ベッド回転率の実績に応じて、タイプA：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設、タイプB：在宅復帰・在宅療養支援加算を取得している施設、タイプC：A、B以外の施設に区分した。タイプAは在宅復帰を最も積極的に進めている施設、タイプBは在宅復帰支援に取り組んでいる施設と考えられる。それぞれの割合は以下のとおりである。

図表 2-4 施設類型

	調査数	算定している施設 （Ⅰ）（ii）または（iv） （ユニット型含む）	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	それ以外の施設
全体	1066	59 (5.5%)	210 (19.7%)	797 (74.8%)

- また、施設サービス費については、「介護保健施設サービス費（Ⅰ）（i）または（iii）：従来型」が最も多く85.5%、次いで「ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）（i）または（iii）：従来型」が8.1%、「介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）：在宅強化型」が5.4%となっている。

図表 2-5 施設サービス費

	調査数	介護保健施設サービス費（Ⅰ）（i）または（iii）：従来型	強化型 介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）：在宅強化型	介護保健施設サービス費（Ⅱ） または（Ⅲ）	ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）（i）または（iii）：従来型	ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）：在宅強化型	ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）または（Ⅲ）	無回答
全体	1066	911 (85.5%)	58 (5.4%)	40 (3.8%)	86 (8.1%)	3 (0.3%)	4 (0.4%)	8 (0.8%)

(5) 入所定員数

- 入所定員数は、「75人超～100人」が62.3%と最も多く、次いで「50人超～75人」が12.9%、「30人超～50人」が7.2%となっている。平均は89.52人となっている。

図表 2-6 入所定員数

	調査数	30人以下	30人超～50人	50人超～75人	75人超～100人	100人超～125人	125人超～150人	150人超	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	56 (5.3%)	77 (7.2%)	137 (12.9%)	664 (62.3%)	45 (4.2%)	67 (6.3%)	19 (1.8%)	1 (0.1%)	89.52	29.69

(6) 入所者数

- 入所者数は、「75人超～100人」が53.8%と最も多く、次いで「50人超～75人」が20.2%、「30人超～50人」が9.0%となっている。平均は81.42人となっている。

図表 2-7 入所者数（ショートステイ利用者数は除く）

	調査数	0人	0人超～10人	10人超～20人	20人超～30人	30人超～50人	50人超～75人	75人超～100人	100人超～125人	125人超～150人	150人超	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	0 (0.0%)	5 (0.5%)	31 (2.9%)	25 (2.3%)	96 (9.0%)	215 (20.2%)	573 (53.8%)	45 (4.2%)	60 (5.6%)	12 (1.1%)	4 (0.4%)	81.42	28.62

(7) 要介護度別入所者数

- 要介護度別の平均入所者数は、「要介護1」が7.98人、「要介護2」が14.72人、「要介護3」が19.82人、「要介護4」が22.13人、「要介護5」が17.19人となっている。
- 入所者数に対する要介護度別の入所者割合の平均は、「要介護1」が9.79%、「要介護2」が17.98%、「要介護3」が24.12%、「要介護4」が27.36%、「要介護5」が21.60%となっている。

図表 2-8 要介護度別入所者数（ショートステイ利用者は除く）

入所期間	施設類型別	調査数	0人	0人超 10人	10人超 20人	20人超 30人	30人超 50人	50人超 75人	75人超 100人	100人超 125人	125人超 150人	150人超	無回答	平均	標準偏差
要介護1	全体	1066	56 (5.3%)	693 (65.0%)	261 (24.5%)	32 (3.0%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (2.0%)	7.98	5.77
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	4 (6.8%)	45 (76.3%)	7 (11.9%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	6.30	4.48
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	7 (3.3%)	145 (69.0%)	47 (22.4%)	5 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (2.9%)	7.58	5.29
	それ以外の施設	797	45 (5.6%)	503 (63.1%)	207 (26.0%)	26 (3.3%)	3 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (1.6%)	8.21	5.95
要介護2	全体	1066	20 (1.9%)	293 (27.5%)	534 (50.1%)	166 (15.6%)	40 (3.8%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (1.1%)	14.72	7.84
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	1 (1.7%)	27 (45.8%)	27 (45.8%)	3 (5.1%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11.76	6.51
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	2 (1.0%)	60 (28.6%)	111 (52.9%)	29 (13.8%)	5 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.4%)	14.22	7.08
	それ以外の施設	797	17 (2.1%)	206 (25.8%)	396 (49.7%)	134 (16.8%)	34 (4.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (1.1%)	15.08	8.07
要介護3	全体	1066	5 (0.5%)	149 (14.0%)	423 (39.7%)	387 (36.3%)	89 (8.3%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (0.8%)	19.82	8.87
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	0 (0.0%)	14 (23.7%)	27 (45.8%)	16 (27.1%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17.27	8.01
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	0 (0.0%)	31 (14.8%)	81 (38.6%)	84 (40.0%)	12 (5.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	19.38	7.91
	それ以外の施設	797	5 (0.6%)	104 (13.0%)	315 (39.5%)	287 (36.0%)	75 (9.4%)	4 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (0.9%)	20.13	9.14
要介護4	全体	1066	0 (0.0%)	110 (10.3%)	355 (33.3%)	415 (38.9%)	166 (15.6%)	13 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (0.7%)	22.13	9.58
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	0 (0.0%)	8 (13.6%)	24 (40.7%)	21 (35.6%)	5 (8.5%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19.86	9.27
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	0 (0.0%)	29 (13.8%)	61 (29.0%)	86 (41.0%)	29 (13.8%)	4 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	21.83	10.01
	それ以外の施設	797	0 (0.0%)	73 (9.2%)	270 (33.9%)	308 (38.6%)	132 (16.6%)	8 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.8%)	22.37	9.47
要介護5	全体	1066	4 (0.4%)	272 (25.5%)	470 (44.1%)	214 (20.1%)	88 (8.3%)	10 (0.9%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.6%)	17.19	10.39
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	0 (0.0%)	20 (33.9%)	25 (42.4%)	11 (18.6%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15.00	8.50
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	3 (1.4%)	66 (31.4%)	91 (43.3%)	34 (16.2%)	14 (6.7%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	15.45	9.51
	それ以外の施設	797	1 (0.1%)	186 (23.3%)	354 (44.4%)	169 (21.2%)	71 (8.9%)	9 (1.1%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (0.6%)	17.81	10.67

図表 2-9 要介護度別入所者割合（ショートステイ利用者は除く）/入所者数比率（％）

入所期間	施設類型別	調査数	0 %	0 % 超 1 %	1 % 超 5 %	5 % 超 10 %	10 % 超 20 %	20 % 超 30 %	30 % 超 50 %	50 % 超 75 %	75 % 超	無回答	平均	標準偏差
要介護1	全体	1066	71 (6.7%)	3 (0.3%)	191 (17.9%)	369 (34.6%)	354 (33.2%)	61 (5.7%)	10 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	6 (0.6%)	9.79	8.39
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	6 (10.2%)	0 (0.0%)	10 (16.9%)	20 (33.9%)	20 (33.9%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8.51	5.78
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	12 (5.7%)	1 (0.5%)	46 (21.9%)	68 (32.4%)	71 (33.8%)	10 (4.8%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	9.66	6.57
	それ以外の施設	797	53 (6.6%)	2 (0.3%)	135 (16.9%)	281 (35.3%)	263 (33.0%)	48 (6.0%)	9 (1.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	5 (0.6%)	9.92	8.96
要介護2	全体	1066	26 (2.4%)	2 (0.2%)	31 (2.9%)	96 (9.0%)	511 (47.9%)	354 (33.2%)	37 (3.5%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	6 (0.6%)	17.98	11.55
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	1 (1.7%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	5 (8.5%)	35 (59.3%)	15 (25.4%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16.67	7.18
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	4 (1.9%)	0 (0.0%)	6 (2.9%)	16 (7.6%)	100 (47.6%)	74 (35.2%)	8 (3.8%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	18.12	7.60
	それ以外の施設	797	21 (2.6%)	2 (0.3%)	24 (3.0%)	75 (9.4%)	376 (47.2%)	265 (33.2%)	27 (3.4%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	5 (0.6%)	18.04	12.62
要介護3	全体	1066	8 (0.8%)	0 (0.0%)	10 (0.9%)	16 (1.5%)	247 (23.2%)	587 (55.1%)	190 (17.8%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	6 (0.6%)	24.12	9.84
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	15 (25.4%)	29 (49.2%)	14 (23.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24.57	6.92
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	45 (21.4%)	122 (58.1%)	39 (18.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	24.77	6.63
	それ以外の施設	797	7 (0.9%)	0 (0.0%)	9 (1.1%)	14 (1.8%)	187 (23.5%)	436 (54.7%)	137 (17.2%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	5 (0.6%)	23.91	10.69
要介護4	全体	1066	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	11 (1.0%)	156 (14.6%)	549 (51.5%)	337 (31.6%)	4 (0.4%)	1 (0.1%)	6 (0.6%)	27.36	10.44
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	7 (11.9%)	25 (42.4%)	26 (44.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	28.53	7.47
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	29 (13.8%)	103 (49.0%)	74 (35.2%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	28.06	8.07
	それ以外の施設	797	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	8 (1.0%)	120 (15.1%)	421 (52.8%)	237 (29.7%)	3 (0.4%)	1 (0.1%)	5 (0.6%)	27.09	11.16
要介護5	全体	1066	4 (0.4%)	0 (0.0%)	21 (2.0%)	91 (8.5%)	441 (41.4%)	328 (30.8%)	146 (13.7%)	21 (2.0%)	8 (0.8%)	6 (0.6%)	21.60	11.98
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	3 (5.1%)	24 (40.7%)	22 (37.3%)	9 (15.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21.71	10.26
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	3 (1.4%)	0 (0.0%)	5 (2.4%)	21 (10.0%)	91 (43.3%)	61 (29.0%)	28 (13.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	19.52	9.34
	それ以外の施設	797	1 (0.1%)	0 (0.0%)	15 (1.9%)	67 (8.4%)	326 (40.9%)	245 (30.7%)	109 (13.7%)	21 (2.6%)	8 (1.0%)	5 (0.6%)	22.15	12.64

(8) 入所期間別入所者数

- 入所期間別の平均入所者数は、「3ヶ月未満」が18.55人、「3ヶ月以上6ヶ月未満」が12.00人、「6ヶ月以上1年未満」が15.41人、「1年以上3年未満」が23.95人、「3年以上5年未満」が8.40人、「5年以上」が5.09人となっている。
- 入所者数に対する入所期間別の入所者割合の平均は、「3ヶ月未満」が23.99%、「3ヶ月以上6ヶ月未満」が15.16%、「6ヶ月以上1年未満」が18.93%、「1年以上3年未満」が28.23%、「3年以上5年未満」が9.19%、「5年以上」が5.46%となっている。

図表 2-10 入所期間別入所者数（ショートステイ利用者は除く）

入所期間	施設類型別	調査数	0人	0人超 10人	10人超 20人	20人超 30人	30人超 50人	50人超 75人	75人超 100人	100人超 125人	125人超 150人	150人超	無回答	平均	標準偏差
3ヶ月未満	全体	1066	4 (0.4%)	264 (24.8%)	400 (37.5%)	214 (20.1%)	127 (11.9%)	16 (1.5%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38 (3.6%)	18.55	11.98
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	0 (0.0%)	3 (5.1%)	13 (22.0%)	18 (30.5%)	18 (30.5%)	6 (10.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	30.22	14.81
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	0 (0.0%)	18 (8.6%)	76 (36.2%)	63 (30.0%)	41 (19.5%)	5 (2.4%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (2.9%)	23.75	12.05
	それ以外の施設	797	4 (0.5%)	243 (30.5%)	311 (39.0%)	133 (16.7%)	68 (8.5%)	5 (0.6%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (3.9%)	16.28	10.73
6ヶ月未満以上	全体	1066	10 (0.9%)	497 (46.6%)	422 (39.6%)	75 (7.0%)	23 (2.2%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	35 (3.3%)	12.00	7.64
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	1 (1.7%)	30 (50.8%)	22 (37.3%)	4 (6.8%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	10.95	6.54
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	0 (0.0%)	85 (40.5%)	89 (42.4%)	24 (11.4%)	7 (3.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (2.4%)	13.30	7.46
	それ以外の施設	797	9 (1.1%)	382 (47.9%)	311 (39.0%)	47 (5.9%)	15 (1.9%)	3 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29 (3.6%)	11.74	7.73
6ヶ月以上1年未満	全体	1066	13 (1.2%)	278 (26.1%)	522 (49.0%)	155 (14.5%)	44 (4.1%)	8 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	46 (4.3%)	15.41	8.81
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	2 (3.4%)	30 (50.8%)	21 (35.6%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.1%)	10.62	6.35
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	2 (1.0%)	69 (32.9%)	96 (45.7%)	28 (13.3%)	7 (3.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (3.8%)	14.12	7.49
	それ以外の施設	797	9 (1.1%)	179 (22.5%)	405 (50.8%)	124 (15.6%)	37 (4.6%)	8 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	35 (4.4%)	16.10	9.14
1年以上3年未満	全体	1066	40 (3.8%)	124 (11.6%)	242 (22.7%)	310 (29.1%)	265 (24.9%)	28 (2.6%)	4 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	52 (4.9%)	23.95	13.64
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	4 (6.8%)	20 (33.9%)	22 (37.3%)	3 (5.1%)	7 (11.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.1%)	13.14	10.15
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	7 (3.3%)	43 (20.5%)	53 (25.2%)	63 (30.0%)	34 (16.2%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (3.8%)	19.85	12.10
	それ以外の施設	797	29 (3.6%)	61 (7.7%)	167 (21.0%)	244 (30.6%)	224 (28.1%)	27 (3.4%)	3 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	41 (5.1%)	25.85	13.65
3年以上5年未満	全体	1066	155 (14.5%)	498 (46.7%)	254 (23.8%)	47 (4.4%)	12 (1.1%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	97 (9.1%)	8.40	7.77
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	16 (27.1%)	31 (52.5%)	6 (10.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (10.2%)	3.64	4.72
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	50 (23.8%)	110 (52.4%)	26 (12.4%)	6 (2.9%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (8.1%)	5.66	6.55
	それ以外の施設	797	89 (11.2%)	357 (44.8%)	222 (27.9%)	41 (5.1%)	11 (1.4%)	3 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	74 (9.3%)	9.48	7.94
5年以上	全体	1066	313 (29.4%)	459 (43.1%)	144 (13.5%)	14 (1.3%)	7 (0.7%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	127 (11.9%)	5.09	6.73
	介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	27 (45.8%)	17 (28.8%)	4 (6.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (18.6%)	2.06	3.63
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	89 (42.4%)	89 (42.4%)	10 (4.8%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (9.5%)	2.81	5.04
	それ以外の施設	797	197 (24.7%)	353 (44.3%)	130 (16.3%)	14 (1.8%)	5 (0.6%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	96 (12.0%)	5.91	7.08

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設
 タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設
 タイプ C：上記以外の施設

図表 2-11 入所期間別入所者割合（ショートステイ利用者は除く）/入所者数比率（％）

入所期間	施設類型別	調査数	0％	0％超 ～ 1％	1％超 ～ 5％	5％超 ～ 10％	10％超 ～ 20％	20％超 ～ 30％	30％超 ～ 50％	50％超 ～ 75％	75％超	無回答	平均	標準偏差
3ヶ月未満	全体	1066	14 (1.3%)	1 (0.1%)	21 (2.0%)	100 (9.4%)	367 (34.4%)	277 (26.0%)	196 (18.4%)	42 (3.9%)	20 (1.9%)	28 (2.6%)	23.99	16.20
	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	3 (5.1%)	6 (10.2%)	31 (52.5%)	9 (15.3%)	8 (13.6%)	1 (1.7%)	45.75	20.97
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.4%)	34 (16.2%)	75 (35.7%)	71 (33.8%)	15 (7.1%)	6 (2.9%)	4 (1.9%)	32.29	16.60
	それ以外の施設	797	12 (1.5%)	1 (0.1%)	21 (2.6%)	96 (12.0%)	330 (41.4%)	196 (24.6%)	94 (11.8%)	18 (2.3%)	6 (0.8%)	23 (2.9%)	20.15	13.33
6ヶ月未満	全体	1066	17 (1.6%)	0 (0.0%)	54 (5.1%)	215 (20.2%)	556 (52.2%)	140 (13.1%)	45 (4.2%)	7 (0.7%)	4 (0.4%)	28 (2.6%)	15.16	9.68
	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	1 (1.7%)	0 (0.0%)	3 (5.1%)	10 (16.9%)	29 (49.2%)	13 (22.0%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	15.60	7.72
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	1 (0.5%)	0 (0.0%)	7 (3.3%)	32 (15.2%)	110 (52.4%)	40 (19.0%)	15 (7.1%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	4 (1.9%)	17.49	9.11
	それ以外の施設	797	15 (1.9%)	0 (0.0%)	44 (5.5%)	173 (21.7%)	417 (52.3%)	87 (10.9%)	28 (3.5%)	6 (0.8%)	4 (0.5%)	23 (2.9%)	14.50	9.87
6ヶ月以上1年未満	全体	1066	31 (2.9%)	0 (0.0%)	14 (1.3%)	83 (7.8%)	528 (49.5%)	298 (28.0%)	67 (6.3%)	9 (0.8%)	8 (0.8%)	28 (2.6%)	18.93	11.32
	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	4 (6.8%)	0 (0.0%)	3 (5.1%)	10 (16.9%)	26 (44.1%)	12 (20.3%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	14.76	8.22
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	6 (2.9%)	0 (0.0%)	6 (2.9%)	23 (11.0%)	100 (47.6%)	58 (27.6%)	13 (6.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.9%)	17.65	8.45
	それ以外の施設	797	21 (2.6%)	0 (0.0%)	5 (0.6%)	50 (6.3%)	402 (50.4%)	228 (28.6%)	51 (6.4%)	9 (1.1%)	8 (1.0%)	23 (2.9%)	19.58	12.08
1年以上3年未満	全体	1066	64 (6.0%)	1 (0.1%)	22 (2.1%)	35 (3.3%)	123 (11.5%)	286 (26.8%)	478 (44.8%)	24 (2.3%)	5 (0.5%)	28 (2.6%)	28.23	18.27
	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	6 (10.2%)	0 (0.0%)	6 (10.2%)	5 (8.5%)	18 (30.5%)	11 (18.6%)	12 (20.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	17.65	12.22
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	11 (5.2%)	1 (0.5%)	9 (4.3%)	18 (8.6%)	28 (13.3%)	72 (34.3%)	66 (31.4%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	4 (1.9%)	23.67	11.88
	それ以外の施設	797	47 (5.9%)	0 (0.0%)	7 (0.9%)	12 (1.5%)	77 (9.7%)	203 (25.5%)	400 (50.2%)	23 (2.9%)	5 (0.6%)	23 (2.9%)	30.23	19.53
5年未満	全体	1066	224 (21.0%)	2 (0.2%)	166 (15.6%)	205 (19.2%)	351 (32.9%)	69 (6.5%)	17 (1.6%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	28 (2.6%)	9.19	8.93
	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	21 (35.6%)	0 (0.0%)	20 (33.9%)	7 (11.9%)	8 (13.6%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	4.54	5.78
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	63 (30.0%)	1 (0.5%)	47 (22.4%)	40 (19.0%)	45 (21.4%)	9 (4.3%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.9%)	6.16	6.74
	それ以外の施設	797	140 (17.6%)	1 (0.1%)	99 (12.4%)	158 (19.8%)	298 (37.4%)	58 (7.3%)	16 (2.0%)	3 (0.4%)	1 (0.1%)	23 (2.9%)	10.35	9.34
5年以上	全体	1066	412 (38.6%)	9 (0.8%)	238 (22.3%)	156 (14.6%)	178 (16.7%)	34 (3.2%)	7 (0.7%)	2 (0.2%)	2 (0.2%)	28 (2.6%)	5.46	9.20
	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	37 (62.7%)	0 (0.0%)	10 (16.9%)	5 (8.5%)	6 (10.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	2.24	4.30
	在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	105 (50.0%)	1 (0.5%)	60 (28.6%)	21 (10.0%)	17 (8.1%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.9%)	2.81	4.45
	それ以外の施設	797	270 (33.9%)	8 (1.0%)	168 (21.1%)	130 (16.3%)	155 (19.4%)	32 (4.0%)	7 (0.9%)	2 (0.3%)	2 (0.3%)	23 (2.9%)	6.41	10.17

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

(9) 施設の構造

- 施設の構造は、「従来型」が最も多く91.0%、次いで「ユニット型」が4.7%、「一部ユニット型」が3.4%となっている。

図表 2-12 施設の構造（ショートステイ用は除く）

	調査数	従来型	ユニット型	一部ユニット型	無回答
全体	1066	970 (91.0%)	50 (4.7%)	36 (3.4%)	10 (0.9%)

- ユニット型の平均ユニット数は、6.50ユニット、一部ユニット型の平均ユニット数は、4.89ユニットとなっている。

図表 2-13 施設の構造（ユニット型）のユニット数

	調査数	1 ユ ニ ッ ト	2 ツ ユ ニ ッ ト 3 ユ	4 ツ ユ ニ ッ ト 5 ユ	6 ツ ユ ニ ッ ト 1 0	1 0 ユ ニ ッ ト 超	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	50	1 (2.0%)	13 (26.0%)	6 (12.0%)	25 (50.0%)	3 (6.0%)	2 (4.0%)	6.50	3.20

図表 2-14 施設の構造（一部ユニット型）のユニット数

	調査数	1 ユ ニ ッ ト	2 ツ ユ ニ ッ ト 3 ユ	4 ツ ユ ニ ッ ト 5 ユ	6 ツ ユ ニ ッ ト 1 0	1 0 ユ ニ ッ ト 超	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	36	5 (13.9%)	12 (33.3%)	12 (33.3%)	4 (11.1%)	2 (5.6%)	1 (2.8%)	4.89	6.26

(10) 医療機関又は入所施設の併設有無

- 医療機関又は入所施設の併設有無は、「医療機関または入所施設は併設していない」が最も多く36.7%、次いで「病院併設」が33.4%、「その他の入所施設、居宅系サービスを併設（特定施設、グループホーム等）」が13.0%となっている。

図表 2-15 医療機関又は入所施設の併設有無（複数回答）（施設類型別）

	調査数	病院併設	有床診療所併設	無床診療所併設	特別養護老人ホーム併設	施設グループホーム（特定施設等）併設	その他の入所施設、居宅系サービスを併設しない入所施設は併設していない医療機関または入所施設は併設していない	無回答
全体	1066	356 (33.4%)	66 (6.2%)	107 (10.0%)	58 (5.4%)	139 (13.0%)	391 (36.7%)	23 (2.2%)
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	25 (42.4%)	6 (10.2%)	6 (10.2%)	3 (5.1%)	10 (16.9%)	14 (23.7%)	1 (1.7%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	85 (40.5%)	12 (5.7%)	14 (6.7%)	10 (4.8%)	29 (13.8%)	74 (35.2%)	1 (0.5%)
C:それ以外の施設	797	246 (30.9%)	48 (6.0%)	87 (10.9%)	45 (5.6%)	100 (12.5%)	303 (38.0%)	21 (2.6%)

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

- 医療系の併設施設および福祉系の併設施設の有無について、何らかの医療施設があるか、福祉施設があるか等の観点から再度まとめたところ、以下のとおりとなった。
- タイプAの施設では、何らかの医療機関を併設している割合が62.7%と、タイプCの施設の47.4%と比較すると高くなっていた。また、タイプCの施設では、医療機関も福祉施設も併設していない施設の割合がタイプA、Bと比較して高くなっている。
- 全体として、医療機関が併設されている施設では在宅復帰を強化している傾向がみられている。

図表 2-16 医療機関又は入所施設の併設有無（医療系）（施設類型別）

	調査数	医療機関を併設している割合	医療施設を併設している割合	それ以外の施設	無回答
全体	1066	525 (49.2%)	127 (11.9%)	391 (36.7%)	23 (2.2%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	37 (62.7%)	7 (11.9%)	14 (23.7%)	1 (1.7%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	110 (52.4%)	25 (11.9%)	74 (35.2%)	1 (0.5%)
C:それ以外の施設	797	378 (47.4%)	95 (11.9%)	303 (38.0%)	21 (2.6%)

図表 2-17 医療機関又は入所施設の併設有無（福祉系）（施設類型別）

	調査数	医療機関を併設している割合	福祉施設を併設している割合	それ以外の施設	無回答
全体	1066	183 (17.2%)	469 (44.0%)	391 (36.7%)	23 (2.2%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	13 (22.0%)	31 (52.5%)	14 (23.7%)	1 (1.7%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	38 (18.1%)	97 (46.2%)	74 (35.2%)	1 (0.5%)
C:それ以外の施設	797	132 (16.6%)	341 (42.8%)	303 (38.0%)	21 (2.6%)

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-18 医療機関又は入所施設の併設有無（医療系）（施設サービス費別）

		調査数	医療機関を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無	医療機関を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無	それ以外の施設	無回答
全体		1066	525 (49.2%)	127 (11.9%)	391 (36.7%)	23 (2.2%)
介護保健施設サービス費	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(ii)：従来型	911	431 (47.3%)	108 (11.9%)	351 (38.5%)	21 (2.3%)
	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iii)：在宅強化型	58	37 (63.8%)	6 (10.3%)	14 (24.1%)	1 (1.7%)
	介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	40	35 (87.5%)	1 (2.5%)	3 (7.5%)	1 (2.5%)
ユニット型介護保健施設サービス費	ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii)：従来型	86	32 (37.2%)	13 (15.1%)	41 (47.7%)	0 (0.0%)
	ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)：在宅強化型	3	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	4	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)

図表 2-19 医療機関又は入所施設の併設有無（福祉系）（施設サービス費別）

		調査数	医療機関を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無	医療機関を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無 診療所を併設しない診療所の有無	それ以外の施設	無回答
全体		1066	183 (17.2%)	469 (44.0%)	391 (36.7%)	23 (2.2%)
介護保健施設サービス費	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(ii)：従来型	911	153 (16.8%)	386 (42.4%)	351 (38.5%)	21 (2.3%)
	介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iii)：在宅強化型	58	12 (20.7%)	31 (53.4%)	14 (24.1%)	1 (1.7%)
	介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	40	4 (10.0%)	32 (80.0%)	3 (7.5%)	1 (2.5%)
ユニット型介護保健施設サービス費	ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii)：従来型	86	19 (22.1%)	26 (30.2%)	41 (47.7%)	0 (0.0%)
	ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)：在宅強化型	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	4	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)

(11) 協力医療機関について

- 協力医療機関の箇所数は、「2箇所～3箇所」が最も多く47.1%、次いで「1箇所」が39.2%、「4箇所～5箇所」が9.1%となっている。

図表 2-20 協力医療機関の箇所数

	調査数	0箇所	1箇所	2箇所～3箇所	4箇所～5箇所	6箇所～10箇所	10箇所超	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	2 (0.2%)	418 (39.2%)	502 (47.1%)	97 (9.1%)	26 (2.4%)	3 (0.3%)	18 (1.7%)	2.11	1.39

- 主たる協力医療機関の開設主体は、「同一法人又は系列法人の医療機関である」が60.8%、「同一法人又は系列法人の医療機関ではない」が37.2%であった。

図表 2-21 主たる協力医療機関の開設主体

	調査数	同一法人の医療機関又は系列	同一法人の医療機関又は系列でない	無回答
全体	1066	648 (60.8%)	397 (37.2%)	21 (2.0%)

- 主たる協力医療機関の併設の状況は、「併設又は隣接していない」が57.0%、「併設または隣接している」が37.1%であった。

図表 2-22 主たる協力医療機関の併設の状況

	調査数	併設又は隣接している	併設又は隣接していない	無回答
全体	1066	396 (37.1%)	608 (57.0%)	62 (5.8%)

- 主たる協力医療機関が併設又は隣接していない場合の施設からの距離は、平均5.70kmとなっている。

図表 2-23 主たる協力医療機関の施設からの距離

	調査数	1km以内	1km超～3km	3km超～5km	5km超～10km	10km超	無回答	平均	標準偏差
全体	608	93 (15.3%)	152 (25.0%)	95 (15.6%)	119 (19.6%)	64 (10.5%)	85 (14.0%)	5.70	7.26

2-2. 退所等の状況

(1) 退所者数

- 平成24年9月～11月の退所者数の平均は23.87人、居宅への退所者については7.33人であった。施設類型別にみると、タイプAの施設では、退所者数、居宅への退所者数がそれぞれ40.54人、22.98人と多くなっている。また、平成23年9月～11月の退所者の平均は22.95人、居宅への退所者数は6.30人であった。こちらも同様に、タイプAの施設では特に退所者、居宅への退所者が多くなっている。
- 昨年度と比較すると、退所者数、居宅への退所者数ともにやや増加していた。

図表 2-24 退所者数（施設類型別）

期間	種別	施設類型	調査数	0人	0人超 10人	10人超 20人	20人超 30人	30人超 50人	50人超 75人	75人超 100人	100人超 125人	125人超 150人	150人超	無回答	平均	標準偏差
平成24年9月～11月	退所者	全体	1066	6 (0.6%)	194 (18.2%)	324 (30.4%)	260 (24.4%)	204 (19.1%)	50 (4.7%)	11 (1.0%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	12 (1.1%)	23.87	16.96
		介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iv)（ユニット型含む）	59	0 (0.0%)	2 (3.4%)	6 (10.2%)	15 (25.4%)	21 (35.6%)	8 (13.6%)	7 (11.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	40.54	22.12
		在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	1 (0.5%)	10 (4.8%)	44 (21.0%)	73 (34.8%)	64 (30.5%)	16 (7.6%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29.54	14.51
		それ以外の施設	797	5 (0.6%)	182 (22.8%)	274 (34.4%)	172 (21.6%)	119 (14.9%)	26 (3.3%)	3 (0.4%)	3 (0.4%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	12 (1.5%)	21.10	16.02
	居宅への退所者	全体	1066	196 (18.4%)	617 (57.9%)	162 (15.2%)	44 (4.1%)	19 (1.8%)	9 (0.8%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	15 (1.4%)	7.33	11.29
		介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iv)（ユニット型含む）	59	2 (3.4%)	12 (20.3%)	20 (33.9%)	10 (16.9%)	9 (15.3%)	6 (10.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	22.98	17.44
		在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	3 (1.4%)	99 (47.1%)	78 (37.1%)	23 (11.0%)	5 (2.4%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	12.24	8.34
		それ以外の施設	797	191 (24.0%)	506 (63.5%)	64 (8.0%)	11 (1.4%)	5 (0.6%)	2 (0.3%)	3 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	14 (1.8%)	4.85	9.96
平成23年9月～11月	退所者	全体	1066	39 (3.7%)	186 (17.4%)	312 (29.3%)	250 (23.5%)	169 (15.9%)	41 (3.8%)	12 (1.1%)	4 (0.4%)	2 (0.2%)	2 (0.2%)	49 (4.6%)	22.95	19.66
		介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iv)（ユニット型含む）	59	1 (1.7%)	3 (5.1%)	12 (20.3%)	8 (13.6%)	19 (32.2%)	8 (13.6%)	6 (10.2%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	39.85	27.13
		在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	2 (1.0%)	18 (8.6%)	43 (20.5%)	79 (37.6%)	49 (23.3%)	8 (3.8%)	3 (1.4%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	5 (2.4%)	28.02	17.44
		それ以外の施設	797	36 (4.5%)	165 (20.7%)	257 (32.2%)	163 (20.5%)	101 (12.7%)	25 (3.1%)	3 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	44 (5.5%)	20.24	18.60
	居宅への退所者	全体	1066	219 (20.5%)	621 (58.3%)	103 (9.7%)	27 (2.5%)	26 (2.4%)	7 (0.7%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	59 (5.5%)	6.30	11.33
		介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iv)（ユニット型含む）	59	4 (6.8%)	18 (30.5%)	15 (25.4%)	5 (8.5%)	11 (18.6%)	5 (8.5%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	22.46	22.58
		在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	11 (5.2%)	125 (59.5%)	49 (23.3%)	12 (5.7%)	6 (2.9%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (2.4%)	9.78	9.30
		それ以外の施設	797	204 (25.6%)	478 (60.0%)	39 (4.9%)	10 (1.3%)	9 (1.1%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	54 (6.8%)	4.05	9.01

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または (iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

○ これを入所者に対する割合でみると、平成24年9月～11月の退所者割合の平均は31.36%、居宅への退所者については10.27%であった。施設類型別にみると、タイプAの施設では、退所者数、居宅への退所者数がそれぞれ61.88%、35.56%と多くなっている。

○ 昨年度と比較すると、3ヶ月間の退所者割合はやや増加していた。

図表 2-25 退所者割合（施設類型別）（入所者に占める割合：％）

期間	種別	施設類型	調査数	0 %	0 % 超 1 %	1 % 超 5 %	5 % 超 1	1 % 超 2	2 % 超 3	3 % 超 5	5 % 超 7	7 % 超	無回答	平均	標準偏差
平成24年9月～11月	退所者	全体	1066	6 (0.6%)	0 (0.0%)	17 (1.6%)	65 (6.1%)	274 (25.7%)	286 (26.8%)	259 (24.3%)	103 (9.7%)	43 (4.0%)	13 (1.2%)	31.36	26.03
		介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または(iv)（ユニット型含む）	59	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	25 (42.4%)	19 (32.2%)	11 (18.6%)	0 (0.0%)	61.88	36.59
		在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	17 (8.1%)	59 (28.1%)	76 (36.2%)	40 (19.0%)	14 (6.7%)	0 (0.0%)	42.52	35.03
		それ以外の施設	797	5 (0.6%)	0 (0.0%)	16 (2.0%)	61 (7.7%)	256 (32.1%)	226 (28.4%)	158 (19.8%)	44 (5.5%)	18 (2.3%)	13 (1.6%)	26.07	18.75
	居宅への退所者	全体	1066	196 (18.4%)	25 (2.3%)	313 (29.4%)	201 (18.9%)	183 (17.2%)	57 (5.3%)	50 (4.7%)	10 (0.9%)	15 (1.4%)	16 (1.5%)	10.27	18.63
		介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または(iv)（ユニット型含む）	59	2 (3.4%)	0 (0.0%)	3 (5.1%)	2 (3.4%)	14 (23.7%)	12 (20.3%)	14 (23.7%)	5 (8.5%)	7 (11.9%)	0 (0.0%)	35.56	30.01
		在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	3 (1.4%)	0 (0.0%)	14 (6.7%)	47 (22.4%)	93 (44.3%)	28 (13.3%)	17 (8.1%)	3 (1.4%)	4 (1.9%)	1 (0.5%)	18.89	26.29
		それ以外の施設	797	191 (24.0%)	25 (3.1%)	296 (37.1%)	152 (19.1%)	76 (9.5%)	17 (2.1%)	19 (2.4%)	2 (0.3%)	4 (0.5%)	15 (1.9%)	6.05	11.36
平成23年9月～11月	退所者	全体	1066	38 (3.6%)	0 (0.0%)	23 (2.2%)	63 (5.9%)	285 (26.7%)	246 (23.1%)	242 (22.7%)	73 (6.8%)	46 (4.3%)	50 (4.7%)	29.70	26.12
		介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または(iv)（ユニット型含む）	59	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	4 (6.8%)	9 (15.3%)	16 (27.1%)	13 (22.0%)	15 (25.4%)	0 (0.0%)	61.42	43.23
		在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	2 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	6 (2.9%)	28 (13.3%)	50 (23.8%)	75 (35.7%)	30 (14.3%)	13 (6.2%)	5 (2.4%)	38.38	25.05
		それ以外の施設	797	35 (4.4%)	0 (0.0%)	22 (2.8%)	56 (7.0%)	253 (31.7%)	187 (23.5%)	151 (18.9%)	30 (3.8%)	18 (2.3%)	45 (5.6%)	24.85	22.00
	居宅への退所者	全体	1066	218 (20.5%)	25 (2.3%)	360 (33.8%)	160 (15.0%)	130 (12.2%)	41 (3.8%)	43 (4.0%)	14 (1.3%)	15 (1.4%)	60 (5.6%)	9.00	17.31
		介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または(iv)（ユニット型含む）	59	4 (6.8%)	0 (0.0%)	4 (6.8%)	6 (10.2%)	14 (23.7%)	3 (5.1%)	15 (25.4%)	5 (8.5%)	8 (13.6%)	0 (0.0%)	35.21	36.18
		在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	11 (5.2%)	1 (0.5%)	44 (21.0%)	45 (21.4%)	60 (28.6%)	21 (10.0%)	14 (6.7%)	5 (2.4%)	4 (1.9%)	5 (2.4%)	15.21	19.54
		それ以外の施設	797	203 (25.5%)	24 (3.0%)	312 (39.1%)	109 (13.7%)	56 (7.0%)	17 (2.1%)	14 (1.8%)	4 (0.5%)	3 (0.4%)	55 (6.9%)	5.21	10.92

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または (iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

（２）平均在所日数の変化

- 平成24年9月～11月、および平成23年9月～11月の平均在所日数について、双方を計算することができた施設における平均在所日数の変化を以下に示す。全体として、平均在所日数は平成23年の状況と比較すると減少している傾向がみられている。
- 施設類型別にみると、タイプA（介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む））では、平均在所日数が216.9日から188.9日に減少しており、施設類型の中で最も短くなっている。タイプB（在宅復帰・療養支援加算取得施設）においては、それぞれ330.7日から282.3日に減少していた。タイプC（それ以外の施設）においては540.0日から517.9日へと減少している。

図表 2-26 平均在所日数：平成 24 年 9 月～11 月（施設類型別）

	調査数	3ヶ月以内	3ヶ月超～6ヶ月	6ヶ月超～9ヶ月	9ヶ月超～1年	1年超～1年6ヶ月	1年6ヶ月超～2年	2年超	無回答	平均（日）	標準偏差
全体	1066	39 (3.7%)	106 (9.9%)	155 (14.5%)	144 (13.5%)	191 (17.9%)	108 (10.1%)	103 (9.7%)	220 (20.6%)	448.0	433.9
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	11 (18.6%)	17 (28.8%)	18 (30.5%)	1 (1.7%)	2 (3.4%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	8 (13.6%)	188.9	130.7
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	10 (4.8%)	41 (19.5%)	52 (24.8%)	41 (19.5%)	30 (14.3%)	3 (1.4%)	3 (1.4%)	30 (14.3%)	282.3	197.9
C:それ以外の施設	797	18 (2.3%)	48 (6.0%)	85 (10.7%)	102 (12.8%)	159 (19.9%)	104 (13.0%)	99 (12.4%)	182 (22.8%)	517.9	477.2

図表 2-27 平均在所日数：平成 23 年 9 月～11 月（施設類型別）

	調査数	3ヶ月以内	3ヶ月超～6ヶ月	6ヶ月超～9ヶ月	9ヶ月超～1年	1年超～1年6ヶ月	1年6ヶ月超～2年	2年超	無回答	平均（日）	標準偏差
全体	1066	43 (4.0%)	90 (8.4%)	150 (14.1%)	145 (13.6%)	204 (19.1%)	94 (8.8%)	120 (11.3%)	220 (20.6%)	476.0	608.4
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	11 (18.6%)	16 (27.1%)	15 (25.4%)	2 (3.4%)	4 (6.8%)	1 (1.7%)	2 (3.4%)	8 (13.6%)	216.9	169.2
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	8 (3.8%)	33 (15.7%)	49 (23.3%)	38 (18.1%)	31 (14.8%)	12 (5.7%)	9 (4.3%)	30 (14.3%)	330.7	241.7
C:それ以外の施設	797	24 (3.0%)	41 (5.1%)	86 (10.8%)	105 (13.2%)	169 (21.2%)	81 (10.2%)	109 (13.7%)	182 (22.8%)	540.0	688.6

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

2-3. 職員体制

○ 常勤の平均実人数は、「医師」が1.21人、「看護師」が4.30人、「准看護師」が4.82人等となっている。

図表 2-28 常勤（実人員）

	調査数	0人	0人超 ～ 1人	1人超 ～ 3人	3人超 ～ 5人	5人超 ～ 10人	10人超 ～ 20人	20人超 ～ 30人	30人超 ～ 50人	50人超	無回答	平均	標準偏差
1. 医師	1066	28 (2.6%)	674 (63.2%)	112 (10.5%)	7 (0.7%)	5 (0.5%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.21	0.86
2. 歯科医師	1066	822 (77.1%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.02	0.31
3. 看護師	1066	31 (2.9%)	82 (7.7%)	267 (25.0%)	215 (20.2%)	204 (19.1%)	28 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	4.30	2.90
4. 准看護師	1066	56 (5.3%)	42 (3.9%)	183 (17.2%)	242 (22.7%)	282 (26.5%)	21 (2.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	4.82	2.98
5. 支援相談員	1066	13 (1.2%)	326 (30.6%)	467 (43.8%)	20 (1.9%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.78	0.83
6. PT/OT/ST	1066	24 (2.3%)	66 (6.2%)	308 (28.9%)	274 (25.7%)	142 (13.3%)	13 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	3.91	2.28
7. 管理栄養士・栄養士	1066	19 (1.8%)	587 (55.1%)	197 (18.5%)	18 (1.7%)	5 (0.5%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.38	0.92
8. 薬剤師	1066	625 (58.6%)	196 (18.4%)	5 (0.5%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.25	0.46
9. 介護支援専門員	1066	22 (2.1%)	372 (34.9%)	345 (32.4%)	62 (5.8%)	21 (2.0%)	4 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	2.00	1.69
10. 介護職員	1066	7 (0.7%)	1 (0.1%)	2 (0.2%)	8 (0.8%)	25 (2.3%)	152 (14.3%)	337 (31.6%)	268 (25.1%)	27 (2.5%)	239 (22.4%)	27.78	11.09
11. 介護職員うち、介護福祉士保有者	1066	21 (2.0%)	11 (1.0%)	17 (1.6%)	25 (2.3%)	114 (10.7%)	339 (31.8%)	218 (20.5%)	77 (7.2%)	5 (0.5%)	239 (22.4%)	17.96	9.65
12. その他	1066	213 (20.0%)	55 (5.2%)	200 (18.8%)	156 (14.6%)	132 (12.4%)	66 (6.2%)	4 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	3.95	4.40

○ 非常勤の平均実人数は、「医師」が0.84人、「看護師」が1.36人、「准看護師」が1.22人等となっている。

図表 2-29 非常勤（実人員）

	調査数	0人	0人超 ～ 1人	1人超 ～ 3人	3人超 ～ 5人	5人超 ～ 10人	10人超 ～ 20人	20人超 ～ 30人	30人超 ～ 50人	50人超	無回答	平均	標準偏差
1. 医師	1066	469 (44.0%)	180 (16.9%)	139 (13.0%)	31 (2.9%)	8 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.84	1.29
2. 歯科医師	1066	813 (76.3%)	13 (1.2%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.02	0.14
3. 看護師	1066	398 (37.3%)	171 (16.0%)	164 (15.4%)	61 (5.7%)	28 (2.6%)	5 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.36	2.07
4. 准看護師	1066	398 (37.3%)	179 (16.8%)	182 (17.1%)	42 (3.9%)	24 (2.3%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.22	1.78
5. 支援相談員	1066	793 (74.4%)	28 (2.6%)	5 (0.5%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.05	0.27
6. PT/OT/ST	1066	522 (49.0%)	179 (16.8%)	90 (8.4%)	21 (2.0%)	14 (1.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.71	1.40
7. 管理栄養士・栄養士	1066	772 (72.4%)	50 (4.7%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.08	0.34
8. 薬剤師	1066	436 (40.9%)	361 (33.9%)	26 (2.4%)	1 (0.1%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.54	0.72
9. 介護支援専門員	1066	746 (70.0%)	57 (5.3%)	17 (1.6%)	4 (0.4%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.17	0.74
10. 介護職員	1066	229 (21.5%)	76 (7.1%)	159 (14.9%)	116 (10.9%)	165 (15.5%)	67 (6.3%)	11 (1.0%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	4.38	5.44
11. 介護職員うち、介護福祉士保有者	1066	418 (39.2%)	149 (14.0%)	183 (17.2%)	50 (4.7%)	21 (2.0%)	6 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.26	1.97
12. その他	1066	440 (41.3%)	113 (10.6%)	104 (9.8%)	65 (6.1%)	71 (6.7%)	32 (3.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	2.04	3.56

○ 常勤換算人数の合計についてみると、「医師」が1.22人、「看護師」が4.62人、「准看護師」が5.02人などとなっている。

図表 2-30 常勤換算人数合計

	調査数	0人	0人超 1人	1人超 3人	3人超 5人	5人超 10人	10人超 20人	20人超 30人	30人超 50人	50人超	無回答	平均	標準偏差
1. 医師	1066	0 (0.0%)	494 (46.3%)	329 (30.9%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.12	0.47
2. 歯科医師	1066	809 (75.9%)	17 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.01	0.22
3. 看護師	1066	43 (4.0%)	76 (7.1%)	183 (17.2%)	221 (20.7%)	251 (23.5%)	52 (4.9%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	4.62	3.24
4. 准看護師	1066	56 (5.3%)	55 (5.2%)	150 (14.1%)	201 (18.9%)	326 (30.6%)	37 (3.5%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	5.02	3.31
5. 支援相談員	1066	62 (5.8%)	322 (30.2%)	424 (39.8%)	18 (1.7%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.53	0.89
6. PT/OT/ST	1066	23 (2.2%)	85 (8.0%)	358 (33.6%)	249 (23.4%)	104 (9.8%)	7 (0.7%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	3.24	2.07
7. 管理栄養士・栄養士	1066	69 (6.5%)	537 (50.4%)	200 (18.8%)	16 (1.5%)	5 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.22	0.86
8. 薬剤師	1066	246 (23.1%)	574 (53.8%)	7 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	0.29	0.28
9. 介護支援専門員	1066	58 (5.4%)	415 (38.9%)	315 (29.5%)	25 (2.3%)	12 (1.1%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	1.49	1.23
10. 介護職員	1066	20 (1.9%)	8 (0.8%)	21 (2.0%)	29 (2.7%)	31 (2.9%)	106 (9.9%)	244 (22.9%)	327 (30.7%)	41 (3.8%)	239 (22.4%)	27.51	13.86
11. 介護職員うち、介護福祉士保有者	1066	65 (6.1%)	20 (1.9%)	37 (3.5%)	31 (2.9%)	92 (8.6%)	291 (27.3%)	208 (19.5%)	79 (7.4%)	4 (0.4%)	239 (22.4%)	16.55	10.76
12. その他	1066	211 (19.8%)	57 (5.3%)	150 (14.1%)	138 (12.9%)	175 (16.4%)	88 (8.3%)	5 (0.5%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	239 (22.4%)	4.46	5.10

2－4．加算等の算定状況（平成24年11月中）

（1）緊急時施設療養費

- 緊急時施設療養費は、「算定なし」が最も多く64.9%、次いで「緊急時治療管理」が29.5%、「特定治療」が4.7%となっている。

図表 2-31 緊急時施設療養費

	調査数	緊急時治療管理	特定治療	算定なし	無回答
全体	1066	314 (29.5%)	50 (4.7%)	692 (64.9%)	40 (3.8%)

(2) 夜勤職員配置加算～介護職員処遇改善加算

○ 加算の算定状況は以下の通りであった。

図表 2-32 加算の算定状況

	調査数	算定あり	算定なし	該当しない	無回答
夜勤職員配置加算	1066	917 (86.0%)	147 (13.8%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)
在宅復帰・在宅療養支援機能加算	1066	213 (20.0%)	480 (45.0%)	357 (33.5%)	16 (1.5%)
ターミナルケア加算	1066	230 (21.6%)	825 (77.4%)	0 (0.0%)	11 (1.0%)
短期集中リハビリテーション実施加算	1066	946 (88.7%)	104 (9.8%)	0 (0.0%)	16 (1.5%)
認知症短期集中リハビリテーション実施加算	1066	409 (38.4%)	638 (59.8%)	0 (0.0%)	19 (1.8%)
若年性認知症入所者受入加算	1066	60 (5.6%)	995 (93.3%)	0 (0.0%)	11 (1.0%)
認知症ケア加算	1066	326 (30.6%)	519 (48.7%)	214 (20.1%)	7 (0.7%)
入所前後訪問指導加算	1066	220 (20.6%)	822 (77.1%)	0 (0.0%)	24 (2.3%)
退所時指導等加算	1066	292 (27.4%)	745 (69.9%)	0 (0.0%)	29 (2.7%)
退所前訪問指導加算	1066	145 (13.6%)	885 (83.0%)	0 (0.0%)	36 (3.4%)
退所後訪問指導加算	1066	500 (46.9%)	544 (51.0%)	0 (0.0%)	22 (2.1%)
退所時指導加算	1066	526 (49.3%)	519 (48.7%)	0 (0.0%)	21 (2.0%)
退所時情報提供加算	1066	471 (44.2%)	576 (54.0%)	0 (0.0%)	19 (1.8%)
退所前連携加算	1066	42 (3.9%)	985 (92.4%)	0 (0.0%)	39 (3.7%)
老人訪問看護指示加算	1066	504 (47.3%)	554 (52.0%)	0 (0.0%)	8 (0.8%)
口腔機能維持管理体制加算	1066	198 (18.6%)	846 (79.4%)	0 (0.0%)	22 (2.1%)
口腔機能維持管理加算	1066	55 (5.2%)	395 (37.1%)	605 (56.8%)	11 (1.0%)
在宅復帰支援機能加算	1066	580 (54.4%)	471 (44.2%)	0 (0.0%)	15 (1.4%)
所定疾患施設療養費	1066	9 (0.8%)	1051 (98.6%)	0 (0.0%)	6 (0.6%)
認知症行動・心理症状緊急対応加算	1066	7 (0.7%)	1052 (98.7%)	0 (0.0%)	7 (0.7%)
認知症情報提供加算	1066	16 (1.5%)	1033 (96.9%)	0 (0.0%)	17 (1.6%)
地域連携診療計画情報提供加算	1066	776 (72.8%)	232 (21.8%)	0 (0.0%)	58 (5.4%)
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)	1066	181 (17.0%)	665 (62.4%)	0 (0.0%)	220 (20.6%)
サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	1066	82 (7.7%)	744 (69.8%)	0 (0.0%)	240 (22.5%)
サービス提供体制強化加算(Ⅲ)	1066	911 (85.5%)	141 (13.2%)	0 (0.0%)	14 (1.3%)
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	1066	22 (2.1%)	778 (73.0%)	0 (0.0%)	266 (25.0%)
介護職員処遇改善加算(Ⅱ)	1066	22 (2.1%)	773 (72.5%)	0 (0.0%)	271 (25.4%)
介護職員処遇改善加算(Ⅲ)	1066				

○ 加算の取得状況について、施設類型別の傾向を見ると以下のとおりであった。

図表 2-33 短期集中リハビリテーション実施加算（施設類型別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	946 (88.7%)	104 (9.8%)	16 (1.5%)	56.85	119.92
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	57 (96.6%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	144.67	235.35
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	202 (96.2%)	7 (3.3%)	1 (0.5%)	82.27	140.29
C:それ以外の施設	797	687 (86.2%)	96 (12.0%)	14 (1.8%)	41.43	90.10

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-34 認知症短期集中リハビリテーション実施加算（施設類型別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	409 (38.4%)	638 (59.8%)	19 (1.8%)	26.48	49.16
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	33 (55.9%)	26 (44.1%)	0 (0.0%)	56.43	75.96
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	109 (51.9%)	100 (47.6%)	1 (0.5%)	29.54	44.00
C:それ以外の施設	797	267 (33.5%)	512 (64.2%)	18 (2.3%)	21.43	45.75

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-35 入所前後訪問指導加算（施設類型別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	220 (20.6%)	822 (77.1%)	24 (2.3%)	2.33	2.43
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	25 (42.4%)	33 (55.9%)	1 (1.7%)	3.96	4.05
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	82 (39.0%)	123 (58.6%)	5 (2.4%)	2.87	2.54
C:それ以外の施設	797	113 (14.2%)	666 (83.6%)	18 (2.3%)	1.56	1.35

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-36 退所時指導等加算、退所前訪問指導加算（施設類型別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	292 (27.4%)	745 (69.9%)	29 (2.7%)	1.50	1.10
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	31 (52.5%)	26 (44.1%)	2 (3.4%)	2.03	1.76
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	113 (53.8%)	92 (43.8%)	5 (2.4%)	1.64	1.12
C:それ以外の施設	797	148 (18.6%)	627 (78.7%)	22 (2.8%)	1.29	0.82

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-37 退所時指導等加算、退所後訪問指導加算（施設類型別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	145 (13.6%)	885 (83.0%)	36 (3.4%)	1.41	1.28
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	19 (32.2%)	38 (64.4%)	2 (3.4%)	1.78	1.66
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	52 (24.8%)	153 (72.9%)	5 (2.4%)	1.54	1.07
C:それ以外の施設	797	74 (9.3%)	694 (87.1%)	29 (3.6%)	1.23	1.29

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-38 退所時指導等加算、退所時指導加算（施設類型別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	500 (46.9%)	544 (51.0%)	22 (2.1%)	2.80	2.71
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	48 (81.4%)	11 (18.6%)	0 (0.0%)	6.50	5.44
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	171 (81.4%)	35 (16.7%)	4 (1.9%)	3.26	1.95
C:それ以外の施設	797	281 (35.3%)	498 (62.5%)	18 (2.3%)	1.88	1.57

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-39 退所時指導等加算、退所時情報提供加算（施設類型別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	526 (49.3%)	519 (48.7%)	21 (2.0%)	2.80	2.62
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	50 (84.7%)	8 (13.6%)	1 (1.7%)	6.27	4.93
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	174 (82.9%)	31 (14.8%)	5 (2.4%)	3.33	2.12
C:それ以外の施設	797	302 (37.9%)	480 (60.2%)	15 (1.9%)	1.92	1.57

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-40 退所時指導等加算、退所前連携加算（施設類型別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	471 (44.2%)	576 (54.0%)	19 (1.8%)	2.76	2.71
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	49 (83.1%)	9 (15.3%)	1 (1.7%)	6.26	5.41
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	172 (81.9%)	34 (16.2%)	4 (1.9%)	3.15	1.99
C:それ以外の施設	797	250 (31.4%)	533 (66.9%)	14 (1.8%)	1.81	1.45

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-41 退所時指導等加算、老人訪問看護指示加算（施設類型別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	42 (3.9%)	985 (92.4%)	39 (3.7%)	0.84	1.31
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	12 (20.3%)	46 (78.0%)	1 (1.7%)	1.58	2.15
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	14 (6.7%)	188 (89.5%)	8 (3.8%)	0.80	0.77
C:それ以外の施設	797	16 (2.0%)	751 (94.2%)	30 (3.8%)	0.35	0.49

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

○ 加算の算定状況を、施設サービス費別にみると以下のとおり。

図表 2-42 短期集中リハビリテーション実施加算（施設サービス費別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	946 (88.7%)	104 (9.8%)	16 (1.5%)	56.85	119.92
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	911	814 (89.4%)	84 (9.2%)	13 (1.4%)	51.87	104.76
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	58	56 (96.6%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	141.85	236.68
介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	40	26 (65.0%)	14 (35.0%)	0 (0.0%)	53.86	179.40
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	86	81 (94.2%)	4 (4.7%)	1 (1.2%)	53.75	94.22
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	370.00	65.83
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	4	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	13.33	9.29

図表 2-43 認知症短期集中リハビリテーション実施加算（施設サービス費別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	409 (38.4%)	638 (59.8%)	19 (1.8%)	26.48	49.16
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	911	354 (38.9%)	541 (59.4%)	16 (1.8%)	24.81	46.63
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	58	32 (55.2%)	26 (44.8%)	0 (0.0%)	55.38	77.08
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	40	4 (10.0%)	36 (90.0%)	0 (0.0%)	15.25	23.20
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	86	35 (40.7%)	50 (58.1%)	1 (1.2%)	20.43	35.18
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	62.67	35.44
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	4	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	6.00	5.66

図表 2-44 入所前後訪問指導加算（施設サービス費別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	220 (20.6%)	822 (77.1%)	24 (2.3%)	2.33	2.43
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	911	184 (20.2%)	707 (77.6%)	20 (2.2%)	2.16	2.09
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	58	25 (43.1%)	32 (55.2%)	1 (1.7%)	3.96	4.05
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	40	2 (5.0%)	38 (95.0%)	0 (0.0%)	1.00	0.00
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	86	18 (20.9%)	66 (76.7%)	2 (2.3%)	1.41	1.06
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	3	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	2.00	0.00
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	4	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0.00	0.00

図表 2-45 退所時指導等加算. 退所前訪問指導加算（施設サービス費別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	292 (27.4%)	745 (69.9%)	29 (2.7%)	1.50	1.10
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	911	245 (26.9%)	641 (70.4%)	25 (2.7%)	1.44	0.96
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	58	31 (53.4%)	25 (43.1%)	2 (3.4%)	2.03	1.76
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	40	4 (10.0%)	36 (90.0%)	0 (0.0%)	1.67	0.58
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	86	22 (25.6%)	63 (73.3%)	1 (1.2%)	1.35	0.99
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	3	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1.00	0.00
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	4	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2.00	0.00

図表 2-46 退所時指導等加算. 退所後訪問指導加算（施設サービス費別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	145 (13.6%)	885 (83.0%)	36 (3.4%)	1.41	1.28
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	911	121 (13.3%)	759 (83.3%)	31 (3.4%)	1.37	1.22
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	58	19 (32.8%)	37 (63.8%)	2 (3.4%)	1.78	1.66
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	40	2 (5.0%)	38 (95.0%)	0 (0.0%)	1.50	2.12
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	86	9 (10.5%)	75 (87.2%)	2 (2.3%)	1.33	0.87
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	3	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	2.00	0.00
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	4	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0.00	0.00

図表 2-47 退所時指導等加算. 退所時指導加算（施設サービス費別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	500 (46.9%)	544 (51.0%)	22 (2.1%)	2.80	2.71
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	911	429 (47.1%)	464 (50.9%)	18 (2.0%)	2.42	1.87
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	58	48 (82.8%)	10 (17.2%)	0 (0.0%)	6.50	5.44
介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	40	6 (15.0%)	34 (85.0%)	0 (0.0%)	2.67	1.86
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	86	38 (44.2%)	46 (53.5%)	2 (2.3%)	2.14	1.31
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	14.50	13.44
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	4	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2.00	0.00

図表 2-48 退所時指導等加算. 退所時情報提供加算（施設サービス費別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	526 (49.3%)	519 (48.7%)	21 (2.0%)	2.80	2.62
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	911	444 (48.7%)	450 (49.4%)	17 (1.9%)	2.48	1.94
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	58	50 (86.2%)	7 (12.1%)	1 (1.7%)	6.27	4.93
介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	40	8 (20.0%)	32 (80.0%)	0 (0.0%)	2.00	1.60
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	86	46 (53.5%)	38 (44.2%)	2 (2.3%)	2.07	1.26
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	13.50	12.02
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	4	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1.67	0.58

図表 2-49 退所時指導等加算、退所前連携加算（施設サービス費別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	471 (44.2%)	576 (54.0%)	19 (1.8%)	2.76	2.71
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	911	402 (44.1%)	493 (54.1%)	16 (1.8%)	2.38	1.83
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	58	49 (84.5%)	8 (13.8%)	1 (1.7%)	6.26	5.41
介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	40	6 (15.0%)	34 (85.0%)	0 (0.0%)	2.33	1.51
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	86	37 (43.0%)	48 (55.8%)	1 (1.2%)	1.94	1.14
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	14.50	13.44
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	4	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2.00	0.00

図表 2-50 退所時指導等加算、老人訪問看護指示加算（施設サービス費別）

	調査数	算定あり	算定なし	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	42 (3.9%)	985 (92.4%)	39 (3.7%)	0.84	1.31
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	911	28 (3.1%)	848 (93.1%)	35 (3.8%)	0.57	0.68
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	58	12 (20.7%)	45 (77.6%)	1 (1.7%)	1.58	2.15
介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	40	2 (5.0%)	38 (95.0%)	0 (0.0%)	1.00	0.00
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	86	2 (2.3%)	83 (96.5%)	1 (1.2%)	0.33	0.58
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	3	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	5.00	0.00
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	4	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0.00	0.00

2-5. 医療職の勤務状況

(1) 医師が勤務している時間帯

- 医師が勤務している時間帯は「14時～15時」が最も多く92.7%、次いで「15時～16時」が91.5%、「13時～14時」が90.2%であった。

図表 2-51 医師が勤務している時間帯

	調査数	6時～7時	7時～8時	8時～9時	9時～10時	10時～11時	11時～12時	12時～13時	13時～14時	14時～15時	15時～16時	16時～17時	17時～18時
全体	1066	17 (1.6%)	38 (3.6%)	570 (53.5%)	941 (88.3%)	959 (90.0%)	956 (89.7%)	909 (85.3%)	962 (90.2%)	988 (92.7%)	975 (91.5%)	914 (85.7%)	508 (47.7%)
	18時～19時	19時～20時	20時～21時	21時～22時	22時～23時	23時～0時	0時～1時	1時～2時	2時～3時	3時～4時	4時～5時	5時～6時	無回答
全体	70 (6.6%)	32 (3.0%)	29 (2.7%)	27 (2.5%)	25 (2.3%)	22 (2.1%)	19 (1.8%)	20 (1.9%)	20 (1.9%)	20 (1.9%)	20 (1.9%)	17 (1.6%)	27 (2.5%)

- 上記を勤務時間に換算したところ、医師の勤務時間は「9時間」が最も多く30.6%、次いで「10時間」が25.8%、「8時間」が20.8%であった。

図表 2-52 医師の勤務時間

	調査数	1～4時間	5～7時間	8時間	9時間	10時間	11時間以上	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	78 (7.3%)	83 (7.8%)	222 (20.8%)	326 (30.6%)	275 (25.8%)	55 (5.2%)	27 (2.5%)	8.72	2.86
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ⅱ)または(ⅳ)(ユニット型含む)	59	6 (10.2%)	1 (1.7%)	10 (16.9%)	17 (28.8%)	22 (37.3%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)	8.95	3.05
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	15 (7.1%)	14 (6.7%)	29 (13.8%)	72 (34.3%)	59 (28.1%)	17 (8.1%)	4 (1.9%)	8.95	3.11
C:それ以外の施設	797	57 (7.2%)	68 (8.5%)	183 (23.0%)	237 (29.7%)	194 (24.3%)	35 (4.4%)	23 (2.9%)	8.64	2.77

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ⅱ）または（ⅳ）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

（２）施設の医師の診療科目

- 施設の医師の診療科目は、「内科」が最も多く74.9%、次いで「外科」が25.9%、「その他」が13.8%であった。

図表 2-53 施設の医師の診療科目（複数回答）

	調査数	内科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	精神科	眼科	耳鼻科	歯科	その他	無回答
全体	1066	798 (74.9%)	276 (25.9%)	123 (11.5%)	74 (6.9%)	58 (5.4%)	81 (7.6%)	23 (2.2%)	27 (2.5%)	9 (0.8%)	147 (13.8%)	11 (1.0%)

（３）施設の医師の業務内容

- 施設の医師の業務内容は、「看護職員への指示・指導」が最も多く96.2%、次いで「主治医意見書の作成」が95.9%、「診療及び治療（健康管理を除く）」と「医療機関への紹介」が92.6%であった。

図表 2-54 施設の医師の業務内容（複数回答）

	調査数	健康診断を含む（定期健	診療及び治療（健康管理を除く）（健	予防注射の対応	個別リハの実施	看護職員への指示・指導	リハ職への指示・指導	リハ計画書の作成	急変等発生時の対応	他の医師との連携・相談	カンファレンスへの参加	家族へのインタビュー	医療機関への紹介	主治医意見書の作成	施設職員への研修	無回答
全体	1066	952 (89.3%)	987 (92.6%)	928 (87.1%)	76 (7.1%)	1026 (96.2%)	852 (79.9%)	306 (28.7%)	984 (92.3%)	877 (82.3%)	810 (76.0%)	918 (86.1%)	987 (92.6%)	1022 (95.9%)	482 (45.2%)	8 (0.8%)

(4) 常勤医師不在時、入所者に医療的な問題が生じた場合の対応方法

- 常勤医師不在時に入所者に医療的な問題が生じた場合の対応方法として最も多いのが「常勤医師以外の医師は来ないため、病院を受診させる体制をとっている」で41.7%、次いで「併設医療機関の医師がすぐに来る」で36.6%、「併設医療機関の医師はいないが、電話などの求めに応じて他の医療機関から医師がすぐに来る体制にある」が9.1%となっている。

図表 2-55 常勤医師不在時、入所者に医療的な問題が生じた場合の対応方法

	調査数	併設医療機関の医師がすぐに来る	併設医療機関の医師は来ないが、電話などの求めに応じて他の医療機関から医師がすぐに来る体制にある	代わりの医師が、1日1回程度はかならず来る	常勤医師以外の医師は来ないため、病院を受診させる体制をとっている	常勤医師が来るまで、医師による対応は行わない	無回答
全体	1066	390 (36.6%)	97 (9.1%)	79 (7.4%)	444 (41.7%)	26 (2.4%)	30 (2.8%)

図表 2-56 常勤医師不在時、入所者に医療的な問題が生じた場合の対応方法（施設類型別）

	調査数	併設医療機関の医師がすぐに来る	併設医療機関の医師は来ないが、電話などの求めに応じて他の医療機関から医師がすぐに来る体制にある	代わりの医師が、1日1回程度はかならず来る	常勤医師以外の医師は来ないため、病院を受診させる体制をとっている	常勤医師が来るまで、医師による対応は行わない	無回答
全体	1066	390 (36.6%)	97 (9.1%)	79 (7.4%)	444 (41.7%)	26 (2.4%)	30 (2.8%)
A: 介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	28 (47.5%)	8 (13.6%)	5 (8.5%)	18 (30.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
B: 在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	85 (40.5%)	14 (6.7%)	13 (6.2%)	90 (42.9%)	3 (1.4%)	5 (2.4%)
C: それ以外の施設	797	277 (34.8%)	75 (9.4%)	61 (7.7%)	336 (42.2%)	23 (2.9%)	25 (3.1%)

タイプ A: 介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)を算定している施設

タイプ B: 在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C: 上記以外の施設

図表 2-57 常勤医師不在時、入所者に医療的な問題が生じた場合の対応方法（施設サービス費別）

	調査数	併設医療機関の医師がすぐに来る	併設の医療機関の医師はいるが、電話など求めに依る体制にある	代わりの医師が、1日1回程度は来ず	常勤医師以外の医師は来ないため、病院を受診させる体制をとっている	常勤医師が来るまで、医師による対応は行わない	無回答
全体	1066	390 (36.6%)	97 (9.1%)	79 (7.4%)	444 (41.7%)	26 (2.4%)	30 (2.8%)
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	911	319 (35.0%)	79 (8.7%)	65 (7.1%)	397 (43.6%)	23 (2.5%)	28 (3.1%)
介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	58	28 (48.3%)	8 (13.8%)	5 (8.6%)	17 (29.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	40	30 (75.0%)	2 (5.0%)	2 (5.0%)	5 (12.5%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(i)または(iii):従来型	86	19 (22.1%)	11 (12.8%)	10 (11.6%)	41 (47.7%)	2 (2.3%)	3 (3.5%)
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv):在宅強化型	3	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)	4	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(5) 看護職員の夜勤体制

- 看護職員の夜勤体制は、「必ず夜勤の看護職員がいる」が最も多く79.3%、次いで「ローテーションにより看護職員がいる時間といない時間がある」が11.6%、「オンコールで対応する」が3.8%であった。

図表 2-58 看護職員の夜勤体制

	調査数	必ず夜勤の看護職員がいる	必ず宿直の看護職員がいる	間職員がローテーションにより看護時間とない看護時間がある	通常の看護職員は勤務するが、状態に応じて勤務しないことがある	オンコールで対応する	特に対応していない	その他	無回答
全体	1066	845 (79.3%)	25 (2.3%)	124 (11.6%)	10 (0.9%)	40 (3.8%)	4 (0.4%)	13 (1.2%)	5 (0.5%)

(6) 看護職員の業務内容

- 看護職員の業務内容について、「日常病状観察、日常の健康管理（バイタルチェックを含む）」が最も多く99.2%、次いで「服薬の管理（服薬確認、薬の配布、内服介助を含む）」が98.5%、「医師の診療及び治療の補助」が97.8%であった。

図表 2-59 看護職員の業務内容（施設類型別）

	調査数	健康状態観察、日常のバイタルチェックを含む	医療的処置	医師の診療及び治療の補助	入浴ケア	身体清拭	褥そう防止や手当	食事ケア	体位変換	口腔ケア	排泄ケア	カンファレンス参加、職員からの相談	介護職員等に対する研修
全体	1066	1057 (99.2%)	1021 (95.8%)	1043 (97.8%)	780 (73.2%)	834 (78.2%)	1034 (97.0%)	961 (90.2%)	890 (83.5%)	868 (81.4%)	866 (81.2%)	1030 (96.6%)	725 (68.0%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	58 (98.3%)	56 (94.9%)	58 (98.3%)	51 (86.4%)	55 (93.2%)	58 (98.3%)	58 (98.3%)	57 (96.6%)	54 (91.5%)	57 (96.6%)	58 (98.3%)	43 (72.9%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	209 (99.5%)	206 (98.1%)	207 (98.6%)	158 (75.2%)	171 (81.4%)	205 (97.6%)	190 (90.5%)	180 (85.7%)	177 (84.3%)	176 (83.8%)	202 (96.2%)	160 (76.2%)
C:それ以外の施設	797	790 (99.1%)	759 (95.2%)	778 (97.6%)	571 (71.6%)	608 (76.3%)	771 (96.7%)	713 (89.5%)	653 (81.9%)	637 (79.9%)	633 (79.4%)	770 (96.6%)	522 (65.5%)
	む薬服の配布管理内へ服薬確認を含む	医療材料・機器の管理	リハビリの指導	リハビリの補助、付き添	看護計画、看護記録の作成	自宅訪問	本人・家族への生活状況の報告・相談、指導	主治医との連携・連絡	入退院調整・相談出席を院	緊急対応	通院付き添い	その他	無回答
全体	1050	1017 (96.5%)	89 (8.3%)	204 (19.1%)	919 (86.2%)	218 (20.5%)	928 (87.1%)	926 (86.9%)	592 (55.5%)	1028 (96.4%)	833 (78.1%)	31 (2.9%)	6 (0.6%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	58	56 (98.3%)	7 (11.9%)	15 (25.4%)	54 (91.5%)	18 (30.5%)	55 (93.2%)	53 (89.8%)	36 (61.0%)	57 (96.6%)	40 (67.8%)	2 (3.4%)	1 (1.7%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	209	201 (99.5%)	13 (6.2%)	49 (23.3%)	183 (87.1%)	62 (29.5%)	187 (89.0%)	184 (87.6%)	131 (62.4%)	206 (98.1%)	166 (79.0%)	7 (3.3%)	0 (0.0%)
C:それ以外の施設	783	760 (98.2%)	69 (8.7%)	140 (17.6%)	682 (85.6%)	138 (17.3%)	686 (86.1%)	689 (86.4%)	425 (53.3%)	765 (96.0%)	627 (78.7%)	22 (2.8%)	5 (0.6%)

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-60 看護職員の業務内容（施設サービス費別）

	調査数	日常生活管理（バイタルチェックを含む）	医療的処置	医師の診療及び治療の補助	入浴ケア	身体清拭	褥そう防止や手当	食事ケア	体位変換	口腔ケア	排泄ケア	カンファレンス参加、職員からの相談	介護職員等に対する研修
全体	1066	1057 (99.2%)	1021 (95.8%)	1043 (97.8%)	780 (73.2%)	834 (78.2%)	1034 (97.0%)	961 (90.2%)	890 (83.5%)	868 (81.4%)	866 (81.2%)	1030 (96.6%)	725 (68.0%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(ii):従来型	911	904 (99.2%)	873 (95.8%)	892 (97.9%)	660 (72.4%)	708 (77.7%)	881 (96.7%)	818 (89.8%)	754 (82.8%)	738 (81.0%)	734 (80.6%)	879 (96.5%)	617 (67.7%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	58	57 (98.3%)	55 (94.8%)	57 (98.3%)	50 (86.2%)	54 (93.1%)	57 (98.3%)	57 (98.3%)	56 (96.6%)	53 (91.4%)	56 (96.6%)	57 (98.3%)	43 (74.1%)
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	40	40 (100.0%)	38 (95.0%)	39 (97.5%)	33 (82.5%)	32 (80.0%)	40 (100.0%)	38 (95.0%)	37 (92.5%)	35 (87.5%)	34 (85.0%)	40 (100.0%)	22 (55.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	86	85 (98.8%)	84 (97.7%)	84 (97.7%)	61 (70.9%)	66 (76.7%)	85 (98.8%)	75 (87.2%)	67 (77.9%)	66 (76.7%)	63 (73.3%)	83 (96.5%)	62 (72.1%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	3	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (66.7%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	4	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	3 (75.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	3 (75.0%)
	む薬服の配布管理（服薬確認を含む）	医療材料・機器の管理	リハビリの指導	いりハビリの補助、付き添	成看護計画、看護記録の作成	自宅訪問	ド告本・人・相・談・家・族・指・導・常・生・状・活・況・の・報・ア	主治医との連携・連絡	含カ入退院調整・ス相の談出（席退を院）	緊急対応	通院付き添い	その他	無回答
全体	1050	1017 (96.8%)	89 (8.3%)	204 (19.1%)	919 (86.2%)	218 (20.5%)	928 (87.1%)	926 (86.9%)	592 (55.5%)	1028 (96.4%)	833 (78.1%)	31 (2.9%)	6 (0.6%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(ii):従来型	899	871 (96.8%)	63 (6.9%)	166 (18.2%)	783 (85.9%)	181 (19.9%)	786 (86.3%)	783 (85.9%)	499 (54.8%)	877 (96.3%)	723 (79.4%)	25 (2.7%)	5 (0.5%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	57	56 (98.3%)	7 (12.1%)	15 (25.9%)	53 (91.4%)	18 (31.0%)	54 (93.1%)	52 (89.7%)	36 (62.1%)	56 (96.6%)	39 (67.2%)	2 (3.4%)	1 (1.7%)
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	38	39 (95.0%)	10 (25.0%)	12 (30.0%)	37 (92.5%)	7 (17.5%)	36 (90.0%)	37 (92.5%)	22 (55.0%)	39 (97.5%)	23 (57.5%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	84	81 (97.7%)	9 (10.5%)	16 (18.6%)	74 (86.0%)	22 (25.6%)	76 (88.4%)	82 (95.3%)	52 (60.5%)	84 (97.7%)	69 (80.2%)	3 (3.5%)	0 (0.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	3	2 (100.0%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	4	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	3 (75.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

2-6. 入所者のケアの状況

(1) 入所者の医療的ケアの状況

- 入所者の医療的ケアの状況（平均人数）について、「急性期医療に準ずる治療（肺炎罹患中など）の必要な人」が0.88人、「医療的栄養管理（IVH、胃ろう）が必要な人」が6.35人、「専門医療、他科受診を必要とする人（施設内の医療スタッフで対応不可）」が3.95人、「専門医療を必要とするが施設内の医療スタッフで対応可能な人」が6.99人、「定期処方のみ必要な人」が59.90人、「定期処方がない人」が3.90人であった。
- 各々の医療的ケアの状況の入所者数を、全入所者数で除した割合を算出してその分布を見たところ、全施設の平均では「急性期医療に準ずる治療（肺炎罹患中など）の必要な人」が1.14%、「医療的栄養管理（IVH、胃ろう）が必要な人」が8.58%、「専門医療、他科受診を必要とする人（施設内の医療スタッフで対応不可）」が5.17%、「専門医療を必要とするが施設内の医療スタッフで対応可能な人」が8.79%、「定期処方のみ必要な人」が75.37%、「定期処方がない人」が4.66%であった。

図表 2-61 入所者の医療的ケアの状況【平成24年11月30日時点】（単位：人）

	調査数	0人	0人超 10人	10人超 20人	20人超 30人	30人超 50人	50人超 75人	75人超 100人	100人超 150人	150人超 200人	200人超 250人	250人超 300人	無回答	平均	標準偏差
急性期医療に準ずる治療（肺炎罹患中など）の必要な人	1066	719 (67.4%)	303 (28.4%)	8 (0.8%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (3.2%)	0.88	2.36
医療的栄養管理（IVH、胃ろう）が必要な人	1066	171 (16.0%)	669 (62.8%)	146 (13.7%)	31 (2.9%)	14 (1.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (3.2%)	6.35	7.09
専門医療、他科受診を必要とする人（施設内の医療スタッフで対応不可）	1066	450 (42.2%)	467 (43.8%)	79 (7.4%)	27 (2.5%)	6 (0.6%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (3.2%)	3.95	7.16
専門医療を必要とするが施設内の医療スタッフで対応可能な人	1066	466 (43.7%)	413 (38.7%)	55 (5.2%)	33 (3.1%)	27 (2.5%)	15 (1.4%)	23 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (3.2%)	6.99	16.14
定期処方のみ必要な人	1066	95 (8.9%)	31 (2.9%)	42 (3.9%)	42 (3.9%)	148 (13.9%)	317 (29.7%)	294 (27.6%)	33 (3.1%)	27 (2.5%)	3 (0.3%)	34 (3.2%)	59.90	33.17	
定期処方がない人	1066	349 (32.7%)	600 (56.3%)	54 (5.1%)	12 (1.1%)	13 (1.2%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (3.2%)	3.90	7.19	

図表 2-62 入所者の医療的ケアの状況【平成24年11月30日時点】（単位：%）

	調査数	0%	0%超 1%	1%超 5%	5%超 10%	10%超 20%	20%超 30%	30%超 50%	50%超 75%	75%超 100%	無回答	平均	標準偏差
急性期医療に準ずる治療（肺炎罹患中など）の必要な人	1066	718 (67.4%)	15 (1.4%)	241 (22.6%)	39 (3.7%)	14 (1.3%)	2 (0.2%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	35 (3.3%)	1.14	3.13
医療的栄養管理（IVH、胃ろう）が必要な人	1066	171 (16.0%)	6 (0.6%)	281 (26.4%)	277 (26.0%)	210 (19.7%)	39 (3.7%)	33 (3.1%)	8 (0.8%)	6 (0.6%)	35 (3.3%)	8.58	10.82
専門医療、他科受診を必要とする人（施設内の医療スタッフで対応不可）	1066	450 (42.2%)	14 (1.3%)	262 (24.6%)	140 (13.1%)	104 (9.8%)	36 (3.4%)	19 (1.8%)	4 (0.4%)	2 (0.2%)	35 (3.3%)	5.17	13.02
専門医療を必要とするが施設内の医療スタッフで対応可能な人	1066	466 (43.7%)	15 (1.4%)	228 (21.4%)	122 (11.4%)	84 (7.9%)	31 (2.9%)	32 (3.0%)	18 (1.7%)	35 (3.3%)	35 (3.3%)	8.79	19.63
定期処方のみ必要な人	1066	95 (8.9%)	0 (0.0%)	10 (0.9%)	4 (0.4%)	15 (1.4%)	11 (1.0%)	50 (4.7%)	141 (13.2%)	705 (66.1%)	35 (3.3%)	75.37	35.83
定期処方がない人	1066	349 (32.7%)	9 (0.8%)	373 (35.0%)	170 (15.9%)	93 (8.7%)	13 (1.2%)	20 (1.9%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	35 (3.3%)	4.66	8.13

（２）在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況

- 「入所者の疾病を考慮した減薬を行っているか」について、「少しは行っている」が最も多く49.2%、次いで「積極的にしている」が39.3%となっている。
- 「入所者の経済状況に配慮した減薬を行っているか」について、「全く行っていない」が最も多く44.2%、次いで「少しは行っている」が36.4%となっている。
- 「入所者の在宅復帰後の生活パターンを考慮した減薬を行っているか」について、「少しは行っている」が最も多く50.8%、次いで「全く行っていない」が25.3%となっている。これを、在宅復帰への取り組み状況別にみると、特にタイプA：施設サービス費Ⅰ（ii）または（iv）を取得している施設では「積極的にしている」が33.9%、タイプB：在宅復帰・在宅療養支援加算算定施設において28.1%と、在宅復帰に向けた取り組みを強化していることが示唆された。

図表 2-63 在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況【平成24年11月30日時点】

	調査数	積極的に 行っ てい	少し は 行っ て い る	全 く 行 っ て い ない	無 回 答
入所者の疾病状況を考慮した減薬を行っているか	1066	419 (39.3%)	524 (49.2%)	86 (8.1%)	37 (3.5%)
入所者の経済状況に配慮した減薬を行っているか	1066	160 (15.0%)	388 (36.4%)	471 (44.2%)	47 (4.4%)
入所者の在宅復帰後の生活パターンを考慮した減薬を行っているか	1066	212 (19.9%)	541 (50.8%)	270 (25.3%)	43 (4.0%)

図表 2-64 在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況

【入所者の疾病状況を考慮した減薬を行っているか】（施設類型別）

	調査数	積極的に 行っている	少しは 行っている	全く 行っていない	無回答
全体	1066	419 (39.3%)	524 (49.2%)	86 (8.1%)	37 (3.5%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	29 (49.2%)	26 (44.1%)	3 (5.1%)	1 (1.7%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	89 (42.4%)	106 (50.5%)	10 (4.8%)	5 (2.4%)
C:それ以外の施設	797	301 (37.8%)	392 (49.2%)	73 (9.2%)	31 (3.9%)

図表 2-65 在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況

【入所者の経済状況に配慮した減薬を行っているか】（施設類型別）

	調査数	積極的に 行っている	少しは 行っている	全く 行っていない	無回答
全体	1066	160 (15.0%)	388 (36.4%)	471 (44.2%)	47 (4.4%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	12 (20.3%)	20 (33.9%)	24 (40.7%)	3 (5.1%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	32 (15.2%)	73 (34.8%)	97 (46.2%)	8 (3.8%)
C:それ以外の施設	797	116 (14.6%)	295 (37.0%)	350 (43.9%)	36 (4.5%)

図表 2-66 在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況

【入所者の在宅復帰後の生活パターンを考慮した減薬を行っているか】（施設類型別）

	調査数	積極的に 行っている	少しは 行っている	全く 行っていない	無回答
全体	1066	212 (19.9%)	541 (50.8%)	270 (25.3%)	43 (4.0%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	20 (33.9%)	33 (55.9%)	4 (6.8%)	2 (3.4%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	59 (28.1%)	116 (55.2%)	29 (13.8%)	6 (2.9%)
C:それ以外の施設	797	133 (16.7%)	392 (49.2%)	237 (29.7%)	35 (4.4%)

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-67 在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況
【入所者の経済状況に配慮した減薬を行っているか】（施設サービス費別）

	調査数	積極的に 行っている	少しは 行っている	全く 行っていない	無回答
全体	1066	419 (39.3%)	524 (49.2%)	86 (8.1%)	37 (3.5%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii): 従来型	911	353 (38.7%)	451 (49.5%)	75 (8.2%)	32 (3.5%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv): 在宅強化型	58	28 (48.3%)	26 (44.8%)	3 (5.2%)	1 (1.7%)
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	40	13 (32.5%)	21 (52.5%)	4 (10.0%)	2 (5.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)ま たは(iii):従来型	86	35 (40.7%)	44 (51.2%)	5 (5.8%)	2 (2.3%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または(iv):在宅強化型	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は （Ⅲ）	4	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)

図表 2-68 在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況
【入所者の在宅復帰後の生活パターンを考慮した減薬を行っているか】（施設サービス費別）

	調査数	積極的に 行っている	少しは 行っている	全く 行っていない	無回答
全体	1066	160 (15.0%)	388 (36.4%)	471 (44.2%)	47 (4.4%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii): 従来型	911	136 (14.9%)	330 (36.2%)	406 (44.6%)	39 (4.3%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv): 在宅強化型	58	12 (20.7%)	19 (32.8%)	24 (41.4%)	3 (5.2%)
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	40	5 (12.5%)	19 (47.5%)	14 (35.0%)	2 (5.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)ま たは(iii):従来型	86	11 (12.8%)	25 (29.1%)	48 (55.8%)	2 (2.3%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または(iv):在宅強化型	3	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は （Ⅲ）	4	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)

図表 2-69 在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況

【入所者の疾病状況を考慮した減薬を行っているか】（施設サービス費別）

	調査数	積極的に 行っている	少しは 行っている	全く 行っていない	無 回答
全体	1066	212 (19.9%)	541 (50.8%)	270 (25.3%)	43 (4.0%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii): 従来型	911	172 (18.9%)	466 (51.2%)	237 (26.0%)	36 (4.0%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv): 在宅強化型	58	20 (34.5%)	32 (55.2%)	4 (6.9%)	2 (3.4%)
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	40	8 (20.0%)	17 (42.5%)	13 (32.5%)	2 (5.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)ま たは(iii):従来型	86	15 (17.4%)	44 (51.2%)	25 (29.1%)	2 (2.3%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または(iv):在宅強化型	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は （Ⅲ）	4	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)

(3) 入所者の主な疾患

- 入所者の主な疾患ごとの平均人数は、「循環器系の疾病」が45.24人、「精神及び行動の障害」が31.43人、「神経系の疾病」が7.22人、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が10.20人、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が22.72人、「呼吸器系の疾患」が4.87人、「腎尿路生殖器系の疾患」が5.40人、「消化器系の疾患」が6.71人、「新生物」が2.50人、「眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患」が4.00人、「皮膚及び皮下組織の疾患」が2.14人、「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」が2.03人、「周産期に発生した病態」が0.19人、「先天奇形、変形及び染色体異常」が0.13人、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」が0.52人となっている。

図表 2-70 入所者の主な疾患【平成24年11月30日時点】(人数)

	調査数	0人	0人超 10人	10人超 20人	20人超 30人	30人超 50人	50人超 75人	75人超 100人	100人超 125人	125人超 150人	150人超	無回答	平均	標準偏差
循環器系の疾患	1066	20 (1.9%)	88 (8.3%)	93 (8.7%)	138 (12.9%)	256 (24.0%)	221 (20.7%)	101 (9.5%)	33 (3.1%)	7 (0.7%)	4 (0.4%)	105 (9.8%)	45.24	29.34
精神及び行動の障害	1066	35 (3.3%)	163 (15.3%)	164 (15.4%)	170 (15.9%)	253 (23.7%)	129 (12.1%)	32 (3.0%)	13 (1.2%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	31.43	23.58
神経系の疾患	1066	110 (10.3%)	685 (64.3%)	98 (9.2%)	26 (2.4%)	34 (3.2%)	6 (0.6%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	7.22	10.05
内分泌、栄養及び代謝疾患	1066	105 (9.8%)	471 (44.2%)	263 (24.7%)	87 (8.2%)	30 (2.8%)	5 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	10.20	9.72
筋骨格系及び結合組織の疾患	1066	81 (7.6%)	251 (23.5%)	202 (18.9%)	142 (13.3%)	193 (18.1%)	75 (7.0%)	11 (1.0%)	4 (0.4%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	22.72	20.26
呼吸器系の疾患	1066	164 (15.4%)	683 (64.1%)	96 (9.0%)	12 (1.1%)	5 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	4.87	6.10
腎尿路生殖器系の疾患	1066	190 (17.8%)	632 (59.3%)	105 (9.8%)	24 (2.3%)	7 (0.7%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	5.40	7.03
消化器系の疾患	1066	188 (17.6%)	574 (53.8%)	140 (13.1%)	34 (3.2%)	20 (1.9%)	4 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	6.71	8.78
新生物	1066	340 (31.9%)	589 (55.3%)	28 (2.6%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	2.50	3.48
眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患	1066	434 (40.7%)	414 (38.8%)	70 (6.6%)	24 (2.3%)	17 (1.6%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	4.00	7.86
皮膚及び皮下組織の疾患	1066	495 (46.4%)	427 (40.1%)	26 (2.4%)	10 (0.9%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	2.14	4.85
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1066	467 (43.8%)	458 (43.0%)	30 (2.8%)	1 (0.1%)	2 (0.2%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	2.03	4.97
周産期に発生した病態	1066	837 (78.5%)	123 (11.5%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	0.19	0.67
先天奇形、変形及び染色体異常	1066	883 (82.8%)	78 (7.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	0.13	0.53
損傷、中毒及びその他の外因の影響	1066	780 (73.2%)	172 (16.1%)	6 (0.6%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (9.8%)	0.52	1.97

これを入所者に占める割合でみると、循環器等の疾患を有する入所者が 75%を超える施設が 22.2%であり、他の疾患と比較すると最も多くなっていた。

図表 2-71 入所者の主な疾患【平成 24 年 1 1 月 3 0 日時点】（入所者に占める割合：％）

	調査数	0 %	0 % 超 1 %	1 % 超 5 %	5 % 超 1 0 %	1 0 % 超 2 0 %	2 0 % 超 3 0 %	3 0 % 超 5 0 %	5 0 % 超 7 5 %	7 5 % 超	無回答	平均	標準偏差
循環器等の疾患	1066	20 (1.9%)	1 (0.1%)	14 (1.3%)	25 (2.3%)	55 (5.2%)	79 (7.4%)	234 (22.0%)	295 (27.7%)	237 (22.2%)	106 (9.9%)	56.48	35.44
精神及び行動の障害	1066	35 (3.3%)	1 (0.1%)	39 (3.7%)	45 (4.2%)	123 (11.5%)	142 (13.3%)	289 (27.1%)	215 (20.2%)	71 (6.7%)	106 (9.9%)	38.65	27.03
神経系の疾患	1066	110 (10.3%)	8 (0.8%)	326 (30.6%)	270 (25.3%)	152 (14.3%)	36 (3.4%)	39 (3.7%)	14 (1.3%)	5 (0.5%)	106 (9.9%)	9.41	20.65
内分泌、栄養及び代謝疾患	1066	105 (9.8%)	5 (0.5%)	160 (15.0%)	171 (16.0%)	327 (30.7%)	135 (12.7%)	51 (4.8%)	5 (0.5%)	1 (0.1%)	106 (9.9%)	12.59	11.59
筋骨格系及び結合組織の疾患	1066	81 (7.6%)	1 (0.1%)	61 (5.7%)	86 (8.1%)	196 (18.4%)	149 (14.0%)	240 (22.5%)	110 (10.3%)	36 (3.4%)	106 (9.9%)	28.23	24.85
呼吸器系の疾患	1066	164 (15.4%)	19 (1.8%)	344 (32.3%)	245 (23.0%)	151 (14.2%)	30 (2.8%)	4 (0.4%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	106 (9.9%)	6.05	6.81
腎尿路生殖器系の疾患	1066	190 (17.8%)	10 (0.9%)	330 (31.0%)	210 (19.7%)	161 (15.1%)	47 (4.4%)	9 (0.8%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	106 (9.9%)	6.57	7.66
消化器系の疾患	1066	188 (17.6%)	10 (0.9%)	280 (26.3%)	207 (19.4%)	179 (16.8%)	58 (5.4%)	29 (2.7%)	6 (0.6%)	3 (0.3%)	106 (9.9%)	8.26	10.50
新生物	1066	340 (31.9%)	9 (0.8%)	397 (37.2%)	162 (15.2%)	45 (4.2%)	4 (0.4%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	106 (9.9%)	3.13	4.52
眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患	1066	434 (40.7%)	13 (1.2%)	256 (24.0%)	117 (11.0%)	84 (7.9%)	27 (2.5%)	20 (1.9%)	5 (0.5%)	4 (0.4%)	106 (9.9%)	5.17	13.57
皮膚及び皮下組織の疾患	1066	495 (46.4%)	26 (2.4%)	292 (27.4%)	84 (7.9%)	44 (4.1%)	13 (1.2%)	4 (0.4%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	106 (9.9%)	2.59	5.69
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1066	467 (43.8%)	17 (1.6%)	347 (32.6%)	84 (7.9%)	33 (3.1%)	7 (0.7%)	3 (0.3%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	106 (9.9%)	2.39	5.27
周産期に発生した病態	1066	837 (78.5%)	10 (0.9%)	109 (10.2%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	106 (9.9%)	0.23	0.80
先天奇形、変形及び染色体異常	1066	882 (82.7%)	9 (0.8%)	68 (6.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	106 (9.9%)	0.15	0.62
損傷、中毒及びその他の外因の影響	1066	780 (73.2%)	11 (1.0%)	138 (12.9%)	19 (1.8%)	9 (0.8%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	106 (9.9%)	0.62	2.20

（４）診断を受けた人数等【平成２４年１１月の一か月間】

- 肺炎の診断を受けた平均人数は、1.62人、尿路感染症は1.64人、带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合）は0.04人、带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要としない場合）は、0.08人であった。
- 入所者数に対する診断を受けた人数比率の平均は、肺炎で2.14%、尿路感染症は2.10%、带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合）は0.05%、带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要としない場合）は0.09%であった。

図表 2-72 診断を受けた人数（人）

	調査数	0人	0人超 ～ 1人	1人超 ～ 3人	3人超 ～ 5人	5人超 ～ 10人	10人超	無回答	平均	標準偏差
肺炎	1066	437 (41.0%)	196 (18.4%)	212 (19.9%)	80 (7.5%)	45 (4.2%)	13 (1.2%)	83 (7.8%)	1.62	2.75
尿路感染症	1066	468 (43.9%)	186 (17.4%)	177 (16.6%)	71 (6.7%)	55 (5.2%)	13 (1.2%)	96 (9.0%)	1.64	3.87
带状疱疹(抗ウイルス剤点滴注射を必要とする場合)	1066	886 (83.1%)	30 (2.8%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	148 (13.9%)	0.04	0.20
带状疱疹(抗ウイルス剤点滴注射を必要としない場合)	1066	858 (80.5%)	50 (4.7%)	8 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	149 (14.0%)	0.08	0.35

図表 2-73 診断を受けた人数/入所者数比率（％）

	調査数	0%	0%超 ～ 1%	1%超 ～ 5%	5%超 ～ 10%	10%超 ～ 20%	20%超 ～ 30%	30%超 ～ 50%	50%超 ～ 75%	75%超	無回答	平均	標準偏差
肺炎	1066	436 (40.9%)	30 (2.8%)	393 (36.9%)	94 (8.8%)	25 (2.3%)	2 (0.2%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	84 (7.9%)	2.14	3.42
尿路感染症	1066	467 (43.8%)	23 (2.2%)	364 (34.1%)	83 (7.8%)	27 (2.5%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	97 (9.1%)	2.10	4.43
带状疱疹(抗ウイルス剤点滴注射を必要とする場合)	1066	885 (83.0%)	4 (0.4%)	28 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	149 (14.0%)	0.05	0.27
带状疱疹(抗ウイルス剤点滴注射を必要としない場合)	1066	857 (80.4%)	13 (1.2%)	46 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	150 (14.1%)	0.09	0.40

- 診断を受けた人数のうち、所定疾患施設療養費を算定した平均人数は、肺炎で1.90人、尿路感染症は2.72人、带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合）は0.69人であった。
- 診断を受けた人に対する所定疾患施設療養費を算定した人数比率の平均は、肺炎で62.78%、尿路感染症は78.74%、带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合）は64.06%であった。

図表 2-74 診断を受けた人数のうち、所定疾患施設療養費を算定した人数（人）

	調査数	0人	0人超 1人	1人超 3人	3人超 5人	5人超 10人	10人超	無回答	平均	標準偏差
肺炎	546	191 (35.0%)	142 (26.0%)	122 (22.3%)	46 (8.4%)	35 (6.4%)	10 (1.8%)	0 (0.0%)	1.90	2.76
尿路感染症	502	99 (19.7%)	135 (26.9%)	143 (28.5%)	65 (12.9%)	48 (9.6%)	12 (2.4%)	0 (0.0%)	2.72	4.99
带状疱疹(抗ウイルス剤点滴注射を必要とする場合)	32	11 (34.4%)	20 (62.5%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.69	0.54

図表 2-75 診断を受けた人数のうち、所定疾患施設療養費を算定した人数/診断を受けた人数比率（%）

	調査数	0%	0%超 1%	1%超 5%	5%超 10%	10%超 20%	20%超 30%	30%超 50%	50%超 75%	75%超	無回答	平均	標準偏差
肺炎	546	191 (35.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)	3 (0.5%)	19 (3.5%)	7 (1.3%)	324 (59.3%)	0 (0.0%)	62.78	52.50
尿路感染症	502	99 (19.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (2.2%)	6 (1.2%)	386 (76.9%)	0 (0.0%)	78.74	40.29
带状疱疹(抗ウイルス剤点滴注射を必要とする場合)	32	11 (34.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	20 (62.5%)	0 (0.0%)	64.06	47.92

- 算定を受けた入所者について、診断の算定延べ回数の平均をみると、肺炎は11.90回、尿路感染症は12.83回、带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合）は、平均2.71回となっている。
- 所定疾患施設療養費の平均算定人数（1回以上算定している人数）については、肺炎が2.93人、尿路感染症が3.39人、带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合）が1.05人であるため、一人当たりの平均算定回数（1回以上算定している人数で除した回数）は、それぞれ4.06回、3.79回、2.58回であった。

図表 2-76 算定延べ回数の合計

	調査数	0回	0回超 1回	1回超 3回	3回超 5回	5回超 10回	10回超 20回	20回超 30回	30回超 50回	50回超	無回答	平均	標準偏差
肺炎	355	10 (2.8%)	45 (12.7%)	47 (13.2%)	51 (14.4%)	84 (23.7%)	57 (16.1%)	31 (8.7%)	17 (4.8%)	13 (3.7%)	0 (0.0%)	11.90	16.52
尿路感染症	403	14 (3.5%)	41 (10.2%)	64 (15.9%)	39 (9.7%)	86 (21.3%)	75 (18.6%)	45 (11.2%)	24 (6.0%)	15 (3.7%)	0 (0.0%)	12.83	15.22
带状疱疹(抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合)	21	0 (0.0%)	11 (52.4%)	2 (9.5%)	5 (23.8%)	3 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2.71	2.24

図表 2-77 参考：診断を受けた人数のうち、所定疾患施設療養費を算定した人数（1人以上）

	調査数	1人	1人超 3人	3人超 5人	5人超 10人	10人超	無回答	平均	標準偏差
肺炎	355	142 (40.0%)	122 (34.4%)	46 (13.0%)	35 (9.9%)	10 (2.8%)	0 (0.0%)	2.93	2.95
尿路感染症	403	135 (33.5%)	143 (35.5%)	65 (16.1%)	48 (11.9%)	12 (3.0%)	0 (0.0%)	3.39	5.37
带状疱疹(抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合)	21	20 (95.2%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1.05	0.22

2-7. 入所者の救急搬送・入院人数

(1) 他の医療機関（併設含む）に入院した入所者の状況

- 平成24年9月～11月（3ヵ月間）に他の医療機関（併設含む）に入院した入所者の平均実人数は、10.73人、入所者数に対する実人数比率の平均は、13.26%であった。
- 平成23年9月～11月（3ヵ月間）に他の医療機関（併設含む）に入院した入所者の実人数は、平均10.55人、入所者数に対する比率の平均は、12.95%、であった。

図表 2-78 実人数（人）

	調査数	0人	0人超 1人	1人超 3人	3人超 5人	5人超 10人	10人超 20人	20人超 30人	30人超 50人	50人超	無回答	平均	標準偏差
平成24年9月～11月	1066	57 (5.3%)	36 (3.4%)	106 (9.9%)	117 (11.0%)	308 (28.9%)	314 (29.5%)	66 (6.2%)	19 (1.8%)	7 (0.7%)	36 (3.4%)	10.73	15.63
平成23年9月～11月	1066	88 (8.3%)	31 (2.9%)	73 (6.8%)	115 (10.8%)	258 (24.2%)	306 (28.7%)	85 (8.0%)	16 (1.5%)	4 (0.4%)	90 (8.4%)	10.55	9.87

図表 2-79 実人数/入所者数比率（%）

	調査数	0%	0%超 1%	1%超 5%	5%超 10%	10%超 20%	20%超 30%	30%超 50%	50%超 75%	75%超	無回答	平均	標準偏差
平成24年9月～11月	1066	56 (5.3%)	2 (0.2%)	143 (13.4%)	258 (24.2%)	400 (37.5%)	120 (11.3%)	40 (3.8%)	1 (0.1%)	8 (0.8%)	38 (3.6%)	13.26	17.74
平成23年9月～11月	1066	87 (8.2%)	4 (0.4%)	107 (10.0%)	225 (21.1%)	385 (36.1%)	124 (11.6%)	37 (3.5%)	2 (0.2%)	4 (0.4%)	91 (8.5%)	12.95	12.43

(2) 病院へ救急搬送した延べ人数

- 平成24年9月～11月（3ヵ月間）に病院へ救急搬送した延べ人数は、平均6.53人、入所者数に対する比率の平均は、8.02%であった。病院へ救急搬送した延べ人数のうち救急車で搬送された平均人数は、2.30人、入所者数に対する比率の平均は、2.77%、施設職員または家族が搬送は、6.28人、入所者数に対する比率の平均は、7.57%、その他の搬送が0.20人、入所者数に対する比率の平均は、0.51%であった。
- 平成23年9月～11月（3ヵ月間）に病院へ救急搬送した延べ人数は、平均6.75人、入所者数に対する比率は8.11%であった。病院へ救急搬送した延べ人数のうち救急車で搬送された平均人数は、2.46人、入所者数に対する比率は2.92%、施設職員または家族が搬送は、6.89人、入所者数に対する比率は8.30%、その他の搬送が0.20人、入所者数に対する比率は0.26%であった。

図表 2-80 病院へ救急搬送した延べ人数（人）

		調査数	0人	0人超 10人	10人超 20人	20人超 30人	30人超 50人	50人超 75人	75人超 100人	100人超 125人	125人超 150人	150人超	無回答	平均	標準偏差
平成24年 9～11月	延べ	1066	175 (16.4%)	597 (56.0%)	166 (15.6%)	28 (2.6%)	13 (1.2%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	84 (7.9%)	6.53	7.65
	うち、救急車で搬送(延べ)	807	219 (27.1%)	512 (63.4%)	20 (2.5%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	55 (6.8%)	2.30	2.91
	うち、施設職員または家族が搬送(延べ)	807	99 (12.3%)	519 (64.3%)	103 (12.8%)	17 (2.1%)	10 (1.2%)	3 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	56 (6.9%)	6.28	7.46
	その他	807	487 (60.3%)	18 (2.2%)	1 (0.1%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	299 (37.1%)	0.20	1.55
平成23年 9～11月	延べ	1066	210 (19.7%)	522 (49.0%)	131 (12.3%)	38 (3.6%)	15 (1.4%)	2 (0.2%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.0%)	145 (13.6%)	6.75	9.74
	うち、救急車で搬送(延べ)	711	207 (29.1%)	424 (59.6%)	21 (3.0%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	57 (8.0%)	2.46	3.27
	うち、施設職員または家族が搬送(延べ)	711	95 (13.4%)	434 (61.0%)	96 (13.5%)	22 (3.1%)	12 (1.7%)	2 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	48 (6.8%)	6.89	10.14
	その他	711	434 (61.0%)	16 (2.3%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	259 (36.4%)	0.20	1.62

図表 2-81 病院へ救急搬送した延べ人数/入所者数比率（％）

		調査数	0%	0%超 1%	1%超 5%	5%超 10%	10%超 20%	20%超 30%	30%超 50%	50%超 75%	75%超	無回答	平均	標準偏差
平成24年 9～11月	延べ	1066	17.4 (16.3%)	10 (0.9%)	27.7 (26.0%)	21.3 (20.0%)	23.0 (21.6%)	5.1 (4.8%)	2.1 (2.0%)	2 (0.2%)	2 (0.2%)	86 (8.1%)	8.02	9.85
	うち、救急車で搬送(延べ)	807	21.9 (27.1%)	18 (2.2%)	38.0 (47.1%)	9.4 (11.6%)	3.8 (4.7%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	56 (6.9%)	2.77	3.49
	うち、施設職員または家族が搬送(延べ)	807	9.9 (12.3%)	9 (1.1%)	24.5 (30.4%)	19.3 (23.9%)	15.5 (19.2%)	2.8 (3.5%)	1.8 (2.2%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	57 (7.1%)	7.57	8.99
	その他	807	48.7 (60.3%)	0 (0.0%)	1.3 (1.6%)	3 (0.4%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	299 (37.1%)	0.51	6.22
平成23年 9～11月	延べ	1066	20.9 (19.6%)	6 (0.6%)	23.2 (21.8%)	20.1 (18.9%)	19.2 (18.0%)	5.5 (5.2%)	1.6 (1.5%)	5 (0.5%)	4 (0.4%)	146 (13.7%)	8.11	11.76
	うち、救急車で搬送(延べ)	711	20.7 (29.1%)	15 (2.1%)	30.1 (42.3%)	10.0 (14.1%)	2.8 (3.9%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	57 (8.0%)	2.92	4.05
	うち、施設職員または家族が搬送(延べ)	711	9.5 (13.4%)	8 (1.1%)	21.6 (30.4%)	15.8 (22.2%)	13.3 (18.7%)	3.4 (4.8%)	1.3 (1.8%)	3 (0.4%)	3 (0.4%)	48 (6.8%)	8.30	12.33
	その他	711	43.4 (61.0%)	1 (0.1%)	1.1 (1.5%)	4 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	259 (36.4%)	0.26	2.07

2-8. 医療提供状況（平成24年11月中）

（1）施設内の管理医師による診察の状況 ※急性の場合は除く

- 施設内の管理医師による診察の状況は、「毎週」が最も多く41.1%、次いで「1ヵ月に1回」が19.4%、「2週間に1回」が12.8%となっている。

図表 2-82 施設内の管理医師による診察の状況

	調査数	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1ヶ月に1回	2週間に1回	毎週	毎日	無回答
全体	1066	72 (6.8%)	23 (2.2%)	207 (19.4%)	136 (12.8%)	438 (41.1%)	136 (12.8%)	54 (5.1%)

図表 2-83 施設内の管理医師による診察の状況（施設類型別）

	調査数	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1ヶ月に1回	2週間に1回	毎週	毎日	無回答
全体	1066	72 (6.8%)	23 (2.2%)	207 (19.4%)	136 (12.8%)	438 (41.1%)	136 (12.8%)	54 (5.1%)
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	4 (6.8%)	1 (1.7%)	15 (25.4%)	9 (15.3%)	23 (39.0%)	4 (6.8%)	3 (5.1%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	14 (6.7%)	4 (1.9%)	40 (19.0%)	26 (12.4%)	86 (41.0%)	31 (14.8%)	9 (4.3%)
C:それ以外の施設	797	54 (6.8%)	18 (2.3%)	152 (19.1%)	101 (12.7%)	329 (41.3%)	101 (12.7%)	42 (5.3%)

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-84 施設内の管理医師による診察の状況（施設サービス費別）

	調査数	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1ヶ月に1回	2週間に1回	毎週	毎日	無回答
全体	1066	72 (6.8%)	23 (2.2%)	207 (19.4%)	136 (12.8%)	438 (41.1%)	136 (12.8%)	54 (5.1%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	911	62 (6.8%)	21 (2.3%)	177 (19.4%)	116 (12.7%)	368 (40.4%)	119 (13.1%)	48 (5.3%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	58	4 (6.9%)	1 (1.7%)	15 (25.9%)	9 (15.5%)	22 (37.9%)	4 (6.9%)	3 (5.2%)
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	40	1 (2.5%)	1 (2.5%)	2 (5.0%)	6 (15.0%)	21 (52.5%)	9 (22.5%)	0 (0.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	86	5 (5.8%)	3 (3.5%)	18 (20.9%)	13 (15.1%)	35 (40.7%)	5 (5.8%)	7 (8.1%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	3	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	4	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)

(2) 施設外の医師による往診の状況 ※急性の場合は除く

- 施設外の医師による往診の状況は、「毎週」が22.7%、次いで「1ヵ月に1回」が11.5%、「2週間に1回」が11.4%となっている。

図表 2-85 施設外の医師による往診の状況

	調査数	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1ヶ月に1回	2週間に1回	毎週	毎日	無回答
全体	1066	40 (3.8%)	14 (1.3%)	123 (11.5%)	122 (11.4%)	242 (22.7%)	9 (0.8%)	516 (48.4%)

図表 2-86 施設外の医師による往診の状況（施設類型別）

	調査数	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1ヶ月に1回	2週間に1回	毎週	毎日	無回答
全体	1066	40 (3.8%)	14 (1.3%)	123 (11.5%)	122 (11.4%)	242 (22.7%)	9 (0.8%)	516 (48.4%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	3 (5.1%)	0 (0.0%)	10 (16.9%)	3 (5.1%)	14 (23.7%)	0 (0.0%)	29 (49.2%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	9 (4.3%)	4 (1.9%)	23 (11.0%)	31 (14.8%)	44 (21.0%)	1 (0.5%)	98 (46.7%)
C:それ以外の施設	797	28 (3.5%)	10 (1.3%)	90 (11.3%)	88 (11.0%)	184 (23.1%)	8 (1.0%)	389 (48.8%)

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-87 施設外の医師による往診の状況（施設サービス費別）

	調査数	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1ヶ月に1回	2週間に1回	毎週	毎日	無回答
全体	1066	40 (3.8%)	14 (1.3%)	123 (11.5%)	122 (11.4%)	242 (22.7%)	9 (0.8%)	516 (48.4%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	911	32 (3.5%)	12 (1.3%)	98 (10.8%)	107 (11.7%)	208 (22.8%)	8 (0.9%)	446 (49.0%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	58	3 (5.2%)	0 (0.0%)	9 (15.5%)	3 (5.2%)	14 (24.1%)	0 (0.0%)	29 (50.0%)
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	40	3 (7.5%)	1 (2.5%)	4 (10.0%)	4 (10.0%)	10 (25.0%)	0 (0.0%)	18 (45.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	86	4 (4.7%)	1 (1.2%)	12 (14.0%)	12 (14.0%)	16 (18.6%)	1 (1.2%)	40 (46.5%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	3	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	4	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)

（３）入所者の医療機関への通院状況（１１月中）※併設医療機関への通院含む

○ 通院者の平均人数は、11.51人、平均延べ回数は、17.33回となっている

図表 2-88 通院者の人数

	調査数	0人	0人超 1人	1人超 3人	3人超 5人	5人超 10人	10人超	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	71 (6.7%)	60 (5.6%)	103 (9.7%)	98 (9.2%)	225 (21.1%)	419 (39.3%)	90 (8.4%)	11.51	11.32

図表 2-89 延べ回数

	調査数	0回	0回超 1回	1回超 3回	3回超 5回	5回超 10回	10回超	無回答	平均	標準偏差
全体	1066	55 (5.2%)	45 (4.2%)	96 (9.0%)	83 (7.8%)	170 (15.9%)	504 (47.3%)	113 (10.6%)	17.33	31.59

（４）施設内の医療提供における課題（自由回答）

一部抜粋

【医療費、材料費、他科受診の場合、施設が費用を負担している】

- ・平成 24 年 4 月に新設された「所定疾患施設療養費」以外、検査治療にかかる費用が全て施設負担となっている。
- ・医療提供に対する医療保険の適応が認められない。施設からの持ち出し医療費が多くなる。
- ・点滴を含む薬剤や諸検査の費用がマルメ方式である事。
- ・医療ニーズの高い入所者が増えているが、保険の算定ができない為、入所を断るケースがある。
- ・薬の種類が少なく限界がある。医療依存度の高い利用者の増加により、医薬品費、医療材料、受診にかかるコスト増が施設経営を圧迫している。
- ・通院先の医師によっては老健について理解がなく、保険が通るものと思い多量の投薬や検査が出される。
- ・入所者が通院中（病院）の治療で必要とされている薬剤が老健では使用対象にならない事。
- ・他科診療時に、医療保険適用がされず、施設の 10 割負担になる。
- ・特定疾患医療費助成が在宅とは異なり老健では認められない為、受け入れ、医療提供上限界がある。
- ・施設医師が全症例に対処する事ができる訳でない為、他科受診が増加している。

【医療依存度の高い方が増え、設備不足、人的不足になっている】

- ・提供できる医療行為に制限がある事。
- ・施設において高度な医療は難しいが、年々、医療依存度の高い方が入所増となっている。
- ・施設は病院に比べ設備が劣る為、どのレベルまで施設で看る事ができるのかの線引きが難しい。
- ・医療依存度が高くなると、看護師への負担が大きくなる（施設内での医療行為、専門医への受診等）。
- ・看護師に求める内容も一般病院並みの技術の為、看護師の定着率も低く、人手不足となる
- ・看護師の配置数が少ない（確保が困難）中での医療提供には限界がある。

【夜間、緊急時適切な対応ができない】

- ・特に夜間における看護体制が不十分な為、医療提供に限界がある
- ・夜勤帯・休日に施設内の医師が不在になる為、緊急な状態が発生した時の対応が難しい
- ・医師の不在時は、医療的な問題が生じた時、看護師に状況判断が委ねられる。看護師の経験力量が問われ、負担に感じる者もいる。

【医療提供を行うタイミング、範囲が難しい】

- ・どこまで施設内で医療提供をし、どのタイミングで病院受診を行なうのかが課題。病院受診のタイミングが早いと病院に負担がかかるし、遅いと手遅れとなる可能性が高い。
- ・看取りの体制を整備する。施設内にての治療可能範囲が狭く、いつ他院に受診するか判断。
- ・利用者の発熱や少しずつ悪化していく場合、施設内で治療の処置をしていく事が良い事なのか、受診を促した方が良いのか判断し、アセスメントしていく力を養う事。

【家族の理解を得ること】

- ・服薬を制限するのにも理解が困難。
- ・家族の思っている急変と施設側が感じる急変に差があり、それを埋めていく事。
- ・医療機関と同様の医療が提供されると考えている家族が多い事。説明をしても理解してもらえない事もある。 等

2-9. 在宅復帰に向けた取り組み等

(1) 地域連携のために実施している取組

- 地域連携のために実施している取組について、「地域のケアマネジャーとの研修会や勉強会等」が最も多く50.0%、次いで「他の医療機関等との研修会や勉強会等」が49.5%、「地域住民に向けた講習会等」が22.0%となっている。
- 施設類型別にみると、タイプAの施設では、実施している取り組みが多い。特にその他の施設と比較して「地域の訪問看護ステーションとの研修会や勉強会等」や「地域住民に向けた勉強会等」を実施している割合が高く、どちらも18.6%となっている。

図表 2-90 地域連携のために実施している取組（複数回答）

	調査数	他の医療機関等との研修会や勉強会等	地域の訪問看護ステーションとの研修会や勉強会等	地域のケアマネジャーとの研修会や勉強会等	地域の住民に向けた講習会等	その他実施している取組	無回答
全体	1066	528 (49.5%)	72 (6.8%)	533 (50.0%)	235 (22.0%)	93 (8.7%)	196 (18.4%)

図表 2-91 地域連携のために実施している取組（複数回答）（施設類型別）

	調査数	他の医療機関等との研修会や勉強会等	地域の訪問看護ステーションとの研修会や勉強会等	地域のケアマネジャーとの研修会や勉強会等	地域の住民に向けた講習会等	その他実施している取組	無回答
全体	1066	528 (49.5%)	72 (6.8%)	533 (50.0%)	235 (22.0%)	93 (8.7%)	196 (18.4%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)	59	34 (57.6%)	11 (18.6%)	27 (45.8%)	24 (40.7%)	11 (18.6%)	8 (13.6%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	103 (49.0%)	7 (3.3%)	113 (53.8%)	62 (29.5%)	20 (9.5%)	27 (12.9%)
C:それ以外の施設	797	391 (49.1%)	54 (6.8%)	393 (49.3%)	149 (18.7%)	62 (7.8%)	161 (20.2%)

- タイプA：介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii)または(iv)(ユニット型含む)を算定している施設
- タイプB：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設
- タイプC：上記以外の施設

図表 2-92 地域連携のために実施している取組（複数回答）（施設サービス費別）

	調査数	他の医療機関等との研修	地域の訪問看護士や地域ボランティア等との研修	地域のケアマネジャー等との研修	地域住民に向けた講習	その他実施している取組	無回答
全体	1066	528 (49.5%)	72 (6.8%)	533 (50.0%)	235 (22.0%)	93 (8.7%)	196 (18.4%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	911	436 (47.9%)	53 (5.8%)	454 (49.8%)	197 (21.6%)	81 (8.9%)	175 (19.2%)
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	58	34 (58.6%)	11 (19.0%)	26 (44.8%)	24 (41.4%)	11 (19.0%)	8 (13.8%)
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	40	24 (60.0%)	3 (7.5%)	22 (55.0%)	5 (12.5%)	0 (0.0%)	8 (20.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii):従来型	86	50 (58.1%)	6 (7.0%)	40 (46.5%)	20 (23.3%)	4 (4.7%)	11 (12.8%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv):在宅強化型	3	2 (66.7%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は(Ⅲ)	4	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

○ その他実施している取組は以下の通りであった。（一部抜粋）

【地域行事に参加】 ・祭り等、地域行事に参加。 ・町内会との交流、夏祭り等。 ・レクリエーション参加。 ・地域文化活動への貢献。 ・地域ごとのサロンへ講師派遣。 ・町内会・自治会へ参加。民生委員との連携。 【家族向け教室の開催】 ・家族介護教室（相談含）、ケア、ミニ学会等。 ・家族会での介護技術指導、実演講習。 ・入所家族への勉強会。 ・要介護高齢者の家族会を2ヶ月ごとに開催。 ・介護者教室の開催。 【見学会等の開催】 ・施設見学。 ・周辺地域の病院、施設、社協、消防署等の研究会。 ・リハビリ体験会。 ・幼稚園、中学生の受け入れ、ボランティアの受け入れ。 ・サロンコンサート。 ・介護予防トレーニングマシンを地域高齢者へ開放。 ・近隣の高齢者対象に通所リハの体験会。 ・介護予防教室の実施。	【連絡会への参加】 ・社会福祉士との連携会議。 ・福祉施設連携協議会への参加。 ・地域医療連携会議への参加。 ・介護保険事業者連絡会。 ・サービス事業者連絡調整会議への出席。 ・在宅介護支援センターとの連携。 ・高齢者施設連絡協議会設立・参加。 ・在宅福祉ネットワーク会に所属し、他のサービス事業所との交流・連携に努めている 【研修会の開催・参加】 ・看護職能団体が他職種との合同研修会を開催 ・包括支援センター主催の勉強会への参加 等 【その他】 ・季刊誌の導入。 ・グループホームやサ高住との関係作り。 ・地域連携パスの導入。 ・関係機関への施設の状況説明会の開催。 ・居宅介護支援事業所への相互訪問、電話連絡。 ・居宅の介護支援専門員同行のもと、在宅訪問を実施。 ・退所前からのケアマネとの密な連携。 ・退所前に在宅に向けてのサービス担当者会議開催。 ・入所前の訪問調査時の連携室への声かけ。
---	--

(2) 入所時に入手している書類・情報

- 「主治医意見書」については、「特に提出を求めている」が最も多く51.3%、次いで「利用者の状態によっては求めている」が29.0%であった。
- 「診療情報提供書」については、「必ず提出を求めている」が最も多く86.6%、次いで「利用者の状態によっては求めている」が11.7%であった。
- 「「主治医意見書」、「診療情報提供書」以外の血液検査の結果」については、「利用者の状態によっては求めている」が最も多く52.3%、次いで「必ず提出を求めている」が25.9%となっている。
- 「「主治医意見書」、「診療情報提供書」以外の感染症スクリーニング結果」については、「必ず提出を求めている」が最も多く43.7%、次いで「利用者の状態によっては求めている」が39.8%となっている。
- 「健康診断結果」については、「特に提出を求めている」が最も多く65.9%、次いで「利用者の状態によっては求めている」が18.9%となっている。
- 「看護情報」については、「必ず提出を求めている。」が最も多く53.8%、次いで「利用者の状態によっては求めている」が41.2%となっている。
- 「心身現況」については、「必ず提出を求めている。」が最も多く67.2%、次いで「利用者の状態によっては求めている」が28.1%となっている。

図表 2-93 入所時に入手している書類・情報

	調査数	必ず提出を求めている	利用者の状態によっては求めている	特に提出を求めている	無回答
主治医意見書	1066	174 (16.3%)	309 (29.0%)	547 (51.3%)	36 (3.4%)
診療情報提供書	1066	923 (86.6%)	125 (11.7%)	10 (0.9%)	8 (0.8%)
上記以外の血液検査の結果	1066	276 (25.9%)	557 (52.3%)	205 (19.2%)	28 (2.6%)
上記以外の感染症スクリーニング結果(MRSA, 肝炎、梅毒など)	1066	466 (43.7%)	424 (39.8%)	153 (14.4%)	23 (2.2%)
健康診査結果(特定健診、長寿(後期高齢者)医療健康診査)	1066	139 (13.0%)	202 (18.9%)	702 (65.9%)	23 (2.2%)
看護情報	1066	574 (53.8%)	439 (41.2%)	47 (4.4%)	6 (0.6%)
心身現況(ADL等状況、介護支援専門員からの利用者情報等)	1066	716 (67.2%)	300 (28.1%)	41 (3.8%)	9 (0.8%)

○ 診療情報提供書の血液検査項目の有無については以下の通り。

図表 2-94 診療情報提供書 血液検査項目【診療情報提供書を「必ず求めている」または「利用者の状況によっては求めている」場合】

	調査数	あり	なし	無回答
全体	1048	582 (55.5%)	120 (11.5%)	346 (33.0%)

○ 診療情報提供書の感染症項目の有無については以下の通り。

図表 2-95 診療情報提供書 感染症項目【診療情報提供書を「必ず求めている」または「利用者の状況によっては求めている」場合】

	調査数	あり	なし	無回答
全体	1048	598 (57.1%)	102 (9.7%)	348 (33.2%)

これを施設類型別にみると、以下のとおりであった。

図表 2-96 入所時に入手している書類・情報：主治医意見書（施設類型別）

	調査数	て必ず いる 提出 を 求め	いよ利 るつ用 て者 はの 求状 め態 てに	て特 い に な 提 出 を 求め	無 回 答
全体	1066	174 (16.3%)	309 (29.0%)	547 (51.3%)	36 (3.4%)
A: 介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または(iv)（ユニット型含む）	59	8 (13.6%)	26 (44.1%)	24 (40.7%)	1 (1.7%)
B: 在宅復帰・在宅療養支援加算取得 施設	210	31 (14.8%)	49 (23.3%)	124 (59.0%)	6 (2.9%)
C: それ以外の施設	797	135 (16.9%)	234 (29.4%)	399 (50.1%)	29 (3.6%)

図表 2-97 入所時に入手している書類・情報：診療情報提供書（施設類型別）

	調査数	て必ず いる提 出を 求め	いよ利 るつ用 て者 はの 求状 め態 てに	て特 い に 提 出 を 求め	無 回 答
全体	1066	923 (86.6%)	125 (11.7%)	10 (0.9%)	8 (0.8%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii) または(iv)(ユニット型含む)	59	47 (79.7%)	11 (18.6%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得 施設	210	177 (84.3%)	31 (14.8%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)
C:それ以外の施設	797	699 (87.7%)	83 (10.4%)	8 (1.0%)	7 (0.9%)

図表 2-98 入所時に入手している書類・情報：主治医意見書、診療情報提供書以外の血液検査結果（施設類型別）

	調査数	て必ず いる提 出を 求め	いよ利 るつ用 て者 はの 求状 め態 てに	て特 い に 提 出 を 求め	無 回 答
全体	1066	276 (25.9%)	557 (52.3%)	205 (19.2%)	28 (2.6%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii) または(iv)(ユニット型含む)	59	12 (20.3%)	39 (66.1%)	8 (13.6%)	0 (0.0%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得 施設	210	50 (23.8%)	121 (57.6%)	35 (16.7%)	4 (1.9%)
C:それ以外の施設	797	214 (26.9%)	397 (49.8%)	162 (20.3%)	24 (3.0%)

図表 2-99 入所時に入手している書類・情報：主治医意見書、診療情報提供書以外の感染症スクリーニング結果（MRSA、肝炎、梅毒など）（施設類型別）

	調査数	て必ず いる提 出を 求め	いよ利 るつ用 て者 はの 求状 め態 てに	て特 い に 提 出 を 求め	無 回 答
全体	1066	466 (43.7%)	424 (39.8%)	153 (14.4%)	23 (2.2%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii) または(iv)(ユニット型含む)	59	19 (32.2%)	23 (39.0%)	16 (27.1%)	1 (1.7%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得 施設	210	72 (34.3%)	97 (46.2%)	38 (18.1%)	3 (1.4%)
C:それ以外の施設	797	375 (47.1%)	304 (38.1%)	99 (12.4%)	19 (2.4%)

図表 2-100 入所時に入手している書類・情報：健康診断結果（施設類型別）

	調査数	て必ず いる 提出 を 求め	いよ る つ 用 て 者 は の 求 状 め 態 て に	て特 い に 提 出 を 求め	無 回 答
全体	1066	139 (13.0%)	202 (18.9%)	702 (65.9%)	23 (2.2%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii) または(iv)(ユニット型含む)	59	1 (1.7%)	18 (30.5%)	39 (66.1%)	1 (1.7%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得 施設	210	16 (7.6%)	46 (21.9%)	145 (69.0%)	3 (1.4%)
C:それ以外の施設	797	122 (15.3%)	138 (17.3%)	518 (65.0%)	19 (2.4%)

図表 2-101 入所時に入手している書類・情報：看護情報（施設類型別）

	調査数	て必ず いる 提出 を 求め	いよ る つ 用 て 者 は の 求 状 め 態 て に	て特 い に 提 出 を 求め	無 回 答
全体	1066	574 (53.8%)	439 (41.2%)	47 (4.4%)	6 (0.6%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii) または(iv)(ユニット型含む)	59	28 (47.5%)	28 (47.5%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得 施設	210	92 (43.8%)	108 (51.4%)	10 (4.8%)	0 (0.0%)
C:それ以外の施設	797	454 (57.0%)	303 (38.0%)	34 (4.3%)	6 (0.8%)

図表 2-102 入所時に入手している書類・情報：心身現況（施設類型別）

	調査数	て必ず いる 提出 を 求め	いよ る つ 用 て 者 は の 求 状 め 態 て に	て特 い に 提 出 を 求め	無 回 答
全体	1066	716 (67.2%)	300 (28.1%)	41 (3.8%)	9 (0.8%)
A:介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ii) または(iv)(ユニット型含む)	59	47 (79.7%)	10 (16.9%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得 施設	210	146 (69.5%)	56 (26.7%)	6 (2.9%)	2 (1.0%)
C:それ以外の施設	797	523 (65.6%)	234 (29.4%)	33 (4.1%)	7 (0.9%)

(3) 在宅復帰に向けた取り組み等

- 在宅復帰のために実施している取組について、「入退所前カンファレンスの実施」が最も多く67.7%、次いで「在宅復帰に向けてのお試し外出や外泊の実施」が65.5%、「居住系サービスとの連携をしている」が62.9%となっている。
- 施設類型別にみると、タイプAの施設では「インテークのプロセスの導入」の実施割合が高く、40.7%であった、またタイプA、タイプBの施設では、「入所前訪問」や「居住系サービスとの連携をしている」、「退所後の再受け入れ体制の充実」がタイプCの施設と比較して高い割合となっている。

図表 2-103 在宅復帰のために実施している取組（複数回答）（施設類型別）

	調査数	R4システムの導入	インテークのプロセスの導入（入所前含む）	入所前訪問	入退所前カンファレンスの実施	認知症短期集中リハの実施	居住系サービスとの連携をしている	在宅復帰に向けてのお試し外出や外泊の実施	退所前のお試しデイサービスの実施	退所後の再受け入れ体制の充実	クリティカルパスなど地域の他施設との連携	在宅復帰のための施設内クリティカルパスの作成	家族会の開催	無回答
全体	1066	110 (10.3%)	230 (21.6%)	574 (53.8%)	722 (67.7%)	400 (37.5%)	671 (62.9%)	698 (65.5%)	63 (5.9%)	577 (54.1%)	85 (8.0%)	62 (5.8%)	211 (19.8%)	37 (3.5%)
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）	59	13 (22.0%)	24 (40.7%)	43 (72.9%)	45 (76.3%)	34 (57.6%)	48 (81.4%)	46 (78.0%)	6 (10.2%)	50 (84.7%)	13 (22.0%)	9 (15.3%)	18 (30.5%)	0 (0.0%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	210	27 (12.9%)	59 (28.1%)	145 (69.0%)	163 (77.6%)	113 (53.8%)	169 (80.5%)	152 (72.4%)	16 (7.6%)	171 (81.4%)	28 (13.3%)	25 (11.9%)	60 (28.6%)	1 (0.5%)
C:それ以外の施設	797	70 (8.8%)	147 (18.4%)	386 (48.4%)	514 (64.5%)	253 (31.7%)	454 (57.0%)	500 (62.7%)	41 (5.1%)	356 (44.7%)	44 (5.5%)	28 (3.5%)	133 (16.7%)	36 (4.5%)

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-104 在宅復帰のために実施している取組（複数回答）（施設サービス費別）

	調査数	R4システムの導入	インテークのプロセスの導入（入所前のお試しショートも含む）	入所前訪問	入退所前カンファレンスの実施	認知症短期集中リハの実施	居住系サービスとの連携をしている	在宅復帰に向けてのお試し外出や外泊の実施	退所前のお試しデイサービスの実	退所後の再受け入れ体制の充実	設との連携	クリティカルパスなど地域の他施設	在宅復帰のための施設内クリティカルパスの作成	家族会の開催	無回答
全体	1066	110 (10.3%)	230 (21.6%)	574 (53.8%)	722 (67.7%)	400 (37.5%)	671 (62.9%)	698 (65.5%)	63 (5.9%)	577 (54.1%)	85 (8.0%)	62 (5.8%)	211 (19.8%)	37 (3.5%)	
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(ii)：従来型	911	89 (9.8%)	196 (21.5%)	492 (54.0%)	615 (67.5%)	345 (37.9%)	570 (62.6%)	598 (65.6%)	52 (5.7%)	491 (53.9%)	61 (6.7%)	49 (5.4%)	180 (19.8%)	31 (3.4%)	
介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)：在宅強化型	58	13 (22.4%)	24 (41.4%)	43 (74.1%)	45 (77.6%)	33 (56.9%)	47 (81.0%)	45 (77.6%)	6 (10.3%)	49 (84.5%)	13 (22.4%)	9 (15.5%)	18 (31.0%)	0 (0.0%)	
介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	40	2 (5.0%)	2 (5.0%)	11 (27.5%)	22 (55.0%)	2 (5.0%)	21 (52.5%)	20 (50.0%)	3 (7.5%)	9 (22.5%)	3 (7.5%)	1 (2.5%)	4 (10.0%)	6 (15.0%)	
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iii)：従来型	86	13 (15.1%)	14 (16.3%)	51 (59.3%)	62 (72.1%)	34 (39.5%)	50 (58.1%)	58 (67.4%)	5 (5.8%)	51 (59.3%)	11 (12.8%)	3 (3.5%)	15 (17.4%)	1 (1.2%)	
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii)または(iv)：在宅強化型	3	0 (0.0%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	
ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）又は（Ⅲ）	4	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

(4) 在宅復帰のために実施している具体的な工夫（自由回答）

一部抜粋

【R4 システムを導入している】

- ・ R4 システムの活用により本人、家人へ在宅への促しを行なっていると同時に、スタッフに意識付けを行なっている。

【外出・外泊を推奨している】

- ・ 外出・外泊の働きかけ。外出・外泊で問題となった事等どのようにしたら解決できるか検討。
- ・ 外出や外泊の機会を作る。家族との面談で在宅生活のシミュレーションをして、在宅復帰に結びつける。

【入所前相談を実施する】

- ・ インテークを重要視。在宅復帰に向けたインテークの面接を行ない、老健の役割の説明を行なう。在宅復帰パスを導入していく体制づくりを行なっている
- ・ 相談援助のプロセスの視覚化（インテーク→退所までをシート化）。インテークでの利用目的の明確化、支援の方向性の共有、利用者・家族への意識づけ。
- ・ 自宅での生活を前提として、老健での生活に対する意向確認。今後の自宅での生活について、具体的な可能性を入所前に聴取している。
- ・ 入所相談段階での説明（老健施設の役割、長期の入所ではない事、在宅支援に力を入れている等）。

【リハビリを重視する】

- ・ リハビリ訓練の状況等を家族にも見て頂く。（現在の状態を見て頂く事で、家族に意識付けを行なう）。帰宅後、利用できる具体的な在宅サービス案の提示。
- ・ 居宅復帰委員会を開催し、在宅復帰できそうな入所者をピックアップして家族への働きかけや、より実践的なリハビリを行なっている。
- ・ 退院後の回復リハビリ希望の方を優先的に入所。
- ・ リハビリを実施し、在宅復帰を視野に入れ、優先的な入所調整をしている。

【カンファレンスを行う】

- ・ サービス担当者会議でも在宅復帰への問題点を話し合い、ケアプランに入れていく。入所時から在宅を考えたカンファレンスを行なう。
- ・ 担当者会議に家人も参加し、家人の思いを全職員が知るように努めている。
- ・ 退所前に本人と共に理学療法士、介護支援専門員、支援相談員、退所後の居宅事業者が居宅に出向き、実際の生活を想定しながらカンファレンスを実施する。
- ・ 定期的にショートカンファレンスを実施し、入所者の自立支援に向けて他職種で検討している。

【クリティカルパスを作成する】

- ・ 在宅に向け入所時よりクリティカルパスを作成、使用しながら在宅ケアマネとの話し合い、家屋評価をおおよそ決めておき目安としている。
- ・ 施設内のクリティカルパスをもとに多職種が情報を共有し、在宅復帰に向けた取り組みを実施する。

【自宅訪問を実施する】

- ・ 入所前後訪問指導実施時のリハビリスタッフ、施設ケアマネ、相談員の同行。
- ・ 入所前後訪問指導実施し、在宅に必要な動作の確認をして短期集中リハビリを行なう。入所契約時家族へ在宅復帰への協力、意識づけをする。退所前後訪問を実施し、在宅中の留意点を助言する。
- ・ 退所前に退所前訪問指導を積極的に実施し、関係者と利用者同伴で自宅を訪問し、在宅環境における動作確認と環境の調整、環境に応じたリハビリを提供している。
- ・ 自宅の環境を知る為、早い段階から自宅訪問を行なっている。退所後の再入所も積極的に受け入れている。

【退所後の提案を行う】

- ・ 退所後は通所リハビリテーションやショートステイ、往復利用、緊急時利用等の調整を行ない、退所後のフォロー体制を整備している。
- ・ ショートステイ等の社会資源の利用を具体的に提案する。老人保健施設の役割を細かく説明する。
- ・ 退所後もショート・通所等でサポートできるようにしている。
- ・ 再入所時期の約束、在宅困難時の優先入所。

【家族と情報共有を行う】

- ・入所前より家族へ施設の役割、家族の役割を説明し、協力体制を取ってもらうよう努力している。
- ・相談、入所時に家族に在宅復帰を踏まえた説明をし、家族の理解を得る。
- ・家族とのコミュニケーション作りに努める。家族に多く面会して頂く。家族に介護技術指導をする。
- ・定期的に家族会の開催を行ない、在宅復帰に向けての勉強会を実施している。
- ・入所時より家族と定期的な話し合いの機会を持ち、情報提供を行なう。 等

(5) サービス担当者会議（ケアカンファレンス）への職種別の主な参加状況

- 看護職員、介護職員、PT/OT/ST、支援相談員、栄養士、介護支援専門員については、「いつも参加」の割合が約8割から9割となっており、ケアカンファレンスへの参加率が高くなっていた。
- 「医師」のサービス担当者会議への参加状況は、「いつも参加」が最も多く47.8%、次いで「時々（必要に応じて）参加」が32.6%となっている。
- 「薬剤師」のサービス担当者会議への参加状況は、「ほとんど参加しない」が73.4%と最も多く、次いで「時々（必要に応じて）参加」が10.9%となっている。

図表 2-105 サービス担当者会議（ケアカンファレンス）への職種別の主な参加状況

	調査数	いつも参加	時々参加 必要に応じて	ほとんど参加しない	無回答
医師	1066	510 (47.8%)	348 (32.6%)	193 (18.1%)	15 (1.4%)
看護職員	1066	918 (86.1%)	134 (12.6%)	10 (0.9%)	4 (0.4%)
介護職員	1066	955 (89.6%)	87 (8.2%)	17 (1.6%)	7 (0.7%)
PT/OT/ST	1066	940 (88.2%)	111 (10.4%)	9 (0.8%)	6 (0.6%)
支援相談員	1066	897 (84.1%)	125 (11.7%)	37 (3.5%)	7 (0.7%)
栄養士	1066	849 (79.6%)	173 (16.2%)	38 (3.6%)	6 (0.6%)
薬剤師	1066	30 (2.8%)	116 (10.9%)	782 (73.4%)	138 (12.9%)
介護支援専門員	1066	989 (92.8%)	62 (5.8%)	9 (0.8%)	6 (0.6%)

(6) 在宅復帰における課題（自由回答）

一部抜粋

【医療依存度が高い方が多く、在宅復帰が難しい】

- ・医療依存度の高い入所者が多い為、在宅復帰というより体調悪化で入院となるケースが多い。その為、在宅復帰支援も加算算定の為の要件を満たす事ができない。入院による退所者を減らす事が一番の課題である。
- ・医療的ケアを必要とする方が増えている為、状态的に在宅での生活が困難な事例が多い。
- ・医療的に重度な方への在宅サービスの受け皿が少ない。
- ・在宅からの入所の場合、ほぼ全てのケースがぎりぎりまでデイ・ショート等を利用し、限界になった上で入所となる為、数ヶ月で自宅へ戻る事は難しいのが現実。
- ・病院からの入所も医療依存度の高い方やADLの重い、重介護の割合が非常に高く特養に入る事ができない状態の方もとても多い。その中で家に戻す事ができた人数だけを加算に結びつけるのは疑問に感じる。
- ・重度の割合の高さから在宅復帰の支援機能加算等は算定困難（入院、特養退所数がとても多い）だが、併設のデイやショートステイを活用しつつ、できるだけ入所とならずに在宅生活を長く続けられる為に行なっている対応も評価してほしい。
- ・在宅復帰が目的で入所しても、入所中ADLのレベルが低下したり、体調良くなり、介護度が上がったりと在宅復帰できないケースがある。
- ・介護度によっては在宅サービスの予定を組んでみた場合、区分支給限度額を超えてしまう事があり、在宅復帰について安心を得られない場合もある。
- ・高度の認知症の方の在宅復帰に対して、家族が消極的になりやすい。

【独居、介護者が高齢などで、受け入れ先がない】

- ・受け入れる同居または別居の家族の介護支援体制が不十分（独居・老々介護・仕事の関係・介護者の健康上の問題等、住居段差が多い等）。
- ・核家族、老々介護、独居等で仮に在宅に戻っても本人を見守るマンパワーが不足している。サービスを利用しても限界がある。
- ・利用者の「在宅へ絶対に帰りたい」という気持ちが減ってきている。家にいて「家族に迷惑になるのなら施設にいた方がよい」の考えの方が増えてきている。
- ・老々介護、独居が多く、在宅のメリットが家族には感じられない。施設に任せた方が安心、楽だというのが本音。

【入所後、家族の在宅復帰に対する気持ちが消極的になってしまう】

- ・入所期間が長期化するのと並行し、家族の在宅復帰への意向が落ちる傾向にある。入所時、更に入所前のアセスメント時より今後についての大まかな支援計画や指針を家族に十分に理解して頂く必要が増していると感じている。
- ・入所後、家族の気持ちが離れないような対策が必要。在宅復帰した場合を考えて、様々なサービスの情報を提供していく事も必要になってくるのではないかな。
- ・入所後に家族が自宅で介護する事から離れると、施設継続を家族が望むようになるケースが多い。
- ・一定期間の入所を過ぎてしまうと家族の熱意も薄れ、理由をつけては困難である事を強調する。家族の受け入れはあっても本人が施設に慣れる、または家族への遠慮から在宅復帰拒否する。
- ・家族の協力なくては在宅復帰できない為、協力が得られるような仕組み作りが課題である。
- ・家族が入所期間に介護離れした事により再度、在宅介護をする気にならなくなり、施設希望に変わる事がある。
- ・一度介護の手から離れた後に、再度自宅等で介護する事を受け付けられないケースがとても多い。たとえ在宅サービスを充実させても、負担に感じる事は避けられない。在宅での介護を家族が受け入れられる体制作りが必要。
- ・在宅サービスを導入しても、夜間帯は結局家族が介護しないといけない状況。また、施設に入所している安心感からか、本人と一緒に暮らしたいという気持ちが徐々に薄れている。

【在宅復帰に対する制度や、地域の取組が不足している】

- ・制度及び地域が一体となって在宅復帰に取り組む体制が整っていない。
- ・地域で安心して生活できる為の在宅サービスの量が少ない、またはサービスがない（24時間ホームヘルパー等）。
- ・地域包括的ケアシステムは首都圏では機能したとしても、地域整備がなされていない地方においては充分機能しない。支援相談員と介護支援専門員の領域が不明確である。役割がより具体的に明記されれば更に円滑な在宅復帰支援が可能と考える。
- ・在宅でサービスを組み合わせるより、老健の方が安く済む。
- ・在宅復帰が増えると入退所、ショートの入出りが多くなり、稼働率が下がる。
- ・福祉用具のレンタルができない為、お試しの外出泊ができない。
- ・多様化する介護施設の増加において、役割の明確化が難しい。同じ地域にある同業他社の多様なサービスを利用する為の連携が進まない。介護保険の理念が地域住民、家族に理解されていない。

- ・在宅復帰を希望し入所される方が少なく、特養等の待機場所として入所される方が8割以上となっている。
- ・在宅復帰後、提供できるサービスが少ない（通所リハとショートステイのみ）。もっと訪問リハビリや訪問看護など提供できるサービスがあれば、在宅復帰に向けての提案、サポートができる。
- ・家族も職員も在宅介護の意思が希薄になり、何らかの施設入所希望が強くなっている。
- ・在宅復帰の意向があれば退院と同時に在宅復帰できる環境制度になった為、老健を通すケースはごくわずかである。

等

3. 入所者・退所者票の調査結果

本調査では、入所者票については、以下に該当する入所者について記入を依頼した。

- ・平成 24 年 11 月に入所していた人のうち、肺炎、尿路感染症、带状疱疹のいずれかに感染した入所者
- ・平成 24 年 11 月に入所していたが、現在は退所している人や入院中の人も含む
- ・ただし、ショートステイの利用者、又は肺炎、尿路感染症、带状疱疹の疑いがあったが、医師による診断がおりていない人は対象外とした。

また、退所者票については、以下に該当する退所者について記入を依頼した。

- ・過去 3 ヶ月間（平成 24 年 9～11 月）に施設を退所した退所者（死亡退所も含む）
- ・該当する退所者が 10 名以上いる場合は直近の 10 名について記入
- ・ただし、ショートステイの利用者は対象外とした。

回答を得た入所者票 3,394 件、退所者票 7,728 件を分析対象とした。

3-1. 入所者票

（1）性別

- 入所者の性別については「男性」が31.2%で、「女性」が66.2%であった。

図表 2-106 性別

	調査数	男性	女性	無回答
全体	3,394	1,059 (31.2%)	2,248 (66.2%)	87 (2.6%)

（2）年齢

- 年齢については、「90歳以上」が最も多く34.2%、次いで「85～89歳」が26.3%、「80～84歳」が20.4%となっている。平均は86.17歳であった。

図表 2-107 年齢

	調査数	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答	平均	標準偏差
全体	3,394	40 (1.2%)	50 (1.5%)	144 (4.2%)	345 (10.2%)	694 (20.4%)	891 (26.3%)	1,157 (34.1%)	73 (2.2%)	86.17	7.81

(3) 入所日

- 入所者の入所日については、「2011年」が最も多く20.8%、次いで「2012年・1～6月」が18.4%、「2008年～2010年」が17.9%となっている。

図表 2-108 入所日

	調査数	2007年以前	2008年～2010年	2011年	2012年・1～6月	2012年・7～8月	2012年・9月	2012年・10月	2012年・11月	無回答
全体	3,394	183 (5.4%)	606 (17.9%)	705 (20.8%)	626 (18.4%)	381 (11.2%)	213 (6.3%)	314 (9.3%)	267 (7.9%)	99 (2.9%)

(4) 入所前の居所

- 入所者の入所前の居住については、「病院（一般病床）」が最も多く54.3%、次いで「自宅」が17.9%、「病院（療養病床）」が16.2%となっている。

図表 2-109 入所前の居所

	調査数	自宅	等（有居住系老人ホーム）	介護老人福祉施設	他の老人保健施設	病院（療養病床）	病院（一般病床）	その他の施設	不明	無回答
全体	3,394	608 (17.9%)	60 (1.8%)	42 (1.2%)	157 (4.6%)	551 (16.2%)	1,843 (54.3%)	59 (1.7%)	7 (0.2%)	67 (2.0%)

(5) 要介護度

- 要介護度について、最も多いのが、「要介護度5」で36.1%、次いで「要介護度4」が31.2%、「要介護度3」が18.9%となっている。

図表 2-110 要介護度

	調査数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定申請中	無回答
全体	3,394	114 (3.4%)	291 (8.6%)	640 (18.9%)	1,060 (31.2%)	1,226 (36.1%)	3 (0.1%)	60 (1.8%)

(6) 認知症高齢者の日常生活自立度

- 認知症高齢者の日常生活自立度について、最も多いのが「ランクⅢ」で40.8%、次いで「ランクⅡ」が22.3%、「ランクⅣ」が20.5%となっている

図表 2-111 認知症高齢者の日常生活自立度

	調査数	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	無回答
全体	3,394	264 (7.8%)	758 (22.3%)	1,385 (40.8%)	695 (20.5%)	204 (6.0%)	88 (2.6%)

(7) 障害高齢者の日常生活自立度

- 障害高齢者の日常生活自立度について、最も多いのが「ランクB」で50.9%、次いで「ランクC」で34.3%、「ランクA」で11.6%となっている。

図表 2-112 障害高齢者の日常生活自立度

	調査数	ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	無回答
全体	3,394	29 (0.9%)	393 (11.6%)	1,727 (50.9%)	1,164 (34.3%)	81 (2.4%)

(8) 有している傷病

- 有している傷病については、最も多いのが、「循環器系等の疾患」で60.9%、次いで「精神及び行動の障害」が41.7%、「筋骨格系及び結合組織の疾患」で26.5%となっている。

図表 2-113 有している傷病（複数回答）

	調査数	循環器系等の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	代謝・内分泌疾患、栄養及び	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	泌尿生殖器系の疾患	消化器系の疾患	新生物	起患の、及び付属乳腺の疾患	眼の疾患及び皮下組織	皮膚及び皮下組織	構造的障害及び免疫系の疾患	血液及び造血機能の障害	病態産生に発生した	先天性奇形、変形及び	他の、外因性の及び	無回答
全体	3,394	2,068 (60.9%)	1,414 (41.7%)	223 (6.6%)	411 (12.1%)	900 (26.5%)	404 (11.9%)	421 (12.4%)	223 (6.6%)	121 (3.6%)	63 (1.9%)	72 (2.1%)	83 (2.4%)	6 (0.2%)	4 (0.1%)	9 (0.3%)	211 (6.2%)		

(9) 施設内で実施している医療的ケア

- 施設内で実施している医療的ケアについてみると、多いものでは「たんの吸引」が21.3%、「点滴」が20.9%となっている。

図表 2-114 施設内で実施している医療的ケア（複数回答）

	調査数	人工肛門ケア（ストーマ）	酸素療法（酸素吸入）	気管切開のケア	点滴	胃ろうによる栄養管理	インスリン注射	たんの吸引	導尿	その他	なし	無回答
全体	3,394	52 (1.5%)	208 (6.1%)	25 (0.7%)	708 (20.9%)	622 (18.3%)	83 (2.4%)	722 (21.3%)	256 (7.5%)	638 (18.8%)	1,176 (34.6%)	265 (7.8%)

(10) 平成24年11月分として算定する加算

- 平成24年11月分として算定する加算について、「栄養マネジメント加算」が最も多く66.4%、次いで「所定疾患施設療養費」が65.5%、「短期集中リハビリテーション実施加算」が10.0%となっている。

図表 2-115 平成24年11月分として算定する加算（複数回答）

	調査数	特別療養費	所定疾患施設療養費	短期集中リハビリテーション加算	栄養マネジメント加算	経口移行加算	経口維持加算	認知症緊急対応・加算	認知症専門ケア加算	加入前後訪問指導	重度療養管理加算	無回答
全体	3,394	100 (2.9%)	2,223 (65.5%)	338 (10.0%)	2,255 (66.4%)	14 (0.4%)	156 (4.6%)	1 (0.0%)	195 (5.7%)	21 (0.6%)	35 (1.0%)	408 (12.0%)

(11) 感染時の状況

- 感染した疾患の内訳についてみると、最も多いのが、「尿路感染症」で48.0%、次いで「肺炎」で45.1%となっている。

図表 2-116 感染した疾患

	調査数	肺炎	尿路感染症	带状疱疹	無回答
全体	3,394	1,532 (45.1%)	1,628 (48.0%)	77 (2.3%)	157 (4.6%)

○ 疾患ごとの算定の有無は以下の通り。

図表 2-117 所定疾患施設療養費の算定有無【疾患無回答除く】

	調査数	有	無	無回答
全体	3,237	2,387 (73.7%)	734 (22.7%)	116 (3.6%)
肺炎	1,532	988 (64.5%)	476 (31.1%)	68 (4.4%)
尿路感染症	1,628	1,368 (84.0%)	216 (13.3%)	44 (2.7%)
带状疱疹	77	31 (40.3%)	42 (54.5%)	4 (5.2%)

○ 疾患ごとの所定疾患施設療養費の平均算定日数について、「肺炎」は、5.11日、「尿路感染症」は5.33日、「带状疱疹」は5.46日となっている。

図表 2-118 所定疾患施設療養費の算定日数【疾患無回答除く】
【その疾患における所定疾患施設療養費の算定が「有」】

	調査数	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	その他	平均	標準偏差
全体	2387	38 (1.6%)	76 (3.2%)	100 (4.2%)	212 (8.9%)	284 (11.9%)	350 (14.7%)	203 (8.5%)	903 (37.8%)	34 (1.4%)	5.23	1.91
肺炎	988	28 (2.8%)	43 (4.4%)	51 (5.2%)	95 (9.6%)	106 (10.7%)	142 (14.4%)	77 (7.8%)	393 (39.8%)	14 (1.4%)	5.11	2.06
尿感染症	1368	9 (0.7%)	31 (2.3%)	48 (3.5%)	117 (8.6%)	175 (12.8%)	204 (14.9%)	124 (9.1%)	495 (36.2%)	17 (1.2%)	5.33	1.77
带状疱疹	31	1 (3.2%)	2 (6.5%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	3 (9.7%)	4 (12.9%)	2 (6.5%)	15 (48.4%)	3 (9.7%)	5.46	2.15

- 疾患ごとの診断方法について、「肺炎」は「施設内の医師が診断」が最も多く71.0%、次いで「併設以外の病院医師が診断」が16.1%となっている。
- 「尿路感染症」については、「施設内の医師が診断」が最も多く89.5%、次いで「併設以外の病院医師が診断」で9.3%となっている。
- 「帯状疱疹」については、「施設内の医師が診断」が最も多く71.4%、次いで「併設以外病院医師が診断」で23.4%となっている。

図表 2-119 診断方法【疾患無回答除く】

	調査数	施設内の医師が診断	施設併設の病院の医師が診断	併設以外の病院医師が診断	無回答
全体	3,237	2,599 (80.3%)	263 (8.1%)	416 (12.9%)	62 (1.9%)
肺炎	1,532	1,087 (71.0%)	188 (12.3%)	247 (16.1%)	26 (1.7%)
尿路感染症	1,628	1,457 (89.5%)	70 (4.3%)	151 (9.3%)	36 (2.2%)
带状疱疹	77	55 (71.4%)	5 (6.5%)	18 (23.4%)	0 (0.0%)

- 疾患ごとの検査方法について、「肺炎」で最も多いのが「血液検査」で59.1%、次いで「レントゲン検査」で52.7%、「その他」が22.2%となっている。
- 「尿路感染症」について、最も多いのが「尿検査」で81.9%、次いで「血液検査」となっている。
- 「帯状疱疹」については「皮膚科の受診または往診」が多く33.8%、次いで「血液検査」で16.9%となっている。

図表 2-120 検査方法【疾患無回答除く】

	調査数	血液検査	レントゲン検査	皮膚科の受診または往診	尿検査	喀痰検査	その他	無回答
全体	3,237	1,409 (43.5%)	918 (28.4%)	42 (1.3%)	1,512 (46.7%)	52 (1.6%)	516 (15.9%)	225 (7.0%)
肺炎	1,532	906 (59.1%)	807 (52.7%)	9 (0.6%)	177 (11.6%)	47 (3.1%)	335 (21.9%)	135 (8.8%)
尿路感染症	1,628	490 (30.1%)	108 (6.6%)	7 (0.4%)	1,334 (81.9%)	5 (0.3%)	150 (9.2%)	80 (4.9%)
带状疱疹	77	13 (16.9%)	3 (3.9%)	26 (33.8%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	31 (40.3%)	10 (13.0%)

- 疾患ごとの治療内容について、「肺炎」で最も多いのが「注射（抗生剤・抗ウイルス薬）」で47.6%、次いで「内服薬（抗生剤・抗ウイルス薬）」で45.7%、「内服薬（抗生剤・抗ウイルス薬以外）」が10.3%となっている。
- 「尿路感染症」について、「内服薬（抗生剤・抗ウイルス薬）」が最も多く72.4%、次いで「注射（抗生剤・抗ウイルス薬）」で22.1%、「内服薬（抗生剤・抗ウイルス薬以外）」で8.2%となっている。
- 「带状疱疹」については、「処置」が最も多く55.8%、次いで「内服薬（抗生剤・抗ウイルス薬）」で48.1%、「注射（抗生剤・抗ウイルス薬）」で23.4%となっている。

図表 2-121 治療内容【疾患無回答除く】

	調査数	抗内 服薬 （抗 生剤 ・ 抗 ウイルス 薬 以外）	外抗内 服薬 （抗 生剤 ・ 抗 ウイルス 薬 以外）	ウ注 射 （抗 生 剤 ・ 抗 ウイルス 薬）	ウ注 射 （抗 生 剤 ・ 抗 ウイルス 薬 以外）	処置	その他	無回答
全体	3,237	1,916 (59.2%)	333 (10.3%)	1,106 (34.2%)	280 (8.6%)	184 (5.7%)	156 (4.8%)	229 (7.1%)
肺炎	1,532	700 (45.7%)	197 (12.9%)	729 (47.6%)	190 (12.4%)	84 (5.5%)	99 (6.5%)	139 (9.1%)
尿路感染症	1,628	1,179 (72.4%)	133 (8.2%)	359 (22.1%)	88 (5.4%)	57 (3.5%)	46 (2.8%)	86 (5.3%)
带状疱疹	77	37 (48.1%)	3 (3.9%)	18 (23.4%)	2 (2.6%)	43 (55.8%)	11 (14.3%)	4 (5.2%)

- 疾患ごとの平均治療期間は、「肺炎」が7.41日、「尿路感染症」が6.63日、「带状疱疹」が9.69日となっている。

図表 2-122 治療期間【疾患無回答除く】

	調査数	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8 日 以上	1 5 日 以上	無回答	平均	標準偏差
全体	3,237	29 (0.9%)	91 (2.8%)	116 (3.6%)	290 (9.0%)	306 (9.5%)	447 (13.8%)	249 (7.7%)	817 (25.2%)	452 (14.0%)	208 (6.4%)	232 (7.2%)	7.05	5.17
肺炎	1,532	24 (1.6%)	59 (3.9%)	61 (4.0%)	141 (9.2%)	126 (8.2%)	178 (11.6%)	101 (6.6%)	303 (19.8%)	238 (15.5%)	130 (8.5%)	171 (11.2%)	7.41	6.03
尿路感染症	1,628	4 (0.2%)	31 (1.9%)	54 (3.3%)	146 (9.0%)	178 (10.9%)	261 (16.0%)	143 (8.8%)	495 (30.4%)	195 (12.0%)	67 (4.1%)	54 (3.3%)	6.63	4.14
带状疱疹	77	1 (1.3%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)	3 (3.9%)	2 (2.6%)	8 (10.4%)	5 (6.5%)	19 (24.7%)	19 (24.7%)	11 (14.3%)	7 (9.1%)	9.69	6.42

- 疾患ごとの治療後の転帰について、「肺炎」で最も多いのが、「施設内で治癒」で57.0%、次いで「医療機関へ入院」が33.7%、「施設内で治療継続中」で4.0%となっている。
- 「尿路感染症」について、「施設内で治癒」が最も多く86.2%、次いで「医療機関へ入院」が7.7%、「施設内で治療継続中」が3.4%となっている。
- 「带状疱疹」について、「施設内で治癒」が最も多く85.7%、次いで「医療機関へ入院」が6.5%、「施設内で治療継続中」が5.2%となっている。

図表 2-123 治療後の転帰【疾患無回答除く】

	調査数	施設内で治癒	中施設内で治療継続	施設内で死亡	医療機関へ入院	無回答
全体	3,237	2,343 (72.4%)	122 (3.8%)	68 (2.1%)	646 (20.0%)	58 (1.8%)
肺炎	1,532	873 (57.0%)	62 (4.0%)	56 (3.7%)	516 (33.7%)	25 (1.6%)
尿路感染症	1,628	1,404 (86.2%)	56 (3.4%)	11 (0.7%)	125 (7.7%)	32 (2.0%)
带状疱疹	77	66 (85.7%)	4 (5.2%)	1 (1.3%)	5 (6.5%)	1 (1.3%)

- 疾患ごとの入院後の転帰について、「肺炎」で最も多いのが「貴老健に再入所」で41.7%、次いで「現在も入院中」が37.6%、「死亡」が16.5%となっている。
- 「尿路感染症」について、「貴老健に再入所」が最も多く、52.8%、次いで「現在も入院中」が30.4%、「死亡」が12.0%となっている。
- 「带状疱疹」について、「現在も入院中」が最も多く、40.0%、次いで「貴老健に再入所」が20.0%となっている。

図表 2-124 入院後の転帰【【疾患無回答除く、治療後の転帰が「医療機関へ入院」の場合】

	調査数	現在も入院中	貴老健に再入所	他施設に入所	ビその他を利の居住サ	在宅へ復帰	死亡	不明	無回答
全体	646	234 (36.2%)	282 (43.7%)	7 (1.1%)	4 (0.6%)	3 (0.5%)	100 (15.5%)	9 (1.4%)	8 (1.2%)
肺炎	516	194 (37.6%)	215 (41.7%)	5 (1.0%)	2 (0.4%)	2 (0.4%)	85 (16.5%)	8 (1.6%)	6 (1.2%)
尿路感染症	125	38 (30.4%)	66 (52.8%)	2 (1.6%)	2 (1.6%)	1 (0.8%)	15 (12.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
带状疱疹	5	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)

3-2. 退所者票

(1) 性別

○ 退所者の性別については「男性」が29.6%で、「女性」が67.9%であった

図表 2-125 性別

	調査数	男性	女性	無回答
全体	7,728	2,286 (29.6%)	5,246 (67.9%)	196 (2.5%)

(2) 年齢

○ 退所者の年齢は、「90歳以上」が最も多く32.3%、次いで「85～89歳」が26.0%となっている。
平均は85.46歳であった。

図表 2-126 年齢

	調査数	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答	平均	標準偏差
全体	7,728	143 (1.9%)	157 (2.0%)	374 (4.8%)	894 (11.6%)	1,535 (19.9%)	2,006 (26.0%)	2,494 (32.3%)	125 (1.6%)	85.46	8.20

(3) 入所日

○ 退所者の入所日は、「2012年・1～6月」が最も多く28.6%、次いで「2012年・7～8月」が22.1%、「2011年」が17.8%となっている。

図表 2-127 入所日

	調査数	2007年以前	2008年～2010年	2011年	2012年・1～6月	2012年・7～8月	2012年・9月	2013年・1～6月	2013年・7～8月	無回答
全体	7,728	291 (3.8%)	1,050 (13.6%)	1,377 (17.8%)	2,209 (28.6%)	1,705 (22.1%)	536 (6.9%)	341 (4.4%)	133 (1.7%)	86 (1.1%)

(4) 入所前の居所

- 退所者の入所前の居所については、「病院（一般病床）」が最も多く45.6%、次いで「自宅」が29.3%、「病院（療養病床）」が11.9%となっている。

図表 2-128 入所前の居所

	調査数	自宅	等（有住料系老人ホーム）	介護老人福祉施設	他の老人保健施設	病院（療養病床）	病院（一般病床）	その他の施設	不明	無回答
全体	7,728	2,268 (29.3%)	184 (2.4%)	121 (1.6%)	414 (5.4%)	920 (11.9%)	3,527 (45.6%)	84 (1.1%)	10 (0.1%)	200 (2.6%)

(5) 退所日

- 退所者の退所日について、最も多いのが、「2012年・9月」で48.8%、次いで「2012年・10月」が26.6%となっている。

図表 2-129 退所日

	調査数	2012年・9月	2012年・10月	2012年・11月	無回答
全体	7,728	3,775 (48.8%)	2,052 (26.6%)	1,729 (22.4%)	172 (2.2%)

(6) 退所時の状態（死亡退所含む）

- 退所時の要介護度について、最も多いのが「要介護度4」で28.0%、次いで「要介護度5」で24.0%、「要介護度3」が23.0%となっている。

図表 2-130 退所時の要介護度

	調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定申請中	無回答
全体	7,728	12 (0.2%)	149 (1.9%)	625 (8.1%)	1,048 (13.6%)	1,777 (23.0%)	2,165 (28.0%)	1,853 (24.0%)	7 (0.1%)	92 (1.2%)

- 認知症高齢者の日常生活自立度について、最も多いのが「ランクⅢ」で36.1%、次いで「ランクⅡ」で29.3%、「ランクⅣ」が14.1%となっている。

図表 2-131 認知症高齢者の日常生活自立度

	調査数	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	無回答
全体	7,728	1,013 (13.1%)	2,265 (29.3%)	2,786 (36.1%)	1,091 (14.1%)	230 (3.0%)	343 (4.4%)

- 障害高齢者の日常生活自立度について、最も多いのが「ランクB」で50.9%、次いで「ランクC」で22.5%、「ランクA」で21.5%となっている。

図表 2-132 障害高齢者の日常生活自立度

	調査数	ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	無回答
全体	7,728	146 (1.9%)	1,665 (21.5%)	3,931 (50.9%)	1,739 (22.5%)	247 (3.2%)

- 最も医療介入が必要となった疾患について、最も多かったのが「循環器系等の疾患」で28.9%、次いで「呼吸器系の疾患」で13.4%、「精神及び行動の障害」が13.0%となっている。

図表 2-133 最も医療介入が必要となった疾患

	調査数	循環器系等の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	代謝・内分泌疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	泌尿生殖器系の疾患	消化器系の疾患	新生物	眼及び付属器の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	構造的障害	血液及び免疫系の疾患	病態	先天奇形、染色体異常	他の外因の影響	無回答
全体	7,728	2,233 (28.9%)	1,002 (13.0%)	208 (2.7%)	393 (5.1%)	738 (9.5%)	1,039 (13.4%)	343 (4.4%)	381 (4.9%)	212 (2.7%)	25 (0.3%)	135 (1.7%)	61 (0.8%)	2 (0.0%)	2 (0.0%)	11 (0.1%)	943 (12.2%)	

- 最も医療介入が必要となった疾患の診断者について、「併設以外の病院・診療所の医師」が最も多く56.3%、次いで「施設内の医師」が27.0%となっている。

図表 2-134 最も医療介入が必要となった疾患. 疾患の診断者【医療介入が必要な疾患あり】

	調査数	施設内の医師	診療所併設の医師 ・ 病院	診療所以外の医師 ・ 病院	無回答
全体	6,785	1,835 (27.0%)	998 (14.7%)	3,820 (56.3%)	152 (2.2%)

- 最も医療介入が必要となった疾患の治療者について、「施設内の医師」が最も多く49.8%、次いで「併設以外の病院・診療所の医師」が34.9%となっている。

図表 2-135 最も医療介入が必要となった疾患. 疾患の治療者【医療介入が必要な疾患あり】

	調査数	施設内の医師	診療所併設の医師 ・ 病院	診療所以外の医師 ・ 病院	無回答
全体	6,785	3,381 (49.8%)	834 (12.3%)	2,370 (34.9%)	247 (3.6%)

- 最も医療介入が必要となった疾患の入所中の平均治療期間は5.64日であった。

図表 2-136 最も医療介入が必要となった疾患. 入所中の治療期間【医療介入が必要な疾患あり】

	調査数	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日 ～ 14日	満15日 ～ 1ヶ月未満	1ヶ月以上	無回答	平均	標準偏差
全体	6785	459 (6.8%)	409 (6.0%)	197 (2.9%)	171 (2.5%)	55 (0.8%)	84 (1.2%)	53 (0.8%)	141 (2.1%)	253 (3.7%)	231 (3.4%)	30 (0.4%)	4702 (69.3%)	5.64	7.29

- 最も医療介入が必要となった疾患の治療の転帰について、最も多いのが「治療継続中」で37.9%、次いで「入院」で27.0%、「死亡」で11.0%であった。

図表 2-137 最も医療介入が必要となった疾患. 治療の転帰【医療介入が必要な疾患あり】

	調査数	治療継続中	治療	入院	死亡	その他	無回答
全体	6,785	2,574 (37.9%)	639 (9.4%)	1,834 (27.0%)	745 (11.0%)	359 (5.3%)	634 (9.3%)

図表 2-138 参考：最も医療介入が必要となった疾患. 治療の転帰【医療介入が必要な疾患あり】
(疾患区分別)

	調査数	治療継続中	治療	入院	死亡	その他	無回答
全体	6785	2574 (37.9%)	639 (9.4%)	1834 (27.0%)	745 (11.0%)	359 (5.3%)	634 (9.3%)
疾患区分:循環器等の疾患	2233	1012 (45.3%)	142 (6.4%)	419 (18.8%)	284 (12.7%)	151 (6.8%)	225 (10.1%)
疾患区分:精神及び行動の障害	1002	584 (58.3%)	21 (2.1%)	125 (12.5%)	68 (6.8%)	79 (7.9%)	125 (12.5%)
疾患区分:神経系の疾患	208	109 (52.4%)	7 (3.4%)	49 (23.6%)	10 (4.8%)	7 (3.4%)	26 (12.5%)
疾患区分:内分泌、栄養及び代謝疾患	393	163 (41.5%)	19 (4.8%)	109 (27.7%)	51 (13.0%)	14 (3.6%)	37 (9.4%)
疾患区分:筋骨格系及び結合組織の疾患	738	277 (37.5%)	163 (22.1%)	141 (19.1%)	26 (3.5%)	65 (8.8%)	66 (8.9%)
疾患区分:呼吸器系の疾患	1039	129 (12.4%)	141 (13.6%)	496 (47.7%)	188 (18.1%)	10 (1.0%)	75 (7.2%)
疾患区分:腎尿路生殖器系の疾患	343	98 (28.6%)	43 (12.5%)	132 (38.5%)	38 (11.1%)	7 (2.0%)	25 (7.3%)
疾患区分:消化器系の疾患	381	87 (22.8%)	50 (13.1%)	187 (49.1%)	26 (6.8%)	9 (2.4%)	22 (5.8%)
疾患区分:新生物	212	56 (26.4%)	5 (2.4%)	88 (41.5%)	38 (17.9%)	8 (3.8%)	17 (8.0%)
疾患区分:眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患	25	7 (28.0%)	6 (24.0%)	9 (36.0%)	0 (0.0%)	1 (4.0%)	2 (8.0%)
疾患区分:皮膚及び皮下組織の疾患	135	29 (21.5%)	36 (26.7%)	51 (37.8%)	10 (7.4%)	3 (2.2%)	6 (4.4%)
疾患区分:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	61	19 (31.1%)	3 (4.9%)	26 (42.6%)	6 (9.8%)	4 (6.6%)	3 (4.9%)
疾患区分:周産期に発生した病態	2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)
疾患区分:先天奇形、変形及び染色体異常	2	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)
疾患区分:損傷、中毒及びその他の外因の影響	11	3 (27.3%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)

- 退所時必要としていた医療的ケアについて最も多いのが「内服治療」で52.8%、次いで「点滴」が18.2%、「なし」が18.0%となっている。

図表 2-139 退所時必要としていた医療的ケア

	調査数	酸素療法（酸素吸入）	気管切開のケア	たんの吸引	点滴	胃ろうによる栄養管理	インスリン注射	導尿	人工肛門（マシ）のケア（ストーマ）	内服治療	その他	なし	無回答
全体	7,728	875 (11.3%)	8 (0.1%)	765 (9.9%)	1,410 (18.2%)	473 (6.1%)	105 (1.4%)	133 (1.7%)	51 (0.7%)	4,084 (52.8%)	587 (7.6%)	1,391 (18.0%)	684 (8.9%)

（7）退所直後の居所

- 退所直後の居所について、最も多いのが「病院（一般病床）」で41.8%、次いで「居宅」で22.2%、「介護老人福祉施設」が10.3%となっている。

図表 2-140 退所直後の居所

	調査数	居宅	居住系サービス	介護老人福祉施設	他の老人保健施設	病院（療養病床）	病院（一般病床）	その他の施設	死亡	無回答
全体	7,728	1,718 (22.2%)	288 (3.7%)	798 (10.3%)	300 (3.9%)	401 (5.2%)	3,227 (41.8%)	149 (1.9%)	721 (9.3%)	126 (1.6%)

- これを在宅復帰への取り組み状況別にみると、タイプAの施設では居宅へ復帰した入所者が49.0%と約半数を占めており、タイプBの施設でも37.9%と高くなっている。一方、それ以外の施設においては居宅に復帰した入所者は15.6%であった。

図表 2-141 退所直後の居所（施設類型別）

	調査数	居宅	居住系サービス	介護老人福祉施設	他の老人保健施設	病院（療養病床）	病院（一般病床）	その他の施設	死亡	無回答
全体	7728	1718 (22.2%)	288 (3.7%)	798 (10.3%)	300 (3.9%)	401 (5.2%)	3227 (41.8%)	149 (1.9%)	721 (9.3%)	126 (1.6%)
A:介護保健施設サービス費（Ⅰ）(i)または(iv)（ユニット型含む）	455	223 (49.0%)	26 (5.7%)	46 (10.1%)	16 (3.5%)	16 (3.5%)	97 (21.3%)	8 (1.8%)	18 (4.0%)	5 (1.1%)
B:在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設	1628	617 (37.9%)	100 (6.1%)	179 (11.0%)	65 (4.0%)	62 (3.8%)	422 (25.9%)	40 (2.5%)	126 (7.7%)	17 (1.0%)
C:それ以外の施設	5570	868 (15.6%)	154 (2.8%)	572 (10.3%)	216 (3.9%)	316 (5.7%)	2672 (48.0%)	100 (1.8%)	571 (10.3%)	101 (1.8%)

タイプ A：介護保健施設サービス費（Ⅰ）(ii) または (iv)（ユニット型含む）を算定している施設

タイプ B：在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設

タイプ C：上記以外の施設

図表 2-142 参考：退所直後の居所（要介護度別）

	調査数	居宅	居住系サービス	介護老人福祉施設	他の老人保健施設	病院（療養病床）	病院（一般病床）	その他の施設	死亡	無回答
全体	7728	1718 (22.2%)	288 (3.7%)	798 (10.3%)	300 (3.9%)	401 (5.2%)	3227 (41.8%)	149 (1.9%)	721 (9.3%)	126 (1.6%)
要支援1	12	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
要支援2	149	48 (32.2%)	10 (6.7%)	8 (5.4%)	4 (2.7%)	4 (2.7%)	61 (40.9%)	3 (2.0%)	11 (7.4%)	0 (0.0%)
要介護1	625	247 (39.5%)	56 (9.0%)	21 (3.4%)	29 (4.6%)	16 (2.6%)	207 (33.1%)	22 (3.5%)	19 (3.0%)	8 (1.3%)
要介護2	1048	365 (34.8%)	53 (5.1%)	70 (6.7%)	51 (4.9%)	33 (3.1%)	386 (36.8%)	31 (3.0%)	44 (4.2%)	15 (1.4%)
要介護3	1777	446 (25.1%)	72 (4.1%)	189 (10.6%)	96 (5.4%)	89 (5.0%)	702 (39.5%)	39 (2.2%)	116 (6.5%)	28 (1.6%)
要介護4	2165	394 (18.2%)	63 (2.9%)	298 (13.8%)	76 (3.5%)	125 (5.8%)	943 (43.6%)	28 (1.3%)	209 (9.7%)	29 (1.3%)
要介護5	1853	194 (10.5%)	30 (1.6%)	208 (11.2%)	44 (2.4%)	125 (6.7%)	889 (48.0%)	23 (1.2%)	314 (16.9%)	26 (1.4%)
認定申請中	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)

(8) 退所後に利用予定していた居宅系の介護サービス（介護予防含む）

- 退所後に利用予定していた居宅系の介護サービスについては、「通所リハ」で9.6%、「通所介護」が7.0%となっている。
- これを居宅への退所者についてみると、傾向は同様であるが、「通所リハ」は38.4%、「通所介護」は27.2%と、割合が高くなっている。

図表 2-143 退所後に利用予定していた居宅系の介護サービス（介護予防含む・複数回答）

	調査数	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハ	訪問リハ	福祉用具貸与	応定期訪問・巡回・随時看護	夜間対応型訪問介護	その他	なし	把握していない	無回答
全体	7728	429 (5.6%)	53 (0.7%)	159 (2.1%)	39 (0.5%)	538 (7.0%)	744 (9.6%)	42 (0.5%)	477 (6.2%)	11 (0.1%)	8 (0.1%)	671 (8.7%)	4379 (56.7%)	504 (6.5%)	1100 (14.2%)
退所直後の居所:居宅	1718	349 (20.3%)	37 (2.2%)	131 (7.6%)	30 (1.7%)	468 (27.2%)	659 (38.4%)	38 (2.2%)	418 (24.3%)	6 (0.3%)	3 (0.2%)	449 (26.1%)	152 (8.8%)	81 (4.7%)	117 (6.8%)

(9) 退所後訪問の実施の有無

- 退所後訪問の実施の有無については下記の通り。居宅への退所者については、退所後訪問を実施した割合は21.3%であった。

図表 2-144 退所後訪問の実施の有無

	調査数	有	無	無回答
全体	7728	603 (7.8%)	6627 (85.8%)	498 (6.4%)
退所直後の居所:居宅	1718	366 (21.3%)	1281 (74.6%)	71 (4.1%)
退所直後の居所:居住系サービス	288	47 (16.3%)	233 (80.9%)	8 (2.8%)
退所直後の居所:介護老人福祉施設	798	15 (1.9%)	750 (94.0%)	33 (4.1%)
退所直後の居所:他の老人保健施設	300	2 (0.7%)	280 (93.3%)	18 (6.0%)
退所直後の居所:病院(療養病床)	401	12 (3.0%)	369 (92.0%)	20 (5.0%)
退所直後の居所:病院(一般病床)	3227	142 (4.4%)	2918 (90.4%)	167 (5.2%)
退所直後の居所:その他の施設	149	15 (10.1%)	126 (84.6%)	8 (5.4%)
退所直後の居所:死亡	721	4 (0.6%)	630 (87.4%)	87 (12.1%)

(10) 退所に際して請求した加算

- 退所に際して請求した加算については、「退所時情報提供加算」が19.7%、「退所時指導加算」が17.5%などとなっている。
- 居宅への退所者については、「退所時指導加算」(68.7%)、「退所時情報提供加算」(65.1%)、「退所前連携加算」(60.8%)などが多い。

図表 2-145 退所に際して請求した加算

	調査数	加退 算 前 訪 問 指 導	加退 算 後 訪 問 指 導	退 所 時 指 導 加 算	加退 算 時 情 報 提 供	退 所 前 連 携 加 算	示老 加人 算訪 問看 護指	能 在 加宅 算復 帰支 援機	画地 情域 報連 携提 供診 加療 算計	無	無 回 答
全体	7728	457 (5.9%)	207 (2.7%)	1353 (17.5%)	1520 (19.7%)	1206 (15.6%)	42 (0.5%)	411 (5.3%)	15 (0.2%)	4761 (61.6%)	977 (12.6%)
退所直後の居所:居宅	1718	421 (24.5%)	172 (10.0%)	1180 (68.7%)	1119 (65.1%)	1045 (60.8%)	37 (2.2%)	198 (11.5%)	7 (0.4%)	252 (14.7%)	100 (5.8%)
退所直後の居所:居住系サービス	288	24 (8.3%)	22 (7.6%)	122 (42.4%)	157 (54.5%)	108 (37.5%)	3 (1.0%)	32 (11.1%)	1 (0.3%)	64 (22.2%)	19 (6.6%)
退所直後の居所:介護老人福祉施設	798	0 (0.0%)	3 (0.4%)	11 (1.4%)	95 (11.9%)	13 (1.6%)	1 (0.1%)	30 (3.8%)	0 (0.0%)	556 (69.7%)	120 (15.0%)
退所直後の居所:他の老人保健施設	300	2 (0.7%)	2 (0.7%)	6 (2.0%)	28 (9.3%)	6 (2.0%)	0 (0.0%)	17 (5.7%)	0 (0.0%)	204 (68.0%)	52 (17.3%)
退所直後の居所:病院(療養病床)	401	2 (0.5%)	2 (0.5%)	5 (1.2%)	24 (6.0%)	4 (1.0%)	1 (0.2%)	15 (3.7%)	1 (0.2%)	314 (78.3%)	50 (12.5%)
退所直後の居所:病院(一般病床)	3227	1 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.2%)	35 (1.1%)	6 (0.2%)	0 (0.0%)	90 (2.8%)	5 (0.2%)	2697 (83.6%)	405 (12.6%)
退所直後の居所:その他の施設	149	6 (4.0%)	5 (3.4%)	19 (12.8%)	56 (37.6%)	21 (14.1%)	0 (0.0%)	8 (5.4%)	0 (0.0%)	73 (49.0%)	12 (8.1%)
退所直後の居所:死亡	721	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	17 (2.4%)	1 (0.1%)	556 (77.1%)	147 (20.4%)

(1 1) 退所後 1 ヶ月後以降の居所

- 退所後 1 ヶ月後以降の居所の変化については、変化ありが30.6%、居宅への退所者についてみると21.4%であった。

図表 2-146 変化の有無

	調査数	有	無	不明	無回答
全体	7728	2361 (30.6%)	3804 (49.2%)	742 (9.6%)	821 (10.6%)
退所直後の居所:居宅	1718	367 (21.4%)	1122 (65.3%)	113 (6.6%)	116 (6.8%)
退所直後の居所:居住系サービス	288	29 (10.1%)	206 (71.5%)	34 (11.8%)	19 (6.6%)
退所直後の居所:介護老人福祉施設	798	63 (7.9%)	515 (64.5%)	170 (21.3%)	50 (6.3%)
退所直後の居所:他の老人保健施設	300	19 (6.3%)	166 (55.3%)	84 (28.0%)	31 (10.3%)
退所直後の居所:病院(療養病床)	401	132 (32.9%)	189 (47.1%)	44 (11.0%)	36 (9.0%)
退所直後の居所:病院(一般病床)	3227	1669 (51.7%)	1090 (33.8%)	240 (7.4%)	228 (7.1%)
退所直後の居所:その他の施設	149	15 (10.1%)	96 (64.4%)	31 (20.8%)	7 (4.7%)

※居宅直後の居所の内訳からは「死亡」を除いている。

- 変化「有」の場合の居所について、最も多いのが、「貴老人保健施設」で56.2%、次いで「死亡」で19.7%、「病院（一般病床）」が7.5%となっている。
- 中でも居宅への退所者についてみると、最も多いのが「貴老人保健施設」（54.2%）であり、次いで「居宅」（16.9%）、「病院（一般病床）」（9.6%）となっており、約半数程度が退所した介護老人保健施設に戻っていた。

図表 2-147 変化「有」の場合の居所【退所後 1 ヶ月後以降の居所に変化が「有」】

	調査数	居宅	居住系サービス	介護老人福祉施設	貴老人保健施設	他の老人保健施設	病院（療養病床）	病院（一般病床）	その他の施設	死亡	無回答
全体	2361	83 (3.5%)	28 (1.2%)	105 (4.4%)	1328 (56.2%)	31 (1.3%)	108 (4.6%)	178 (7.5%)	13 (0.6%)	466 (19.7%)	26 (1.1%)
退所直後の居所:居宅	367	62 (16.9%)	13 (3.5%)	17 (4.6%)	199 (54.2%)	5 (1.4%)	7 (1.9%)	36 (9.8%)	3 (0.8%)	18 (4.9%)	8 (2.2%)
退所直後の居所:居住系サービス	29	2 (6.9%)	9 (31.0%)	0 (0.0%)	13 (44.8%)	1 (3.4%)	1 (3.4%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)
退所直後の居所:介護老人福祉施設	63	0 (0.0%)	0 (0.0%)	47 (74.6%)	5 (7.9%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	3 (4.8%)	1 (1.6%)	6 (9.5%)	0 (0.0%)
退所直後の居所:他の老人保健施設	19	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	10 (52.6%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)	1 (5.3%)
退所直後の居所:病院(療養病床)	132	0 (0.0%)	2 (1.5%)	2 (1.5%)	52 (39.4%)	2 (1.5%)	15 (11.4%)	9 (6.8%)	0 (0.0%)	49 (37.1%)	1 (0.8%)
退所直後の居所:病院(一般病床)	1669	17 (1.0%)	4 (0.2%)	37 (2.2%)	1043 (62.5%)	12 (0.7%)	84 (5.0%)	123 (7.4%)	2 (0.1%)	339 (20.3%)	10 (0.6%)
退所直後の居所:その他の施設	15	1 (6.7%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)	3 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)	7 (46.7%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)

※居宅直後の居所の内訳からは「死亡」を除いている。

第2節 ヒアリング調査

1. ヒアリング実施施設

本研究では、以下の介護老人保健施設3施設を対象としてヒアリング調査を実施した。

図表 2-148 調査対象施設一覧

I D	施設種別	所在地	調査日
事例①	介護老人保健施設	大阪府	1 / 18
事例②	介護老人保健施設	長崎県	2 / 19
事例③	介護老人保健施設	福島県	3 / 6

2. ヒアリング結果

各施設のヒアリング結果を以下に示す。

ヒアリング事例① 介護老人保健施設（大阪府）

開設主体	社会医療法人	開設年	平成 4 年
入所定員数	100 名	入所者数 (H24 年 12 月 1 日現在)	99 名
職員数	・ 常勤職員 66 名、非常勤職員 6 名 ・ 医師 1 名、看護職員 13 名 ・ PT・OT 4 名 ・ 夜間の看護職員体制：1 名		
備考	・ 施設基準：介護保健施設サービス（Ⅱ）、短期入所療養介護（Ⅱ）、通所リハビリテーション、在宅復帰支援機能加算、リハビリテーションマネジメント加算、短期集中リハビリテーション実施加算、栄養マネジメント加算 等 ・ 併設サービス：短期入所療養介護、通所リハビリテーション（20 名） ・ 協力医療機関は併設の病院（内科、リハビリテーション科、歯科）であり、密な連携をとっている。		

（1）在宅復帰支援について

- ・ 入所前に、家族、担当ケアマネジャーなどを含めて、在宅復帰を踏まえた相談や目標設定、在宅復帰後の生活や住居面の課題などの検討を行っている。
 一例：入所前訪問時に手すりの位置や高さなどを確認して、住宅改修の相談を行うなど
- ・ R4 システムを導入したケアマネジメントを行っており、4 種類のケアマネジメントシート（入所前後訪問報告書、栄養・口腔機能面の記録、相談受付票、ADL の状況記録票）を作成し、A-1、A-2 シートに転記できるような構成としている。
- ・ 入所を繰り返す場合は、入所期間を入所時に予め設定し、それを目標とした在宅復帰の調整を行っている。特に独居や認知症の入所者の場合は、入所期間が長くなると在宅復帰が困難になるため、1 か月程度の短い期間で入退所を行えるよう個別に調整している。
- ・ 全職種でケアプランの検討を行い、必要に応じて、家族に同意を得て情報を追加している。入所者にとってキーパーソンとなる介護者や、在宅のケアマネジャー、在宅サービス担当者など関係者の調整・情報提供・情報収集を密に行い、個別に対応を検討する。
- ・ 入所中の居室環境も、在宅生活に移行しやすいような環境づくりを行っている。
 一例：ポータブルトイレの配置を家と同じに設定するなど。
- ・ 入所者別に、在宅介護・看護マニュアルを作成（介護職やリハ職などが作成）し、在宅での介護方法や留意点を示す。

ー記載内容例：必要な物品、介護の際の留意点、物品の使用方法・手入れ方法、栄養摂取形態に合わせたメニュー見本や写真、リハビリプログラム、医師や訪問看護ステーションなど関係機関の連絡先など

- ・在宅復帰に向けたリハビリテーションを強化している。週に2回のリハビリテーションのうち、1回は認知症対応のリハビリテーションも行っている。
- ・入所中に、家族など在宅での介護者に対する栄養指導や調理実習などを必要に応じて開催する。また、入所中に福祉用具の業者に協力を得て、様々な車椅子の試乗の機会を設け、在宅において適切な車椅子の導入ができるよう支援している。
- ・入所中も、在宅生活に移行しやすい環境づくりや介護者支援、減薬などの薬剤マネジメントを行っている。不要な服薬を減らしたり、ビタミン剤の服用を食事調整により中止したりしている。
- ・独居や家族介護力が低い場合は在宅復帰後に服薬管理が困難であるため、服薬回数を減らして朝晩のみにしたり、デイサービス通所中に服薬できるよう時間帯を調整している。
- ・高価な認知症薬よりも認知症リハが効果があるため、認知症薬の代わりにリハビリを行ったりという調整を行っている。
- ・以上の工夫により新規の入所者の大半は入所後に減薬が実施されている。
- ・地域の傾向として、介護者の高齢化による、在宅での家族介護力の低下がみられている。特に、在宅での虐待が見られるケースについては、市町村や地域包括支援センターとの連携を図りつつ、地域との関わりを保ちながら在宅復帰を図る必要があり、留意が必要である。
- ・入所前の時点から、（特に初回の入所者は）関係者も含めた綿密な情報収集と、入所期間を設定したうえでの在宅復帰のに向けた調整を行っている。在宅のケアマネジャーにも理解を得るための調整や説得を熱心に行っている。
- ・退所時期は気候などの影響も受ける（春・秋は在宅復帰が容易、夏・冬は困難）。

（２）施設内の医療提供について

- ・医師不在の際は、併設の医療機関から当直の医師がすぐに来ることができる体制となっており、内科、皮膚科、歯科は併設のリハビリテーション病院への受診・往診が可能である。循環器内科、呼吸器内科、消化器科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、内視鏡センターなどは同一法人の病院（急性期病院・地域医療支援病院）にて受診が可能である。
- ・緊急受診・緊急入院は月に1,2回の頻度で発生する。
- ・リピーターが多いため、複数回入所する入所者については、看取りのニーズも発生する。そのため、看取り対応も行っている。先月は6人看取りを行った。
- ・施設内に個室がなく、2人または4人部屋であるため、居室環境や感染症発生時の対応などが不十分な問題がある。
- ・急性期病院、回復期リハビリテーション病院からの退院者の受け入れ先として、介護老人保健施設があるが、療養型病床からの退院者やターミナルの患者の受け皿が不足している。
- ・施設で提供する医療のレベルをどこまでとするかは課題である。薬剤費等の問題もあり、施設で提供できる医療・薬については利用者の了解を得ている。

（３）地域その他機関との連携状況について

- ・ 同一法人の医療機関とは日常的に良好な連携が図れている。
- ・ 入所前のアセスメントや、サービス担当者会議などの際に、在宅のケアマネジャーや居宅サービス担当者、福祉用具の事業者、介護職、看護職、医師など、多職種との連携を図り、情報交換・共有を強化している。

（４）その他

- ・ 在宅復帰支援機能加算は、もう少し点数を高くしたほうが良いのではないかと。要件であるベッド回転率などを達成しようとする、稼働率が低くなるため現状の点数では経営上厳しい（例えば 10 月の稼働率は 80% 台となる場合もある）。また、頻繁な入退所に対応するために、頻繁なアセスメントや手間がかかることも考慮して欲しい。
- ・ 入退所者は季節や月ごとの変動が大きい。夏・冬季は退所者が減り、春・秋季は退所が増える傾向にある。また、冬季に感染症が蔓延したりすると、その期間は入退所が滞るなど突発的な事態による影響もある。そのため、回転率の算定に用いる期間は 3 ヶ月平均ではなく 6 ヶ月平均にして欲しい。
- ・ 所定疾患施設療養費の対象疾患は、带状疱疹ではなく皮膚感染症とし、疥癬や薬剤による治療が可能なものにも算定対象を広げて欲しい。
- ・ 重度療養管理加算は要介護 4, 5 に限定されているが、胃ろうやインシュリン注射が必要な人など、要介護 2, 3 であっても療養の手間を要する人はいるため、算定対象者を見直して欲しい。また、入所中における透析の受診料や検査代などは施設が負担している。介護保険でももう少し対応できないか検討いただきたい。
- ・ 介護老人保健施設における短期入所療養介護においては、緊急受入対応を行うケースが多いが、短期入所が在宅サービスであるため、利用者の給付限度額を超えていた場合、短期入所の算定はできても、緊急短期入所受入加算の算定ができず、結局施設側には支払われないことになるという問題点もある。

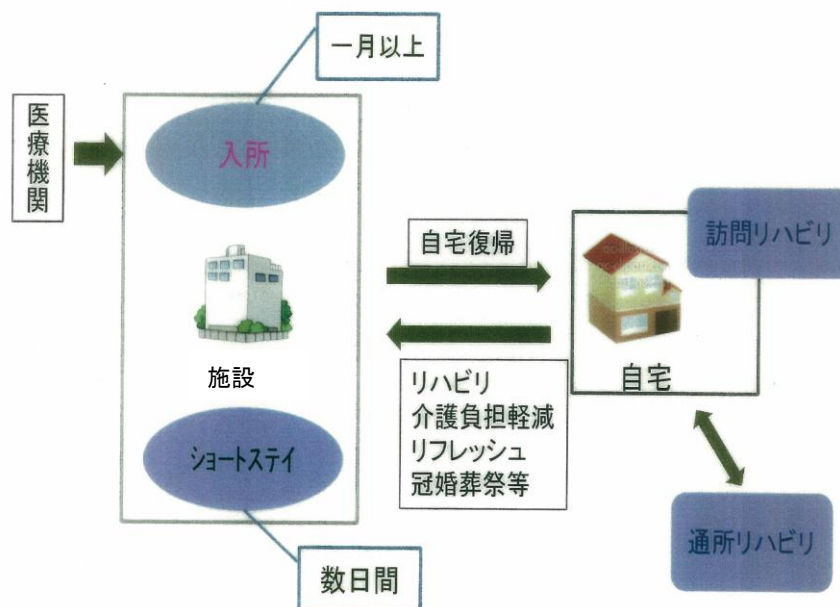
ヒアリング事例② 介護老人保健施設（長崎県）

開設主体	医療法人	開設年	平成 2 年
入所定員数	100 名	入所者数 (H24 年 12 月 1 日現在)	96 名
職員数	・ 常勤職員が 90 名、非常勤職員が 13 名 ・ 医師 1 名、看護職員 14 名（老健専任が 13 名） ・ PT・OT が 11 名（入所 4 名、通所 5 名、訪問 2 名） ・ 夜間の看護職員体制：1 名		
備考	・ 施設基準：サービス提供体制強化加算、短期集中リハビリテーション加算、認知症短期集中リハ加算、入所前後訪問指導加算、栄養マネジメント加算、療養食加算、口腔機能維持管理加算、夜勤職員配置加算 ・ 併設サービス：短期入所療養介護、通所リハビリテーション（70名） ・ 協力医療機関は併設の病院であり、密な連携をとっている。		

（１）在宅復帰支援について

- ・ 入所前に、家族や本人に対して在宅復帰の希望を尋ねることとしている。その際に、在宅復帰の方法として、介護が困難になったらショートステイをうまく活用して施設に数日入所していただき、介護者の状況が落ち着いたらまた在宅復帰するなど、様々な方策があることを具体的に図解で説明している。

図表 2-149 施設利用のイメージ



- ・ 説明資料の一つとして、在宅復帰のイメージが湧きやすいように、家族側の受け入れのハードルが低くなるような図を作成し、説明の際にはタブレットなども用いてわかりやすく説明している。例えば一日のうちで介護にかかる想定時間を具体的に図示したり、要介護度別に実際に在宅に戻った際の一ヶ月のスケジュール案（どのサービスをどれだけ使う、等）を示したりすることで、利用者や家族の理解を得るようにしている。「ずっと自宅で療養する」ということではなく、「無理な場合は老健に戻って療養し、また在宅に復帰することができる」ことを理解していただくようにしている。在宅復帰後に再び施設に戻ってくる利用者は、昨年はおおよそ復帰者の2割程度であった。
- ・ 施設利用者の8割は認知症であり、健康状態を考えると「今しか帰れる状況はない」という場合もある。そのため、少しでも在宅での生活を体験いただきたいという思いもあり、家族とコミュニケーションを取りながら良い復帰の方法を調整している。
- ・ 家族との連携は密にとるようにしており、例えば家族の集いを年に1回設け、毎年テーマを決めて、家族に報告するとともに、家族からの意見も収集するなど、在宅復帰等の老健の活動を理解していただく取り組みを行っている。
- ・ 在宅復帰の際、居宅のケアマネジャーに対しては、リハビリ職から連絡することが多い。新規利用者については、居宅のケアマネジャーに施設に来ていただいたりもしている。病院から入所してくる利用者が7割から8割であり、居宅から施設に来て、また居宅へ復帰する場合は受け入れやすいが、病院から施設に入って居宅へ復帰というパターンは調整を要する。病院からの入所時に、利用者の状況をきちんと確認し、ケアプランを立て、長期入所はできない旨を家族等に了承してもらう。
- ・ 在宅復帰に向けて、薬剤の調整も行っている。当施設では認知症リハビリを行っているため、利用者・家族と事前に話をし、薬ではなくリハビリで対応するように調整するなど、減薬への取り組みを行っている。在宅復帰後においても、リハビリは通所リハや訪問リハなどで継続するとともに、ショートステイで入所した際も継続して行っていく。
- ・ 施設内の取り組みとしては、新入職員教育の一環として入職年次に自ら取組内容を決定し、6ヶ月目を目途に主任の指導のもと、取り組み内容を発表する。内容次第では老人保健施設大会などで発表している。
- ・ 在宅復帰には、口腔ケアも大きな役割を果たしている。口腔ケアは平成18年度から歯科衛生士の指導のもと、本格的に取り組み始めた。歯科衛生士は職員に対する指導も行うなど、基本的な部分から改善していった。その結果、ケアの質が向上し、肺炎の罹患率が減少するなど、無駄な入院を減らすことができ、大きな効果が見られている。特に平成23年度は肺炎による医療機関への退所者が6名にとどまり、在宅復帰率の低下抑制につながっている。
- ・ 食事も重要なポイントであり、ソフト食の場合など、家族の方と一緒に作ってもらったり、食べたりするなど、管理栄養士や介護職員、歯科衛生士等のチームの力を総動員しないと困難である。
- ・ 在宅でトイレを使用するためには、実際に家で動作確認をしなければわからない部分がある。ベッドへの移乗介助も同様であり、退所前には自宅を訪問して、実際の在宅療養の現場を確認してくることが必須である。
- ・ 在宅復帰によって稼働率が下がるという意見もある。ただし、最近では空いたベッドにショ

ートステイ利用者に入ってもらなど、稼働率を維持できている（97%～98%程度）。

（２）施設内の医療提供について

- ・ 施設内における入所者への医療提供は、施設の医師と併設病院の医師で対応しており、骨折や脳血管疾患、救急の場合は市内の病院へ送る。
- ・ 肺炎等については、7日間は所定疾患として施設内で治療する。去年1年間で10人程度、最終的には併設の病院で治療をしている。特に、重度な肺炎の方は医療機関に入院している。帯状疱疹については今のところケースはない。尿路感染は施設内で実施している。最近尿路感染症が増えてきたため、看護職が課題と捉えて削減の取り組みを行っている。
- ・ 平成18年からの口腔ケアの取り組みによって、施設内における肺炎の発症率は明らかに減少してきた。10名の発症があり、口腔ケアに介助が必要な要介護4、5の者の入院は一人だけである。介護職員が感染を減らす努力が重要となっている。
- ・ 薬剤の問題については、薬価が最も大きな問題である。薬剤の見直しも行っているが、在宅復帰後は、かかりつけ医の治療方針が優先されるため薬剤の見直しが出来ない場合もある。

（３）地域の他機関との連携状況について

- ・ 居宅のケアマネジャーとはこまめに連携を取っている。入所時のやり取りも一度ではなく複数回行ったり、施設に来ていただいて面会していただいたりなどの連携をしている。
- ・ 当グループ法人には市内の通所系の連絡協議会やケアマネの連絡協議会の事務局が設置されており、地域福祉力向上のために活動している。
- ・ この地域では、年一回地域ケア発表会があり、医師会、在宅ケアサークル、通所連絡協議会、ケアマネ協議会などが参加している。市内の主な事業所が参加するので、お互い顔が見える関係を構築することができている。
- ・ 通所リハのニーズが高い。家にいるより外に出てほしいという（家族の）ニーズが高いので、通所系のニーズが高くなる傾向がある。そのため、併設の通所リハなどでそれらのニーズに対応している。その利用者が施設を利用することとなったり、ショートステイを活用したりということにもつながっている。

（４）その他

- ・ 試行的退所加算について復活していただきたい。全国的にはあまり使われていなかったようであるが、家族の方も在宅復帰のリハビリや生活リズムをつかむことができる。
- ・ 所定疾患療養費の導入で、医師は比較的やりやすくなった。ただし、帯状疱疹は7日間での治癒は困難であろうとの認識である。

ヒアリング事例③ 介護老人保健施設（福島県）

開設主体	医療法人	開設年	平成 9 年
入所定員数	100 名	入所者数 (H24 年 12 月 1 日現在)	85 名
職員数	・ 常勤職員が 66 名、非常勤職員が 13 名 ・ 医師 1 名、看護職員 12 名 ・ PT・OT が 10 名（老健専任が 5 名） ・ 夜間の看護職員体制：1 名。		
併設施設、協力医療機関の状況等	・ 施設基準：介護老人保健施設サービス費（Ⅰ）（iv） ・ 併設施設：診療所、通所リハビリテーション（40名） ・ 協力医療機関は併設の病院であり、密な連携をとっている。		

（１）在宅復帰支援について

- ・ 当施設では 10 年前、在宅復帰率が 2%であった。地域の受け皿がなく、実際に施設入所すると最期をそこで迎える、もしくは病院で迎えることになるのが現実であった。在宅復帰はできるはずがないと考えていたが、実際に在宅復帰に取り組んでいる施設の現状を見て、考え方を変えることとなった。
- ・ 在宅復帰に取り組んでいくためには、まず職員の意識変容が必要である。そのため、当施設ではトップダウンで職員研修をして、在宅復帰がなぜ必要か、本来の老人保健施設の位置づけとは何かという基本的なところから意識改革を行っていった。職員に対する研修は、施設の職員すべて（医師、看護職員、介護職員、支援相談員、ケアマネジャー、PT、管理栄養士等）参加して、施設の職員が一丸となって在宅復帰へ向けた取り組みの促進、意識の醸成を行っているが、同様に、家族に対する問いかけも継続的に行っている。
- ・ この地域（中学校区）において、この施設のベッドを皆で共有するという発想が重要であり、この施設が果たすべき役割であると考えている。地域の介護資源としてシェアする形で活用いただくのが望ましく、長期入所で入所者一人がベッドを独占してしまうのは本来の使い方ではない。
- ・ 在宅復帰の取り組みを行い始めてから、結果が出始めてきたのは最近であり、9 年ほどかかっている。今年度に入ってから在宅復帰率は 60%台に到達している。稼働率は 90%弱である。ベッド稼働率は 94～96%が目標である。
- ・ 在宅復帰を始めてから忙しくなった。以前は、入所者を受け入れる際、入所相談の時に家族の話をきくと、この家族は利用者を長期的に入れてほしいと思っているのかどうかがいまいわかり、そのような家族も多かったが、家族の質が変わってきた。在宅復帰の話、老健の果たす役割等について真剣に理解しようとする家族も増えてきている。
- ・ 施設で療養してもらって状態を改善して在宅に復帰していただき、また具合が悪くなったり介護が必要になった際には入所していただくなど、サイクルを作ることが重要と考える。

- ・ 「家に帰るためのリハビリ」が老健で行うべきリハビリである。例えば入浴ができないから施設に入所して入浴するということではなく、どの部分を支援すれば在宅で入浴が可能かということ支援していくのが本質である。
- ・ 医師の考え方も変化してきた。以前は例えば90歳で骨折した場合は保存的療法をしていたが、現在は入院してプレートを入れるなど手術し、寝たきりにしない。健康寿命と平均寿命の間を埋めていくのが老健だと考えている。
- ・ 老健には医師が配置されており、リハビリなどの専門家もいるため、いつでも戻ってこれるという安心感から、再度入所してくる方も増加している。ショートステイや通所リハなどから入所につながる方もいる。
- ・ 薬剤について、自宅でこれまで飲んでいた場合、時期と適応がずれているような飲み方をしている。開業医は薬を多く出す傾向があり、また患者も機械的に一応もらっている方も多い。
- ・ 施設に入所し、在宅復帰を見据えて薬剤調整をする中で、調子がよくなる方も多い。例えば向精神薬を調整して削減していくこともある。老健では入所者の「生活」という視点で状態をとらえているので、リハビリの導入なども合わせて考えるため、開業医の方とは異なる観点からの調整を行うことも多い。
- ・ 実際の入所者はケースミックスになっており、在宅復帰者が多い一方で、ターミナルの入所者も多い。むしろ、在宅に復帰して、また戻ってきて、また復帰してというように徐々に状態が低下していき、最期の看取りの際には施設で看取られるということもあるので、在宅復帰率が高いところはターミナルも多くなるのかもしれない。入所歴が5～6回あり、最期の1回で食事がとれなくなってお迎えが来るというパターンがある。身寄りがない方、独居の方も1割いる。
- ・ 在宅復帰を広めるために、様々な講演等を行ってきた。県も期待が大きく、在宅復帰に取り組んでいる施設から講師を呼んで講演会を開催するなど、積極的に取り組みを行っている。
- ・ 現状として、在宅に復帰する風土がないことは事実である。「長期入所はできない」「施設は在宅に復帰することを目標にしている」等を利用者に説明したいが、実際は利用者側の「施設にいさせてほしい」というニーズと乖離しているため入所してくれなくなるのではないかと、との相反する思いが施設関係者の間にはまだ存在する。
- ・ 在宅支援を行っていくには、通所サービスとショートステイを実施していくことがまた重要である。
- ・ 在宅復帰に際しては、家族の方に介護指導をしている。退所前後の訪問は必ず実施しており、訪問して指導を完了するまでに30分から40分かかることもある、

（２）施設内の医療提供について

- ・ 施設内では医療的ケアが必要な方も多い。胃ろう、服薬管理、喀痰吸引などが挙げられる。
- ・ 在宅では動きがないのに、併設の通所リハに通うと動きが出てくる人もいる。一部でもそのような効果が見られていれば励みになる。
- ・ 所定疾患療養費として肺炎の治療が加算で賄えるようになったことはありがたい。肺炎で入院して状態が悪くなって帰ってくることもあるので、できるだけ施設内で治療をするようにしたいと考えている。

- ・ がんの方は薬が高いので、大変なこともある。がんも進行が遅く、疼痛ケアはあまり感じない方が多く、痛みを訴える方はあまりいない。病院に入院をお願いするということになるかもしれないが、現時点ではあまり例はない。

（３）地域他機関との連携状況について

- ・ 病院のソーシャルワーカーとも密接に関係作りをしており、当地域のケアマネジャー向けの研修会（居宅介護支援事業所は約 8 か所）を開催している。併設の診療所以外にも病床を有する市内の病院とも密接に連携している。

（４）その他

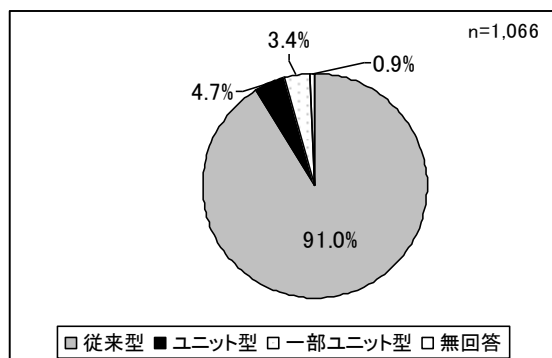
- ・ 居宅のケアマネジャーはできないことに上げ膳据え膳のサービスを行っている場合がある、風呂に入れないと訪問入浴を導入するなどである。しかし、本来の利用者の自立支援の精神に立ったケアであれば、リハビリをして自分で入れるように努力してもらうべきであるし、それが介護保険の理念のはずであり、自分でできることについてはできるだけ自分で行うことが在宅療養に必要なことだと考えている。
- ・ 施設職員の働き方もメリハリがついてきた。入退所業務にスピード感を持たせるため、入退所者や稼働率のデータなどについては、1 週間ごとにデータを整理して会議で報告し、迅速な入退所等の経営判断にもつなげているが、一方で水曜日はノー残業デイにするなど、施設職員のワーク・ライフ・バランスにも配慮した取り組みを行っている。
- ・ 一方で、職員の確保は課題である。福島県からは震災の影響で県外に出てしまった職員もいるため、現在基準ぎりぎりの人員配置であり、マンパワーの確保が課題である。

第 3 章 まとめ

1. 施設票について

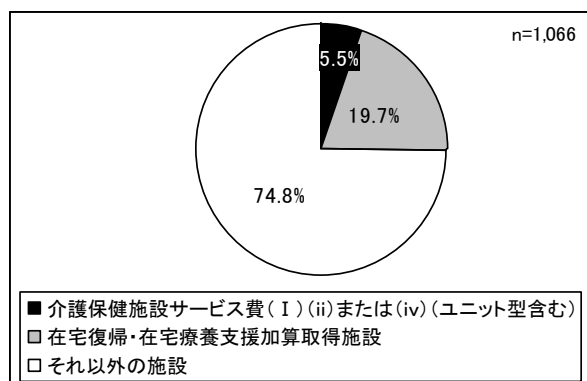
- ・ 回答施設の入所定員数は平均 89.5 人、11 月 30 日時点の平均入所者数は 81.4 人であった。
- ・ 施設の構造は、「従来型」が 91.0%、「ユニット型」が 4.7%、「一部ユニット型」が 3.4%となっている。ユニット型の平均ユニット数は 6.5 であった。

図表 3-1 施設の構造（ショートステイ用は除く）



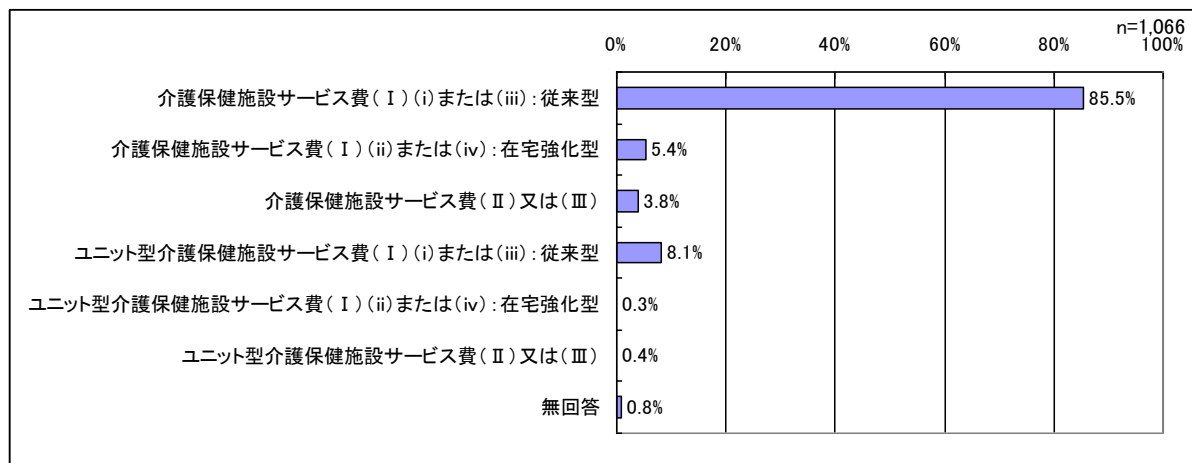
- ・ また、在宅復帰率およびベッド回転率の要件ごとに、タイプ A：「介護保健施設サービス費 I（ii）または（iv）、II（ii）または（iv）を算定している施設(ユニット型を含む)」、タイプ B：「在宅復帰・在宅療養支援加算取得施設」、タイプ C「タイプ A およびタイプ B 以外の施設」の 3 通りに分類すると、最も在宅復帰に積極的に取り組んでいると考えられるタイプ A は 59 施設（5.5%）、在宅復帰に取り組んでいるタイプ B は 210 施設（19.7%）、それ以外の施設（タイプ C）は 797 施設（74.8%）であった。

図表 3-2 施設類型（3 タイプ）



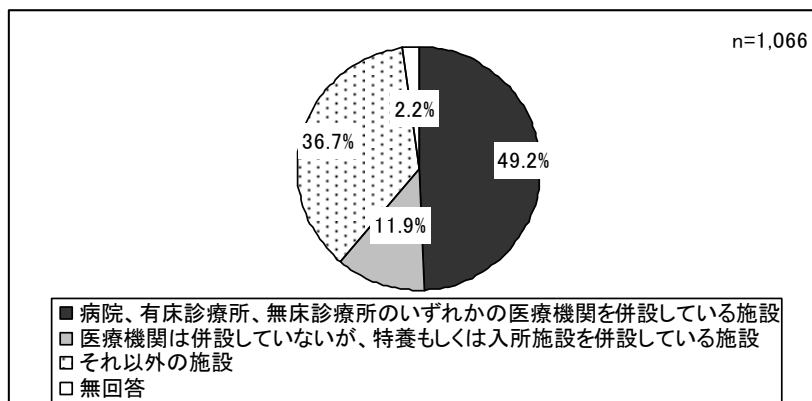
- 基本施設サービス費の類型でみると、「介護保健施設サービス費（Ⅰ）（i）または（iii）：従来型」が最も多く 85.5%、次いで「ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ）（i）または（iii）：従来型」が 8.1%、「介護保健施設サービス費（Ⅰ）（ii）または（iv）：在宅強化型」が 5.4%となっている。

図表 3-3 施設サービス費



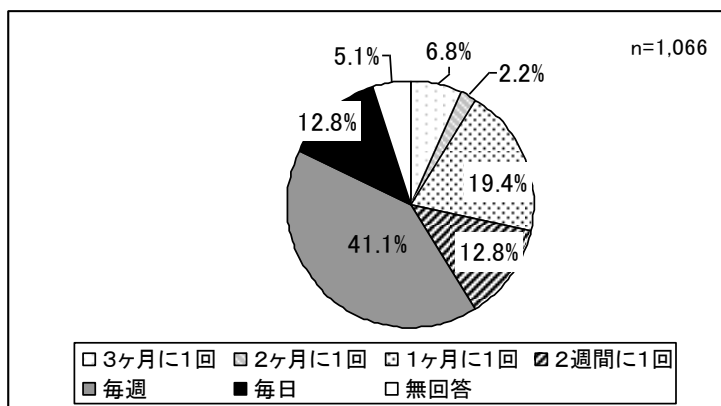
- 何らかの医療機関を併設している施設が 49.2%であり、医療機関も入所施設も併設していない施設が 36.7%であった。

図表 3-4 医療機関又は入所施設の併設有無（医療系）（施設類型別）



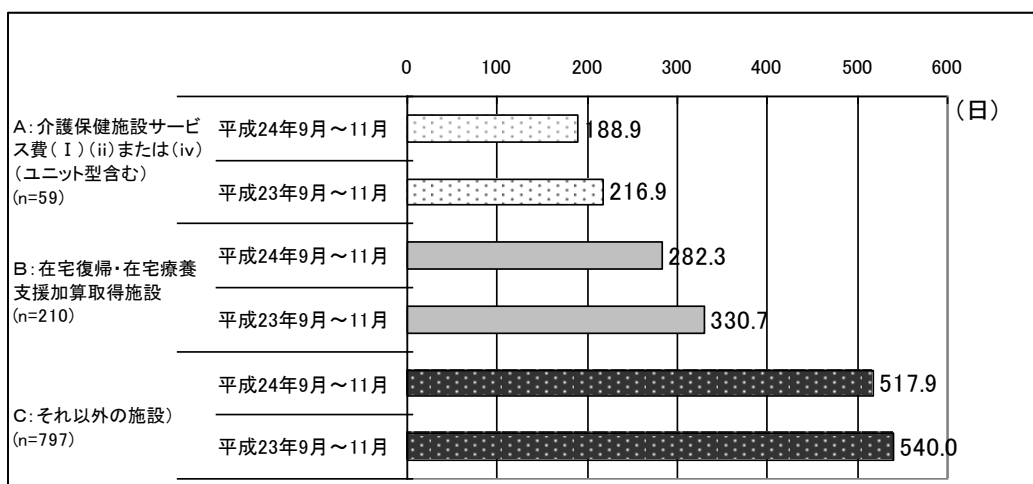
- 主たる協力医療機関の開設主体は同一法人であると回答した施設が 6 割を占めている。施設内の管理医師による診察の状況については「毎日」が 12.8%、「毎週」が 41.1%であり、常勤医師が不在時に入所者に医療的な問題が生じた場合は、「常勤医師以外の医師が来ないため、病院を受診させる体制をとっている」が 41.7%、「併設医療機関の医師が来る」が 36.6%となっている。

図表 3-5 施設内の管理医師による診察の状況



- 平成 24 年 9 月～11 月の平均在所日数については、タイプ A が 188.9 日、タイプ B が 282.3 日、タイプ C が 517.9 日であり、平成 23 年の同時期においてはそれぞれ、216.9 日、330.7 日、540.0 日であった。これにより、平成 24 年度介護報酬改定前後で全体的に平均在所日数は減少傾向にあり、特に在宅復帰に重点的に取り組んでいる施設では下げ幅が大きくなっているといえる。短期集中リハビリテーション実施加算や入所前後訪問指導加算等の算定状況についても、タイプ A が最も多くなっていた。

図表 3-6 平均在所日数（施設類型別）

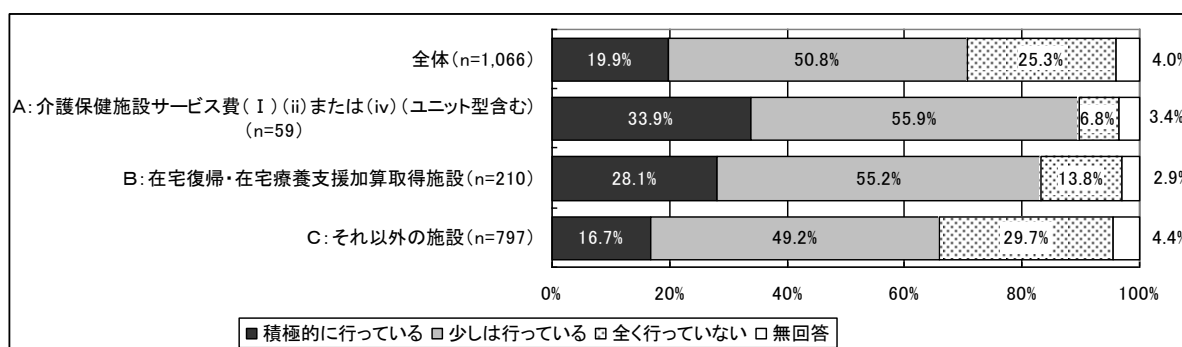


- 入所者の医療的ケアの状況については、「定期処方のみ必要な人」が平均で 75%程度となっている。

- 在宅復帰に向けた服薬管理について、入所者の疾病状況を考慮した減薬を積極的に行っている施設が約 4 割（39.3%）、入所者の在宅復帰後の生活パターンを考慮した減薬を積極的に行っている施設は 2 割（19.9%）であった。特にタイプ A の施設では在宅生活パターンを考慮して積極的に見直しをしている施設が 33.9%、タイプ B でも 28.1%に上っており、在宅復帰に取り組んでいる施設では、特に在宅での入所者の行動様式に合わせた服薬内容を考慮していることが示唆された。

図表 3-7 在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況

【入所者の在宅復帰後の生活パターンを考慮した減薬を行っているか】（施設類型別）

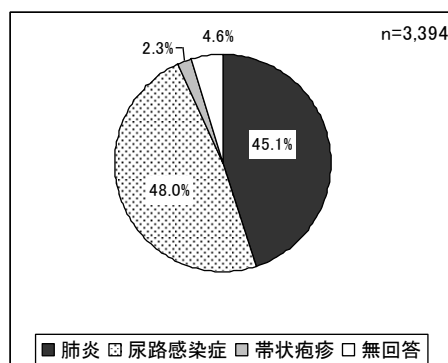


- タイプ A の施設においては、他の施設と比較し、地域連携のための取り組みの実施割合が高い。特に、タイプ A の施設の約 2 割が地域の訪問看護ステーションとの研修会や勉強会等を実施している。また、在宅復帰のための取り組みについてみると、タイプ A、タイプ B の施設では、タイプ C と比較して、「退所後の再受け入れ体制の充実」を約 8 割以上の施設で取り組んでいた（タイプ C は 44.7%）。また、「居住系サービスとの連携をしている」施設も両方で約 8 割を超えていた（タイプ C は 57.0%）。

2. 所定疾患施設療養費について（入所者票）：平成 24 年 11 月の 1 ヶ月間に入所していた人のうち、肺炎、尿路感染症、带状疱疹のいずれかに感染した入所者が対象

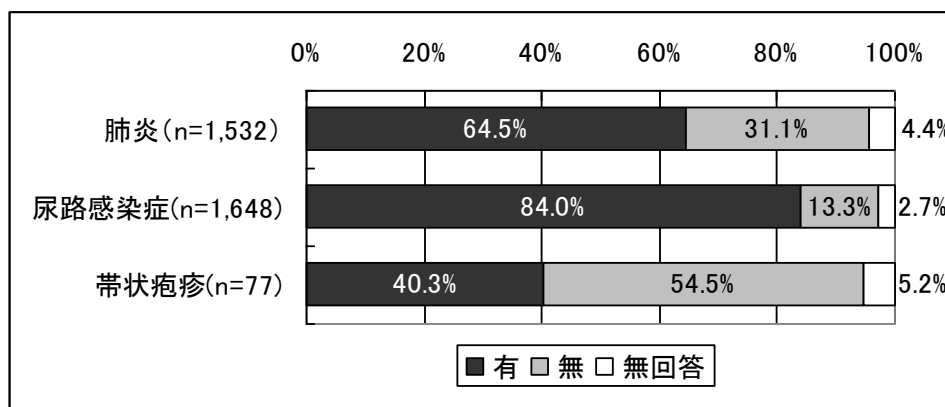
- 入所者票で得られた 3,394 人のデータのうち、肺炎に罹患した入所者は 1,532 人（45.1%）、尿路感染症 1,628 人（48.0%）、带状疱疹 77 人（2.3%）であった（残り 157 件は疾患無回答）。

図表 3-8 感染した疾患



- そのうち、所定疾患施設療養費を算定した人数は、各々 988 人（64.5%）、1,368 人（84.0%）、31 人（40.3%）であった。尿路感染症および带状疱疹に罹患した入所者の約 85%は施設内で治癒していたが、肺炎に罹患した入所者では施設内での治癒は 6 割弱であり、3 割強は医療機関へ入院していた。

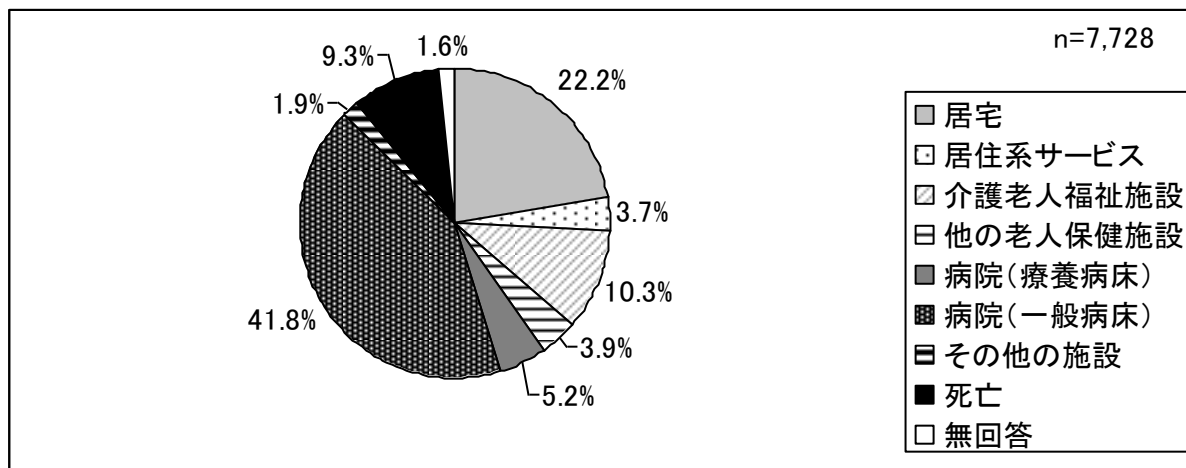
図表 3-9 所定疾患施設療養費の算定有無【感染した疾患あり】



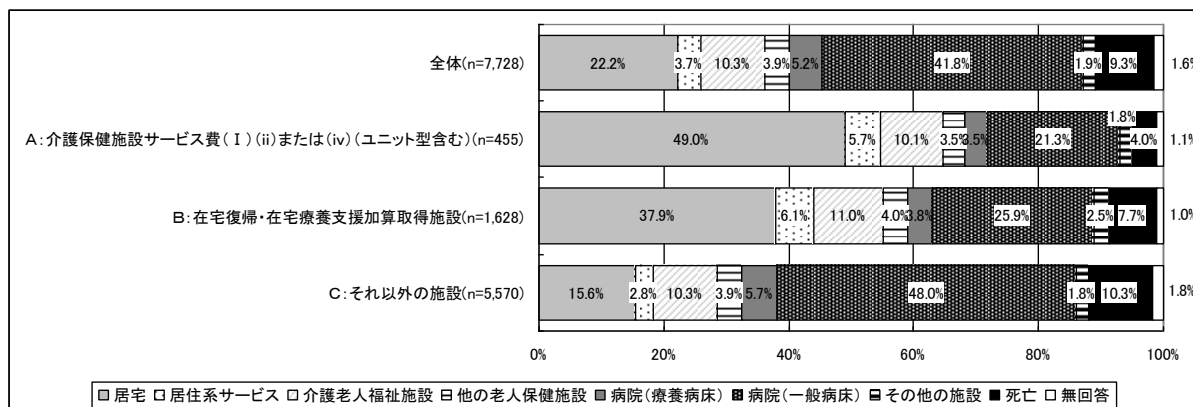
3. 在宅復帰状況について（退所者票）：平成 24 年 9～11 月に施設を退所した入所者が対象

- ・ 退所者票で得られた 7728 人のデータのうち、居宅への退所者は 22.2%、居住系サービスへの退所者が 3.7%、病院（一般病床）への退所者が 41.8%となっている。

図表 3-10 退所直後の居所

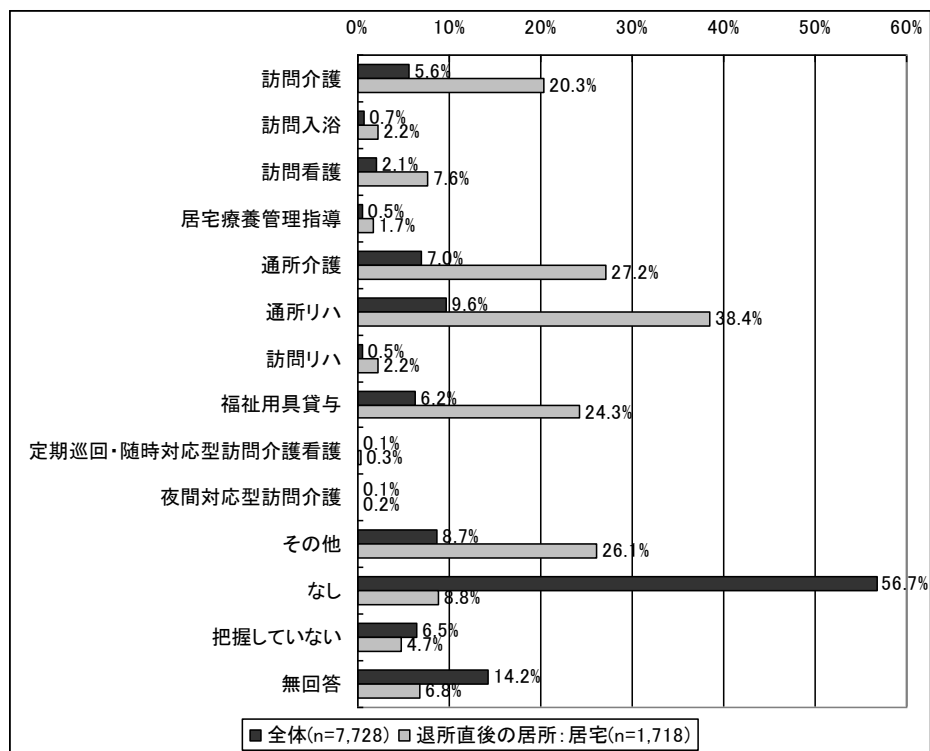


図表 3-11 退所直後の居所（施設類型別）



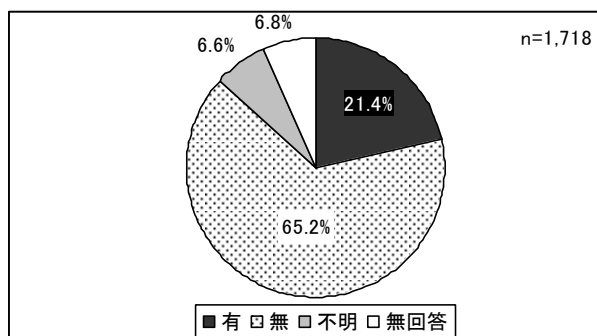
- ・ 退所後に利用予定の居宅系介護サービスは、通所リハが 9.6%、通所介護が 7.0%、福祉用具貸与が 6.2%、訪問介護が 5.6%などであり、居宅への退所者に限ってみると、通所リハが 38.4%、通所介護が 27.2%、福祉用具貸与が 24.3%、訪問介護が 20.3%となっている。

図表 3-12 退所後に利用予定していた居宅系の介護サービス（介護予防含む・複数回答）



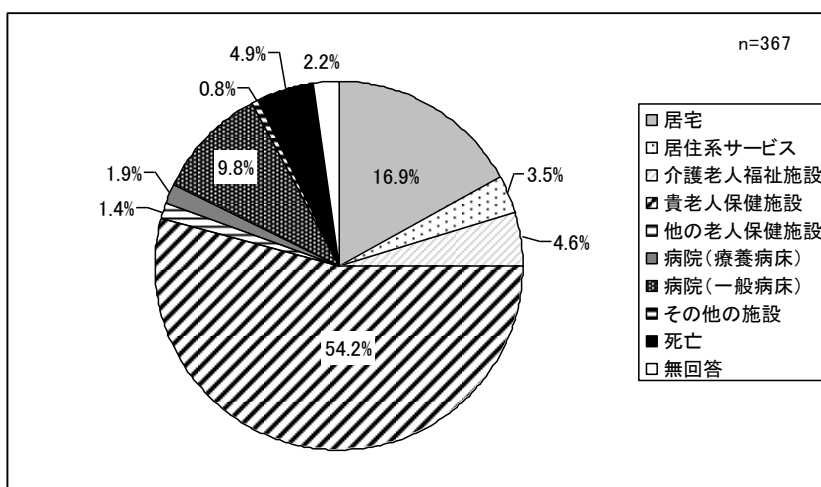
- ・ 居宅への退所者の2割は退所後1ヶ月以降に居所の変化があり、変化があった場合はもとの介護老人保健施設に戻っている割合が54.2%と最も高く、その他は居宅（16.9%）、病院（一般病床）（9.8%）などとなっている。

図表 3-13 変化の有無（退所直後の居所：居宅）



図表 3-14 変化「有」の場合の居所

【退所後1ヵ月後以降の居所に変化が「有」】（退所直後の居所：居宅）



参考資料

- 介護老人保健施設 施設票
- 介護老人保健施設 入所者・退所者票

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査 【施設票】

■記入にあたってのご注意

- この調査票は、**事務職員**が必要に応じ施設長、医師、看護職員、介護支援専門員の方々などと相談の上、ご記入下さい。
- 特に指定の無い限り、平成 24 年 11 月中または 11 月 30 日時点の状況についてご記入下さい。
- 特に指定の無い限り、**選択肢の番号 1 つを選んで○印をお付け下さい。**
- () の箇所には、具体的に言葉や整数値をご記入下さい。職員の常勤換算数の設問は、小数点以下第 1 位までに四捨五入してご回答ください。
- 数字を記入する欄が **0 (ゼロ) の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。**
- 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**平成 25 年 1 月 11 日 (金) までにご返送**下さい。

【平成 24 年 11 月 30 日時点】

第 4 章 (1)基本情報									
①所在地	()都・道・府・県 ()区・市・町・村								
②開設年	西暦 ()年								
③開設主体	1. 地方公共団体 3. 医療法人 2. 社会福祉法人 4. その他()								
④入所定員数	()人		⑤入所者数		()人 ※ショートステイ利用者数は除く				
⑥要介護度別入所者数 (ショートステイ利用者は除く)	要介護1	要介護2	要介護3		要介護4	要介護5			
	()人	()人	()人		()人	()人			
⑦入所期間別入所者数 (ショートステイ利用者は除く)	3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上			
	()人	()人	()人	()人	()人	()人			
⑧平均入所期間	()か月								
⑨施設の構造 (ショートステイ用は除く)	1. 従来型 2. ユニット型¹ →()ユニット 3. 一部ユニット型 →()ユニット								
⑩医療機関又は入所施設の併設有無 (複数可)	1. 病院併設 2. 有床診療所併設 3. 無床診療所併設 4. 特別養護老人ホーム併設 5. その他の入所施設、居住系サービスを併設(特定施設、グループホーム等) 6. 医療機関または入所施設は併設していない								
⑪協力医療機関 ² の箇所数	()箇所								
主たる協力医療機関 (一か所)の状況	a) 開設主体	1. 同一法人又は系列法人の医療機関である 2. 同一法人又は系列法人の医療機関ではない							
	b) 併設の状況	1. 併設又は隣接している 2. 併設又は隣接していない →施設からの距離(約 km)							
⑫平成 24 年 9 月～11 月における	入所者延べ人数		()人						
⑬昨年(平成 23 年)9 月～11 月における	入所者延べ人数		()人						

¹ 「ユニットケア」とは施設の居室を10人程度のグループに分けて、それぞれをひとつの生活単位とし、少人数の家庭的な雰囲気の中でケアを行うものを指します。

² 協力医療機関が複数ある場合は、主たる協力医療機関 1 施設についてご記入ください。

(2)入退所の状況			
① 新規入所者数（平成 24 年 9 月～平成 24 年 11 月(3ヶ月間)の合計）		()	人
a) 回復期リハビリテーション病棟からの入所		()	人
b) 一般病床からの入所(回復期リハビリテーション病棟以外)		()	人
c) 療養病床からの入所	医療療養病床(回復期以外)	()	人
	介護療養病床	()	人
d) 他の介護老人保健施設からの入所		()	人
e) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)からの入所		()	人
f) 居宅からの入所		()	人
g) その他	()	()	人
② 昨年の新規入所者数（平成 23 年 9 月～平成 23 年 11 月(3ヶ月間)の合計）		()	人
うち、居宅からの入所		()	人
③ 退所者数（平成 24 年 9 月～平成 24 年 11 月(3ヶ月間)の合計）		()	人
a) 回復期リハビリテーション病棟へ退所		()	人
b) 一般病床へ退所(回復期リハビリテーション病棟以外)		()	人
c) 療養病床へ退所	医療療養病床(回復期以外)	()	人
	介護療養病床	()	人
d) 他の介護老人保健施設へ退所		()	人
e) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)へ退所		()	人
f) 居宅へ退所		()	人
g) その他	()	()	人
④ 昨年の退所者数（平成 23 年 9 月～平成 23 年 11 月(3ヶ月間)の合計）		()	人
うち、居宅へ退所した者		()	人

(3)職員体制 ※ショートステイ兼務の職員を含む(ショート専従は含まない)									
	常勤		非常勤			常勤		非常勤	
	実人員	常勤換算 ³	実人員	常勤換算		実人員	常勤換算	実人員	常勤換算
医師	人	人	人	人	管理栄養士・栄養士	人	人	人	人
歯科医師	人	人	人	人	薬剤師	人	人	人	人
看護師	人	人	人	人	介護支援専門員	人	人	人	人
准看護師	人	人	人	人	介護職員	人	人	人	人
支援相談員	人	人	人	人	うち、介護福祉士保有者	人	人	人	人
PT/OT/ST	人	人	人	人	その他	人	人	人	人

³ 常勤職員で他業務と兼務している場合は、常勤換算で記入してください。

常勤換算数の計算方法: 小数点以下第 2 位を四捨五入して小数点以下第 1 位まで計上して下さい。得られた結果が 0.1 に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

[換算数]=[職員の 1 週間の勤務時間]÷[施設が定めている 1 週間の勤務時間]

(4)加算等の算定状況 (平成24年11月中)				
① 施設サービス費		1. 介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ⅰ)または(ⅲ):従来型 2. 介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ⅱ)または(ⅳ):在宅強化型 3. 介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ) 4. ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ⅰ)または(ⅲ):従来型 5. ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ⅱ)または(ⅳ):在宅強化型 6. ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅱ)又は(Ⅲ)		
② 緊急時施設療養費		1. 緊急時治療管理 2. 特定治療 3. 算定なし		
③ 夜勤職員配置加算		1. 算定あり	2. 算定なし	
④ 在宅復帰・在宅療養支援機能加算		1. 算定あり	2. 算定なし	
		3. 該当しない		
⑤ ターミナルケア加算		1. 算定あり ⇒()人	2. 算定なし	
⑥ 短期集中リハビリテーション実施加算		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑦ 認知症短期集中リハビリテーション実施加算		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑧ 若年性認知症入所者受入加算		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑨ 認知症ケア加算		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
		3. 該当しない		
⑩ 入所前後訪問指導加算		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑪ 退所時指導等加算	退所前訪問指導加算	1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
	退所後訪問指導加算	1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
	退所時指導加算	1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
	退所時情報提供加算	1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
	退所前連携加算	1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
	老人訪問看護指示加算	1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑫ 口腔機能維持管理体制加算		1. 算定あり	2. 算定なし	
⑬ 口腔機能維持管理加算		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑭ 在宅復帰支援機能加算 (介護療養型老人保健施設ではない場合は、「3. 該当しない」に○)		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
		3. 該当しない		
⑮ 所定疾患施設療養費		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑯ 認知症行動・心理症状緊急対応加算		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑰ 認知症情報提供加算		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑱ 地域連携診療計画情報提供加算		1. 算定あり ⇒()件	2. 算定なし	
⑲ サービス提供体制強化加算	サービス提供体制強化加算(Ⅰ)	1. 算定あり	2. 算定なし	
	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	1. 算定あり	2. 算定なし	
	サービス提供体制強化加算(Ⅲ)	1. 算定あり	2. 算定なし	
⑳ 介護職員処遇改善加算	(Ⅰ)	1. 算定あり	2. 算定なし	
	(Ⅱ)	1. 算定あり	2. 算定なし	
	(Ⅲ)	1. 算定あり	2. 算定なし	

(5)医療職の勤務状況													
①医師が勤務している時間帯にチェック(✓)を記入してください。 ※医師の勤務体制が通常と異なる場合は、他の任意の日について記入してください。	11月29日6時～11月30日6時までの勤務状況(単位:時)												
	6時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6時
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
②施設の医師の診療科目(複数可)	1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. 皮膚科 5. 泌尿器科 6. 精神科 7. 眼科 8. 耳鼻科 9. 歯科 10. その他()												
③施設の医師の業務内容(複数可)	1. 健康管理(定期健康診断を含む) 2. 診療及び治療(健康管理を除く) 3. 予防注射の対応 4. 個別リハの実施 5. 看護職員への指示・指導 6. リハ職への指示・指導 7. リハ計画書の作成 8. 急変等発生時の対応 9. 他の医師との連携・相談 10. カンファレンスへの参加 11. 家族へのインフォームドコンセント 12. 医療機関への紹介 13. 主治医意見書の作成 14. 施設職員への研修												
④常勤医師不在時、入所者に医療的な問題が生じた場合の対応方法	1. 併設医療機関の医師がすぐに来る 2. 併設医療機関の医師はいないが、電話などの求めに応じて他の医療機関から医師がすぐに来る体制にある 3. 代替りの医師が、1日1回程度はかならず来る 4. 常勤医師以外の医師は来ないため、病院を受診させる体制をとっている 5. 常勤医師が来るまで、医師による対応は行わない												
⑤看護職員の夜勤体制	1. 必ず夜勤の看護職員がいる 2. 必ず宿直の看護職員がいる 3. ローテーションにより看護職員がいる時間といない時間がある 4. 通常、看護職員は勤務しないが、状態に応じて勤務することがある 5. オンコールで対応する 6. 特に対応していない 7. その他()												
⑥看護職員の業務内容(複数可)	1. 日常病状観察、日常の健康管理(バイタルチェックを含む) 2. 医療的処置 3. 医師の診療及び治療の補助 4. 入浴ケア 5. 身体の清拭 6. 褥そう防止や手当 7. 食事ケア 8. 体位変換 9. 口腔ケア 10. 排泄ケア 11. カンファレンス参加、職員からの相談 12. 介護職員等に対する研修 13. 服薬の管理(服薬確認、薬の配布、内服介助を含む) 14. 医療材料・機器の管理 15. リハビリの指導 16. リハビリの補助、付き添い 17. 看護計画、看護記録の作成 18. 自宅訪問 19. 本人・家族への状況報告・相談、日常生活のアドバイス、指導 20. 主治医との連携・連絡 21. 入退院調整・相談(退院カンファレンスの出席を含む) 22. 緊急対応 23. 通院付き添い 24. その他()												

(6)入所者のケアの状況

①入所者の医療的ケアの状況【平成24年11月30日時点】

※各入所者についていずれか1つに該当するものとして合計してください。

※1人につき複数当てはまる場合は、番号の若い方(医療的ケアの必要性の高い方)に該当するものとして人数を合計してください。

項目	人数
1. 急性期医療に準ずる治療（肺炎罹患中など）の必要な人	()人
2. 医療的栄養管理（IVH、胃ろう）が必要な人	()人
3. 専門医療、他科受診を必要とする人（施設内の医療スタッフで対応不可）	()人
4. 専門医療を必要とするが施設内の医療スタッフで対応可能な人	()人
5. 定期処方のみ必要な人	()人
6. 定期処方がない人	()人

②在宅復帰に向けた服薬管理の実施状況【平成24年11月30日時点】

項目	実施状況
1. 入所者の疾病状況を考慮した減薬を行っているか	1. 積極的に行っている 2. 少しは行っている 3. 全く行っていない
2. 入所者の経済状況に配慮した減薬を行っているか	1. 積極的に行っている 2. 少しは行っている 3. 全く行っていない
3. 入所者の在宅復帰後の生活パターンを考慮した減薬を行っているか	1. 積極的に行っている 2. 少しは行っている 3. 全く行っていない

③入所者の主な疾患【平成24年11月30日時点】

主治医意見書に記載されている主傷病について、下記の傷病が記載されている入所者の人数を各々記入してください。（重複計上可）

※各分類に該当する詳細の診断名については、別添の「疾患リスト」をご参照ください。

	人 数		人 数
1. 循環器系等の疾患	() 人	9. 新生物	() 人
2. 精神及び行動の障害	() 人	10. 眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患	() 人
3. 神経系の疾患	() 人	11. 皮膚及び皮下組織の疾患	() 人
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	() 人	12. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	() 人
5. 筋骨格系及び結合組織の疾患	() 人	13. 周産期に発生した病態	() 人
6. 呼吸器系の疾患	() 人	14. 先天奇形、変形及び染色体異常	() 人
7. 腎尿路生殖器系の疾患	() 人	15. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	() 人
8. 消化器系の疾患	() 人		

④以下の診断を受けた人数等【平成24年11月の一か月間】

	診断を受けた人数	うち、所定疾患施設療養費を算定した人数	算定延べ回数の合計
肺炎	() 人	() 人	() 回
尿路感染症	() 人	() 人	() 回
带状疱疹 (抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合)	() 人	() 人	() 回
带状疱疹	() 人		

(抗ウイルス剤の点滴注射を必要としない場合)			
(7)入所者の救急搬送・入院人数			
①平成24年9月～11月(3ヵ月間)に他の医療機関(併設含む)に入院した入所者 ⁴ の状況			
a)実人数		b)延べ入院日数	
実 () 人		延べ () 日	
②平成24年9～11月(3ヵ月間)に病院へ救急搬送した延べ人数			
延べ () 人			
a)うち、救急車で搬送		延べ () 人	
b)うち、施設職員または家族が搬送		延べ () 人	
c)その他 ()		延べ () 人	
③昨年(平成23年)9～11月(3ヵ月間)に他の医療機関(併設含む)に入院した入所者 ⁵ の状況			
a)実人数		b)延べ入院日数	
実 () 人		延べ () 日	
④昨年(平成23年)9～11月(3ヵ月間)に病院へ救急搬送した延べ人数			
延べ () 人			
a)うち、救急車で搬送		延べ () 人	
b)うち、施設職員または家族が搬送		延べ () 人	
c)その他 ()		延べ () 人	
(8)医療提供状況(平成24年11月中)			
①施設内の管理医師による診察の状況 ※急性の場合は除く			
施設の管理医師による全体の回診の頻度(入所者全員が診察を受ける頻度)	1. 3ヶ月に1回	2. 2ヶ月に1回	3. 1ヶ月に1回
	4. 2週間に1回	5. 毎週	6. 毎日
②施設外の医師による往診の状況 ※急性の場合は除く			
施設外の医師による往診の頻度(往診の医師が、特定の対象者に対して診察する頻度)	1. 3ヶ月に1回	2. 2ヶ月に1回	3. 1ヶ月に1回
	4. 2週間に1回	5. 毎週	6. 毎日
③入所者の医療機関への通院状況(11月中) ※併設医療機関への通院含む			
通院者の人数・延べ回数	実 () 人 延べ () 回		
④施設内の医療提供における課題			

⁴ 9月～11月に入所していた全ての入所者について計算してください。当該期間の途中で退所した方、当該期間内に新規入所して退所した方の入院日数も含まれます。ただし、入院期間にそのまま退所手続きを取った場合、退所日の翌日からの日数は含めないでください。

⁵ 9月～11月に入所していた全ての入所者について計算してください。当該期間の途中で退所した方、当該期間内に新規入所して退所した方の入院日数も含まれます。ただし、入院期間にそのまま退所手続きを取った場合、退所日の翌日からの日数は含めないでください。

(9)在宅復帰に向けた取り組み等

① 地域連携のために実施している取組 (複数可)	1. 他の医療機関等との研修会や勉強会等 2. 地域の訪問看護ステーションとの研修会や勉強会等 3. 地域のケアマネジャーとの研修会や勉強会等 4. 地域住民に向けた講習会等 5. その他実施している取組 (具体的に:)	
② 入所時に入手している書類・情報	1)主治医意見書	1. 必ず提出を求めている 2. 利用者の状態によっては求めている。 3. 特に提出を求めていない
	2)診療情報提供書	1. 必ず提出を求めている 2. 利用者の状態によっては求めている。 3. 特に提出を求めていない
		↳1.または2.の場合 (あてはまるものに○) 1)血液検査項目……(あり ・ なし) 2)感染症項目 …… (あり ・ なし)
	3)上記以外の血液検査の結果	1. 必ず提出を求めている 2. 利用者の状態によっては求めている。 3. 特に提出を求めていない
	4)上記以外の感染症スクリーニング結果(MRSA,肝炎、梅毒など)	1. 必ず提出を求めている 2. 利用者の状態によっては求めている。 3. 特に提出を求めていない
	5)健康診査結果(特定健診、長寿(後期高齢者)医療健康診査)	1. 必ず提出を求めている 2. 利用者の状態によっては求めている。 3. 特に提出を求めていない
	6)看護情報	1. 必ず提出を求めている 2. 利用者の状態によっては求めている。 3. 特に提出を求めていない
	7)心身現況(ADL等状況、介護支援専門員からの利用者情報等)	1. 必ず提出を求めている 2. 利用者の状態によっては求めている。 3. 特に提出を求めていない
③在宅復帰のために実施している取組 (複数可)	1. R4 システムの導入 2. インテークのプロセスの導入(入所前のお試しショートも含む) 3. 入所前訪問 4. 入退所前カンファレンスの実施 5. 認知症短期集中リハの実施 6. 居住系サービスとの連携をしている 7. 在宅復帰に向けてのお試し外出や外泊の実施 8. 退所前のお試しデイサービスの実施 9. 退所後の再受け入れ体制の充実 10. クリティカルパスなど地域の他施設との連携 11. 在宅復帰のための施設内クリティカルパスの作成 12. 家族会の開催	
④在宅復帰のために実施している具体的な工夫		

⑤サービス担当者会議（ケアカンファレンス）への 職種別の主な参加状況 ※各々、最もあてはまるもの1つに○	1) 医師	1. いつも参加 2. 時々（必要に応じて）参加 3. ほとんど参加しない
	2) 看護職員	1. いつも参加 2. 時々（必要に応じて）参加 3. ほとんど参加しない
	3) 介護職員	1. いつも参加 2. 時々（必要に応じて）参加 3. ほとんど参加しない
	4) PT/OT/ST	1. いつも参加 2. 時々（必要に応じて）参加 3. ほとんど参加しない
	5) 支援相談員	1. いつも参加 2. 時々（必要に応じて）参加 3. ほとんど参加しない
	6) 栄養士	1. いつも参加 2. 時々（必要に応じて）参加 3. ほとんど参加しない
	7) 薬剤師	1. いつも参加 2. 時々（必要に応じて）参加 3. ほとんど参加しない
	8) 介護支援専門員	1. いつも参加 2. 時々（必要に応じて）参加 3. ほとんど参加しない
⑥在宅復帰における課題		

■■■ご協力ありがとうございました■■■

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査

【入所者・退所者票】

P. 2 ～ P. 6 入所者票

P. 7 ～ P. 8 退所者票

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査 【入所者票】

11 月中に、肺炎、尿路感染症、带状疱疹のいずれかに感染した人全員についてお聞きします。

特に指定がないものについては、平成 24 年 11 月 30 日現在の状況について回答してください。現在は退所している人や入院中の人も含みます。

※1 人の人が 11 月中、複数の疾患に罹患した又は再度同じ疾患に罹患した場合は、No. に同じ番号を記載のうえ、その都度、行を分けて記入してください。

NO.	性別	生 年 月 日	入所日	入所前の 居所	要介護度	認知症高 齢者の日 常生活自 立度	障害高 齢者の日 常生活自 立度	有している 傷病 (複数回答可)	施設内で 実施して いる医療 的ケア (複数回答 可)	平成 24 年 11 月分として算 定する加算 (複数回答可)	肺炎、尿路感染症、带状疱疹を感染時の状況についてお聞きします (※複数ある場合は、その都度、行を分けて回答してください。)									
											感 染 し た疾患	その疾 患にお ける所 定疾患 施設療 養費の 算定有 無	(1=有 の場合)算定日 数	その疾患 の診断方 法	検査方法	治療 内容	治療 期間	治 療 後 の 転 帰	(4=医療機関へ 入院の場合) 入院後の転帰	
1=男 2=女	1=自宅 2=居住系サービス (有料老人ホーム 等) 3=介護老人福祉 施設 4=他の老人保健 施設 5=病院 (療養病床) 6=病院 (一般病床) 7=その他の施設 8=不明	支 1=要支援 1 支 2=要支援 2 介 1=要介護 1 介 2=要介護 2 介 3=要介護 3 介 4=要介護 4 介 5=要介護 5 申=認定申請中	I=ランク I II=ランク II III=ランク III IV=ランク IV M=ランク M	J=ランク J A=ランク A B=ランク B C=ランク C	※別添の疾 患リストよ り、該当す る番号を主 なものから 3 つまで記 入してくだ さい。	1=人工肛門 (ストマ)のケ ア 2=酸素療法 (酸素吸入) 3=気管切開 のケア 4=点滴 5=胃ろうによ る栄養管理 6=インスリン注 射 7=たんの吸 引 8=導尿 9=その他 10=なし	1=特別療養費 2=所定疾患施設療 養費 3=短期集中リハビ リテーション実 施加算 4=栄養マネジメント 加算 5=経口移行加算 6=経口維持加算 7=認知症行動・心 理 症状緊急対応加算 8=認知症専門ケア 加算 9=入所前後訪問指 導 加算 10=重度療養管理加 算	1=肺炎 2=尿路 感染症 3=帯状 疱疹	1=有 2=無	12 月に 入っても 連続算 定して いた場 合は、 それも 加えた 日数	1=施設内の 医師が診断 2=施設併設 の病院の医 師が診断 3=併設以外 の病院医師 が診断	1=血液検査 2=レントゲン 検査 3=皮膚科の 受診または 往診 4=尿検査 5=喀痰検査 6=その他	1=内服薬 (抗生剤・ 抗ウイルス 薬) 2=内服薬 (抗生剤・ 抗ウイルス 薬以外) 3=注射(抗 生剤・抗ウ イルス薬) 4=注射(抗 生剤・抗ウ イルス薬 以外) 5=処置 6=その他	1=施設内 で治療 2=施設内 で治療 継続 3=施設内 で死亡 4=医療機 関へ入院	1=現在も入院中 2=貴老健に再入所 3=他施設に入所 4=その他の居住サ ービスを利用 5=在宅へ復帰 6=死亡 7=不明					
(例) 1	1・2	1925 年 9 月 20 日	2011 年 4 月 7 日	① 2・3 ・4・5・6 ・7・8	支 1・2 介 1・② 3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C	56 79	1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・⑨ 10	1・② 3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	① 2・3 ・① 2	6 日	① 2・3 ・① 2・3 ・4・5・6	① 2・3 ・4・5・6	① 2・3 ・4・5・6	6 日	1・2 ・3・④	1・② 3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支 1・2 介 1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支 1・2 介 1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支 1・2 介 1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支 1・2 介 1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支 1・2 介 1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12			

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査 入所者・退所者票

NO.	性別	生年月日	入所日	入所前の 居所	要介護度	認知症高齢者の日常生活自立度	障害高齢者の日常生活自立度	有している傷病 (複数回答可)	施設内で実施している医療的ケア (複数回答可)	平成 24 年 11 月分として算定する加算 (複数回答可)	肺炎、尿路感染症、带状疱疹を感染時の状況についてお聞きます (※複数ある場合は、その都度、行を分けて回答してください。)									
											感染した疾患	その疾患における所定疾患施設療養費の算定有無 1=有 2=無	(1=有の場合)算定日数	その疾患の診断方法	検査方法	治療内容	治療期間	治療後の転帰	(4=医療機関へ入院の場合) 入院後の転帰	
	1=男 2=女			1=自宅 2=居住系サービス (有料老人ホーム等) 3=介護老人福祉施設 4=他の老人保健施設 5=病院 (療養病床) 6=病院 (一般病床) 7=その他の施設 8=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 申=認定申請中	I=ランクI II=ランクII III=ランクIII IV=ランクIV M=ランクM	J=ランクJ A=ランクA B=ランクB C=ランクC	※別添の疾患リストより、該当する番号を主なものから3つまで記入してください。	1=人工肛門 (ストマ)のケア 2=酸素療法 (酸素吸入) 3=気管切開のケア 4=点滴 5=胃ろうによる栄養管理 6=インスリン注射 7=たんの吸引 8=導尿 9=その他 10=なし	1=特別療養費 2=所定疾患施設療養費 3=短期集中リハビリテーション実施加算 4=栄養マネジメント加算 5=経口移行加算 6=経口維持加算 7=認知症行動・心理症状緊急対応加算 8=認知症専門ケア加算 9=入所前後訪問指導加算 10=重度療養管理加算	1=肺炎 2=尿路感染症 3=带状疱疹									
(例) 1	1・2	1925年 9月20日	2011年 4月7日	① 2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1②3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C	56 79	1・2・3・4 ・5・6・7 ・8⑨10	1②3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	①2・3 ①2	6日	①2・3	①2③ ・4⑤6	①23・ 456	6日	1・2 ・3④	1②3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2		1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6		1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2		1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6		1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2		1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6		1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2		1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6		1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2		1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6		1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2		1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6		1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2		1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6		1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査 入所者・退所者票

NO.	性別	生年月日	入所日	入所前の 居所	要介護度	認知症高齢者の日常生活自立度	障害高齢者の日常生活自立度	有している 傷病 (複数回答可)	施設内で 実施して いる医療 的ケア (複数回答可)	平成 24 年 11 月分として算 定する加算 (複数回答可)	肺炎、尿路感染症、带状疱疹を感染時の状況についてお聞きます (※複数ある場合は、その都度、行を分けて回答してください。)									
											感 染 し た疾患	その疾 患にお ける所 定疾患 施設療 養費の 算定 有無	(1=有 の場合)算定日 数	その疾患 の 診 断 方 法	検査方法	治療 内容	治療 期間	治 療 後 の 転 帰	(4=医療機関へ 入院の場合) 入院後の転帰	
	1=男 2=女			1=自宅 2=居住系サービス (有料老人ホーム等) 3=介護老人福祉施設 4=他の老人保健施設 5=病院 (療養病床) 6=病院 (一般病床) 7=その他の施設 8=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 申=認定申請中	I=ランクI II=ランクII III=ランクIII IV=ランクIV M=ランクM	J=ランクJ A=ランクA B=ランクB C=ランクC	※別添の疾患リストより、該当する番号を主なものから3つまで記入してください。	1=人工肛門 (ストマ)のケア 2=酸素療法 (酸素吸入) 3=気管切開のケア 4=点滴 5=胃ろうによる栄養管理 6=インスリン注射 7=たんの吸引 8=導尿 9=その他 10=なし	1=特別療養費 2=所定疾患施設療養費 3=短期集中リハビリテーション実施加算 4=栄養マネジメント加算 5=経口移行加算 6=経口維持加算 7=認知症行動・心理症状緊急対応加算 8=認知症専門ケア加算 9=入所前後訪問指導加算 10=重度療養管理加算	1=肺炎 2=尿路感染症 3=带状疱疹	1=有 2=無	12月に入っても連続算定していた場合は、それも加えた日数	1=施設内の医師が診断 2=施設併設の病院の医師が診断 3=併設以外の病院医師が診断	1=血液検査 2=レントゲン検査 3=皮膚科の受診または往診 4=尿検査 5=喀痰検査 6=その他	1=内服薬 (抗生剤・抗ウイルス薬) 2=内服薬 (抗生剤・抗ウイルス薬以外) 3=注射(抗生剤・抗ウイルス薬) 4=注射(抗生剤・抗ウイルス薬以外) 5=処置 6=その他	1=施設内で治癒 2=施設内で治療継続中 3=施設内で死亡 4=医療機関へ入院	1=現在も入院中 2=貴老健に再入所 3=他施設に入所 4=その他の居住サービスを利用 5=在宅へ復帰 6=死亡 7=不明		
(例) 1	1・2	1925年 9月20日	2011年 4月7日	① 2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1② 3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C	56 79	1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・② 3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	① 2・3 ・4・5・6	① 2	6日	① 2・3 ・4・5・6	① 2・3 ・4・5・6	6日	1・2 ・3・④	1・② 3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3	1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3	1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3	1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3	1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3	1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3	1・2	日	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査 入所者・退所者票

NO.	性別	生年月日	入所日	入所前の 居所	要介護度	認知症高齢者の日常生活自立度	障害高齢者の日常生活自立度	有している 傷病 (複数回答可)	施設内で 実施して いる医療 的ケア (複数回答可)	平成 24 年 11 月分として算 定する加算 (複数回答可)	肺炎、尿路感染症、带状疱疹を感染時の状況についてお聞きます (※複数ある場合は、その都度、行を分けて回答してください。)									
											感 染 し た疾患	その疾 患にお ける所 定疾患 施設療 養費の 算定 有無	(1=有 の場合)算定日 数	その疾患 の 診 断 方 法	検査方法	治療 内容	治療 期間	治 療 後 の 転 帰	(4=医療機関へ 入院の場合) 入院後の転帰	
	1=男 2=女			1=自宅 2=居住系サービス (有料老人ホーム等) 3=介護老人福祉施設 4=他の老人保健施設 5=病院 (療養病床) 6=病院 (一般病床) 7=その他の施設 8=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 申=認定申請中	I=ランクI II=ランクII III=ランクIII IV=ランクIV M=ランクM	J=ランクJ A=ランクA B=ランクB C=ランクC	※別添の疾患リストより、該当する番号を主なものから3つまで記入してください。	1=人工肛門 (ストマ)のケア 2=酸素療法 (酸素吸入) 3=気管切開のケア 4=点滴 5=胃ろうによる栄養管理 6=インスリン注射 7=たんの吸引 8=導尿 9=その他 10=なし	1=特別療養費 2=所定疾患施設療養費 3=短期集中リハビリテーション実施加算 4=栄養マネジメント加算 5=経口移行加算 6=経口維持加算 7=認知症行動・心理症状緊急対応加算 8=認知症専門ケア加算 9=入所前後訪問指導加算 10=重度療養管理加算	1=肺炎 2=尿路感染症 3=带状疱疹	1=有 2=無	12月に入っても連続算定していた場合は、それも加えた日数	1=施設内の医師が診断 2=施設併設の病院の医師が診断 3=併設以外の病院医師が診断	1=血液検査 2=レントゲン検査 3=皮膚科の受診または往診 4=尿検査 5=喀痰検査 6=その他	1=内服薬 (抗生剤・抗ウイルス薬) 2=内服薬 (抗生剤・抗ウイルス薬以外) 3=注射(抗生剤・抗ウイルス薬) 4=注射(抗生剤・抗ウイルス薬以外) 5=処置 6=その他	1=施設内で治癒 2=施設内で治療継続中 3=施設内で死亡 4=医療機関へ入院	1=現在も入院中 2=貴老健に再入所 3=他施設に入所 4=その他の居住サービスを利用 5=在宅へ復帰 6=死亡 7=不明		
(例) 1	1・2	1925年 9月20日	2011年 4月7日	① 2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1②3・ 4・5・申	I・②・ III・IV ・M	J・A ・B・C	56 79	1・2・3・4 ・5・6・7 ・8⑨10	1②3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	①2・3 ①2	6日	①2・3	①23 ・4⑤6	①23・ 4・5・6	6日	1・2 ・3④	1②3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3・ 4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査 入所者・退所者票

NO.	性別	生年月日	入所日	入所前の 居所	要介護度	認知症高齢者の日常生活自立度	障害高齢者の日常生活自立度	有している 傷病 (複数回答可)	施設内で 実施して いる医療 的ケア (複数回答可)	平成 24 年 11 月分として算 定する加算 (複数回答可)	肺炎、尿路感染症、带状疱疹を感染時の状況についてお聞きます (※複数ある場合は、その都度、行を分けて回答してください。)									
											感 染 し た疾患	その疾 患にお ける所 定疾患 施設療 養費の 算定 有無	(1=有 の場合)算定日 数	その疾患 の 診 断 方 法	検査方法	治療 内容	治療 期間	治 療 後 の 転 帰	(4=医療機関へ 入院の場合) 入院後の転帰	
	1=男 2=女			1=自宅 2=居住系サービス (有料老人ホーム等) 3=介護老人福祉施設 4=他の老人保健施設 5=病院 (療養病床) 6=病院 (一般病床) 7=その他の施設 8=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 申=認定申請中	I=ランクI II=ランクII III=ランクIII IV=ランクIV M=ランクM	J=ランクJ A=ランクA B=ランクB C=ランクC	※別添の疾患リストより、該当する番号を主なものから3つまで記入してください。	1=人工肛門 (ストマ)のケア 2=酸素療法 (酸素吸入) 3=気管切開のケア 4=点滴 5=胃ろうによる栄養管理 6=インスリン注射 7=たんの吸引 8=導尿 9=その他 10=なし	1=特別療養費 2=所定疾患施設療養費 3=短期集中リハビリテーション実施加算 4=栄養マネジメント加算 5=経口移行加算 6=経口維持加算 7=認知症行動・心理症状緊急対応加算 8=認知症専門ケア加算 9=入所前後訪問指導加算 10=重度療養管理加算	1=肺炎 2=尿路感染症 3=带状疱疹									
(例) 1	1・2	1925年 9月20日	2011年 4月7日	① 2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1②3・ 4・5・申	I・②・ III・IV ・M	J・A ・B・C	56 79	1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・②3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	①2・3 ①2	6日	①2・3	①2・3 ・4・5・6	①2・3 ・4・5・6	6日	1・2 ・3・④	1②3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	支1・2 介1・2・3・ 4・5・申	I・II・ III・IV ・M	J・A ・B・C		1・2・3・4 ・5・6・7 ・8・9・10	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10	1・2・3 1・2	日	1・2・3	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	日	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11・12		

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査 【退所者票】

過去3ヶ月間（平成24年9～11月）に貴施設を退所した退所者（死亡退所も含む）についてお聞きします。

（10名以上いる場合は退所日が早い方から10名についてご記入ください）

NO.	性別	生年月日	入所日	入所前の 居所	退所日	退所時の状態 (死亡退所含む)											退所直後の 居所	退所後に利用予 定していた 居宅系の 介護サービス (介護予防含む・ 複数回答可)	退所後 訪問の有 無 の実施の 有無	退所に際して 請求した加算	退所後1ヵ月後 以降の居所	
						退所時の 要介護度	認知症高齢者 の日常生活 自立度	障害高齢者 の日常生活 自立度	最も医療介 入が必要とな った疾患	その疾患 の診断者	その疾患 の治療者	入所中の 治療期間	治療の 転帰	退所時必要 としていた 医療的ケア	変化の有 無	1=有 の場合 の居所						
	1=男 2=女			1=自宅 2=居住系サ ビス(有料老人ホ ーム等) 3=介護老人福 祉施設 4=他の老人保 健施設 5=病院 (療養病床) 6=病院 (一般病床) 7=その他の施 設 8=不明		支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 申=認定申請中	I=ランクI II=ランクII III=ランクIII IV=ランクIV M=ランクM	J=ランクJ A=ランクA B=ランクB C=ランクC	※別添 の疾患リス トより、該当 する主な疾患 の番号を1 つ記入してく ださい。	1=施設内 の医師 2=施設併 設の病院・ 診療所の 医師 3=併設以 外の病院・ 診療所の 医師	1=施設内 の医師 2=施設併 設の病院・ 診療所の 医師 3=併設以 外の病院・ 診療所の 医師		1=治療中 2=治癒 3=入院 4=死亡 5=その他	1=酸素療法 (酸素吸入) 2=気管切開のケ ア 3=たんの吸引 4=点滴 5=胃ろうによる 栄養管理 6=インスリン注 射 7=導尿 8=人工肛門 (ストマ)のケ ア 9=内服治療 10=その他 11=なし	1=居宅 2=居住系サ ビス 3=介護老人福 祉施設 4=他の老人保 健施設 5=病院 (療養病床) 6=病院 (一般病床) 7=その他の施 設 8=死亡	1=訪問介護 2=訪問入浴 3=訪問看護 4=居宅療養管理指導 5=通所介護 6=通所リハ 7=訪問リハ 8=福祉用具貸与 9=定期巡回・随時対応 型訪問介護看護 10=夜間対応型訪問介 護 11=その他 12=なし 13=把握していない	1=有 2=無	1=退所前訪問指導 加算 2=退所後訪問指導 加算 3=退所時指導加算 4=退所時情報提供 加算 5=退所前連携加算 6=老人訪問看護指 示加算 7=在宅復帰支援機 能加算 8=地域連携診療計 画情報提供加算 9=無	1=有 2=無 3=不明	1=居宅 2=居住系サ ビス 3=介護老人 福祉施設 4=貴介護老 人保健施設 5=他の老人 保健施設 6=病院 (療養病床) 7=病院 (一般病床) 8=その他の 施設 9=死亡		
例	1・2	1925年 9月20日	2009年 4月7日	①・2・3 ・4・5・6 ・7・8	2010年 9月15日	支1・2 介1・2・3・ 介4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C	56	①・2・3	①・2・3	()日 ・3・4・ 1ヶ月以上	①・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	①・2・3 ・4・5・6 ・7・8	①・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9 ・10・11・12・13	①・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	①・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	①・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支1・2 介1・2・3・ 介4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	()日 ・3・4・ 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9				
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支1・2 介1・2・3・ 介4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	()日 ・3・4・ 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9				
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支1・2 介1・2・3・ 介4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	()日 ・3・4・ 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9				
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支1・2 介1・2・3・ 介4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	()日 ・3・4・ 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9				
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支1・2 介1・2・3・ 介4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	()日 ・3・4・ 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9				

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する調査 入所者・退所者票

NO.	性別	生年月日	入所日	入所前の 居所	退所日	退所時の状態 (死亡退所含む)										退所直後の 居所	退所後に利用予 定していた 居宅系の 介護サービス (介護予防含む・ 複数回答可)	退所後訪問の 実施の有無	退所に際して 請求した加算	退所後1ヵ月後 以降の居所	
						退所時の 要介護度	認知症高齢者 の日常生活 自立度	障害高齢者 の日常生活 自立度	最も医療介 入が必要とな った疾患	その疾患 の診断者	その疾患 の治療者	入所中の 治療期間	退所時必要 としていた 医療的ケア	変化の有無	1=有 の場合の居所						
	1=男 2=女			1=自宅 2=居住系サ ービス(有料老人ホ ーム等) 3=介護老人福 祉施設 4=他の老人保 健施設 5=病院 (療養病床) 6=病院 (一般病床) 7=その他の施 設 8=不明		支 1=要支援 1 支 2=要支援 2 介 1=要介護 1 介 2=要介護 2 介 3=要介護 3 介 4=要介護 4 介 5=要介護 5 申=認定申請中	I =ランク I II =ランク II III =ランク III IV =ランク IV M =ランク M	J =ランク J A =ランク A B =ランク B C =ランク C	※別添 の疾患リス トより、該当 する主な疾患 の番号を1 つ記入してく ださい。	1=施設内 の医師 2=施設併 設の病院・ 診療所の 医師 3=併設以 外の病院・ 診療所の 医師	1=施設内 の医師 2=施設併 設の病院・ 診療所の 医師 3=併設以 外の病院・ 診療所の 医師		1=治療 継続中 2=治療 3=入院 4=死亡 5=その他	1=酸素療法 (酸素吸入) 2=気管切開のケ ア 3=たんの吸引 4=点滴 5=胃ろうによる 栄養管理 6=インスリン注射 7=導尿 8=人工肛門 (ストーマ)のケ ア 9=内服治療 10=その他 11=なし	1=居宅 2=居住系サ ービス 3=介護老人福祉 施設 4=他の老人保健 施設 5=病院 (療養病床) 6=病院 (一般病床) 7=その他の施設 8=死亡	1=訪問介護 2=訪問入浴 3=訪問看護 4=居宅療養管理指導 5=通所介護 6=通所リハ 7=訪問リハ 8=福祉用具貸与 9=定期巡回・随時対 応型訪問看護 10=夜間対応型訪問 介護 11=その他 12=なし 13=把握していない	1=有 2=無	1=退所前訪問指導 加算 2=退所後訪問指導 加算 3=退所時指導加算 4=退所時情報提供 加算 5=退所前連携加算 6=老人訪問看護指 示加算 7=在宅復帰支援機 能加算 8=地域連携診療計 画情報提供加算 9=無	1=有 2=無 3=不明	1=居宅 2=居住系サ ービス 3=介護老人 福祉施設 4=貴介護老 人保健施設 5=他の老人 保健施設 6=病院 (療養病床) 7=病院 (一般病床) 8=その他の 施設 9=死亡	
例	1・2	1925年 9月20日	2009年 4月7日	①・2・3 ・4・5・6 ・7・8	2010年 9月15日	支 1・2 介 1・2・3・ 介 4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C	56	①・2・3	①・2・3	() 日 1ヶ月以上	①・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	①・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	①・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	①・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	①・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9		
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支 1・2 介 1・2・3・ 介 4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	() 日 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支 1・2 介 1・2・3・ 介 4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	() 日 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支 1・2 介 1・2・3・ 介 4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	() 日 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支 1・2 介 1・2・3・ 介 4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	() 日 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支 1・2 介 1・2・3・ 介 4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	() 日 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9			
	1・2	年 月 日	年 月 日	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	年 月 日	支 1・2 介 1・2・3・ 介 4・5・申	I・II ・III・IV・M	J・A ・B・C		1・2・3	1・2・3	() 日 1ヶ月以上	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8	1・2・3・4 ・5・6・7・8・9 ・10・11・12・13	1・2	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9	1・2・3 ・4・5・6 ・7・8・9			

【別添】疾患リスト

ICDコード 分類	番号	診断名	ICDコード 分類	番号	診断名	ICDコード分類	番号	診断名
循環器系 等の疾患	1	脳梗塞	内分泌、栄 養及び代 謝疾患	32	糖尿病（認知症や脳血管障害 など他の病態を伴わない）	腎尿路生殖器系の 疾患	58	腎不全（慢性・急性を含む）
	2	脳出血		33	栄養障害		59	尿路結石症など尿路の疾患
	3	多発性脳梗塞		34	肥満		60	尿路感染症（膀胱炎など）
	4	くも膜下出血		35	脂質異常症（高脂血症）		61	乳房・女性生殖器・骨盤臓器の疾患
	5	硬膜下血腫		36	甲状腺機能障害		62	前立腺肥大症などの男性生殖器の 疾患
	6	硬膜下血腫および脳挫傷		37	その他の代謝・内分泌疾患	消化器系の疾患	63	胃・食道疾患
	7	その他の脳血管疾患	筋骨格系 及び結合 組織の疾 患	38	脊髄損傷		64	小腸・大腸の疾患
	8	高血圧症（認知症や脳血管障害など 他の病態を伴わない）		39	脊柱管狭窄症		65	肝胆膵の疾患
	9	慢性心不全		40	変形性脊椎症		66	ヘルニア
	10	心筋梗塞		41	下肢の変形性関節症（股関 節・膝関節）		67	肛門の疾患
	11	狭心症		42	上肢の変形性関節症（肩関 節・肘関節）		68	その他の消化器の疾患（腹膜、口腔、 唾液腺、顎等を含む）
	12	不整脈		43	大腿骨の骨折（手術を行った）	新生物	69	悪性新生物
	13	心房細動		44	大腿骨以外の骨折（手術を行 った）		70	良性新生物およびその他特定され ない新生物
	14	その他の心疾患		45	骨折（保存的治療のみ）	眼及び付属器の疾 患、耳及び乳様突 起の疾患	71	緑内障・白内障などの眼およびその 付属器の疾患
	15	閉塞性動脈硬化症		46	骨粗しょう症		72	耳および乳様突起の疾患
	16	その他の中枢または末梢血管の疾患		47	圧迫骨折	皮膚及び皮下組織 の疾患	73	疥癬・蜂窩織炎・白癬等感染症
精神及び 行動の障 害	17	アルツハイマー型認知症		48	後縦靱帯骨化症		74	水疱症（天疱瘡・類天疱瘡等）
	18	脳血管性認知症		49	その他の骨・脊椎疾患		75	アレルギー性皮膚疾患
	19	レビー小体型認知症		50	関節リウマチ		76	褥創
	20	下記以外の認知症 （脳血管性・アルツハイマー型・混 合型・レビー小体型・ピック病）		51	関節リウマチ以外の全身性結 合組織障害		77	皮膚の外傷およびその他の皮膚疾 患
	21	前頭・側頭葉型認知症（ピック病等）		52	筋、軟部組織の障害		78	感染症
	22	混合型認知症	呼吸器系 の疾患	53	気管支喘息	血液及び造血器の 疾患並びに免疫機 構の障害	79	貧血
	23	まだ確定診断のついていない認知症		54	肺気腫等慢性閉塞性肺疾患		80	貧血以外の血液・免疫および凝固系 の疾患
	24	うつ病		55	誤嚥性・吸引性（不顕性）肺炎 などの慢性呼吸器感染症	周産期に発生した 病態	81	周産期や小児期の疾患の後遺症（脳 性麻痺、精神発達遅滞を含む）
	25	統合失調症		56	急性呼吸器感染症		82	先天奇形・変形および染色体異常
	26	その他の精神疾患		57	その他肺および胸膜など呼吸 器の疾患	先天奇形、変形及 び染色体異常	83	損傷、中毒及びその他の外因の影響
神経系の 疾患	27	パーキンソン病	呼吸器系 の疾患	53	気管支喘息		83	損傷、中毒及びその他の外因の影響
	28	パーキンソン病以外の脊髄小脳変性 疾患		54	肺気腫等慢性閉塞性肺疾患			
	29	症候性てんかん、てんかん		55	誤嚥性・吸引性（不顕性）肺炎 などの慢性呼吸器感染症			
	30	その他の中枢神経疾患		56	急性呼吸器感染症			
	31	末梢神経疾患		57	その他肺および胸膜など呼吸 器の疾患			

平成 24 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

介護老人保健施設等の在宅療養支援及び医療提供のあり方に関する
調査研究事業 調査研究報告書

平成 25（2013）年 3 月発行

発行 株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

TEL 03（6705）6024 FAX 03（5157）2143

不許複製